

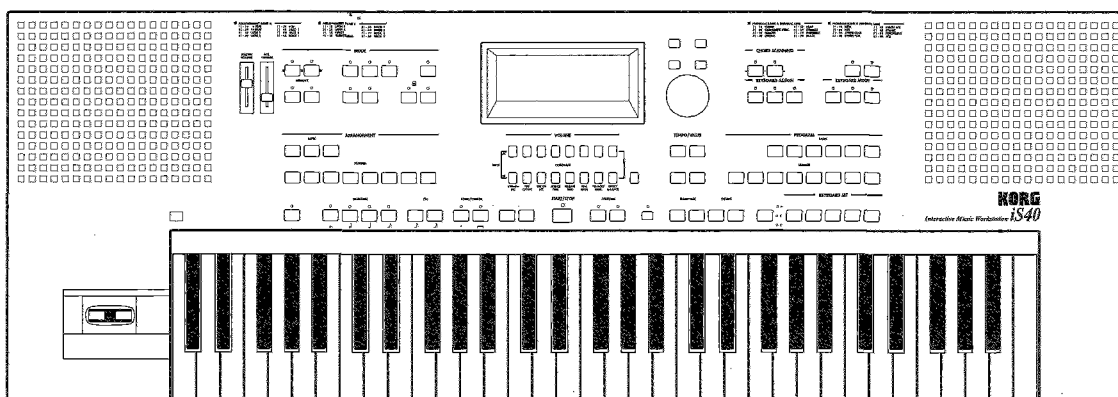
Interactive Music Workstation

iS40/iS50

ユーザーズ・ガイド

GENERAL
MIDI
INSTRUMENT

最初にお読みください





ai AI² Synthesis System

KORG

安全上のご注意

WARNING:
TO REDUCE THE RISK OF FIRE OR ELECTRIC SHOCK DO NOT
EXPOSE THIS PRODUCT TO RAIN OR MOISTURE.

	CAUTION RISK OF ELECTRIC SHOCK DO NOT OPEN	
AVIS: RISQUE DE CHOC ÉLECTRIQUE-NE PAS OUVRIR		
注意 感電の恐れあり、キャビネットをあけるな		
CAUTION: TO REDUCE THE RISK OF ELECTRIC SHOCK, DO NOT REMOVE COVER (OR BACK). NO USER-SERVICEABLE PARTS INSIDE. REFER SERVICING TO QUALIFIED SERVICE PERSONNEL.		

マークについて

この機器に表示されているマークには、次のような意味があります。



このマークは、機器の内部に絶縁されていない「危険な電圧」が存在し、感電の危険があることを警告しています。



このマークは、注意喚起シンボルであり取扱説明書などに、一般的な注意、警告、危険の説明が記載されていることを表しています。

火災・感電・人身障害の危険を防止するには

以下の指示を守ってください



警告



- 本製品を使用する前に、以下の指示をよく読んでください。
- 電源プラグは、必ずAC100Vの電源コンセントに差し込んでください。
- 本製品の設置には、コルグが推奨するラック、スタントを使用してください。
- 次のような場合には、直ちに電源を切って電源コードなどを取り外し、コルグ営業所、またはお買い上げになった販売店に修理を依頼してください。
 - 電源コードやプラグが破損したとき
 - 異物が内部に入ったり、液体がこぼれたとき
 - 製品が(雨などで)濡れたとき
 - 製品に異常や故障が生じたとき



- 次のような場所での使用や保存はしないでください。
 - 温度が極端に高い場所(直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など)
 - 水気の近く(風呂場、洗面台、濡れた床など)や湿度の高い場所
 - ホコリの多い場所
 - 振動の多い場所



- 修理/部品の交換などで、取扱説明書に書かれている以外のことは、絶対にしないでください。必ず最寄りのコルグ営業所またはコルグ営業技術課に相談してください。
- 電源コードを無理に曲げたり、上に重いものを乗せたりしないでください。電源コードに傷がつき危険です。

- 本製品を単独で、あるいはヘッドフォン、アンプ、スピーカーと組み合わせて使用した場合、設定によっては、永久的な難聴になる程度の音量になります。大音量や不快な程度の音量で、長時間使用しないでください。万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、専門の医師に相談してください。

- 本製品に、異物(燃えやすいもの、硬貨、針金など)や液体(水やジュースなど)を絶対にいれないでください。



- この機器を分解したり、改造したりしないでください。



注意



- 本製品は正常な通気が妨げられることのない所に設置して、使用してください。

- 本製品はマイクロコンピュータを使用した機器です。このためラジオやテレビなどを接近して同時にご使用になりますと、それらに雑音が入ることがあります。逆にラジオ、テレビ、その他の電子機器から本製品が雑音を受けて誤動作する場合があります。ラジオ、テレビ、その他の電子機器などからは十分に離してご使用ください。

- 他の電気機器の電源コードといっしょのタコ足配線は危険です。本製品の定格消費電力に合ったコンセントに接続してください。

- スイッチやツマミに必要以上の力を加えますと故障の原因となりますので注意してください。

- LCD画面を破損する恐れがありますので、下記のようなことは、絶対にやらないでください。

- シャープ・ペンシルのように先の鋭いもの、硬いもので、LCD画面を強く押ししたり、こすったりしないでください。
- LCD画面の隅を、ペンや爪などで強くこすらないでください。



- 外装のお手入れは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。ベンジンやシンナー系の液体は絶対にご使用にならないでください。(コンパウンド質、強燃性のポリッシュも不可)。



- 電源コードをコンセントに抜き差しするときは、必ず電源プラグを持ってください。



- 長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

データについて

操作ミス等により万一異常な動作をしたときに、メモリー内容が消えてしまうことがありますので、大切なデータはフロッピー・ディスクにセーブしておいてください。またデータの消失による損害については、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

* MIDIは社団法人音楽電子事業協会(AMEI)の登録商標です。

* 掲載されている会社名、製品名、規格名などは、それぞれ各社の商標または登録商標です。

目次

はじめに	1	鍵盤について	22
特長	1	鍵盤の音色を固定する	22
ご使用になる前に	1	鍵盤上の音色を変える	22
演奏するための準備	1	トランスポーズ(移調)	22
1. 基本操作について	3	鍵盤全域を同じ音色で弾く	23
基本機能	3	キーボード・セットの選択 (iS40)	23
トランスポーズ(移調)	5	キーボード・セットのライト	23
鍵盤の音色	5	リコール・アレンジメント機能	23
シーケンサ	6	バックキング・シーケンス	24
ディスク	6	リアルタイム・レコーディング	24
iS40/iS50のスケール	7	トラックのレコーディング	24
2. フロント・パネルとリア・パネル	8	バックキング・シーケンスのセーブ	27
フロント・パネル	8	バックキング・シーケンスの消去	27
コントロール・パネル	9	スタンダードMIDIファイル (SMF)のエディット	28
ディスプレイ	13	ソングを聴く	28
リア・パネル	14	トラックの音色を変える	28
3. モードについて	15	ソングの一部を消去する	29
Arrangement Playモード	15	パートの追加	29
Backing Sequenceモード	15	SMFのセーブ	29
Programモード	15	プログラム	30
Song Playモード	15	プログラムのエディット	30
Song Editモード	16	プログラムのライト	30
Disk/Globalモード	16	5. MIDI	31
ページ画面について	16	外部シーケンサを使用する	31
ページ画面の登録方法	16	外部のMIDI楽器をコントロール	32
サブ・ページについて	16	General MIDIとは?	32
パラメータ値の設定について	16	スタンダードMIDIファイルについて	32
4. 操作編	17	6. コンピュータとの接続 (iS40)	33
デモ演奏	17	IBM PC (互換機)との接続	33
デモ演奏を聴く	17	Apple Macintoshとの接続	33
バックキング・シーケンスのデモ演奏	17	NEC PC-9800シリーズとの接続	33
スタンダードMIDIファイルの再生	18	HOSTパラメータの設定	34
SMFの再生	18	KORG MIDI Driverのインストールとセットアップ	34
ジュークボックス機能	19	Windows95へのインストール	34
カラオケ機能	19	専用接続ケーブル配線図	34
アレンジメント	20	Windows 3.1へのインストール	36
アレンジメントを演奏しよう	20	Macintoshへのインストール	36
シンクロ・スタート/ストップ	20	7. 付録	39
フィルイン	21	エラー・メッセージ	39
イントロ/エンディング	21	故障とお思いになる前に	41
バリエーション	21	フロッピー・ディスクの扱い方	42
フェードイン/フェードアウト	21	認識できるコード一覧	43
テンポの変更	21	Voice Name List	45
演奏中に別のアレンジメントを選ぶ	21	MIDIインプリメンテーション・チャート	62
		仕様とオプション	63

はじめに

このたびは、コルグ・インタラクティブ・ミュージック・ワークステーション iS40/iS50をお買い上げいただきましてありがとうございます。

本製品を末永くご愛用いただくためにも、この取扱説明書をよくお読みになって正しい方法で使用してください。また、今後の参照のために、取扱説明書はお読みになった後も大切に保存してください。

特長

iS40/iS50には、aiスクエア・シンセシス・システムと、2系統のステレオ・デジタル・マルチ・エフェクターによる高品位なサウンドのリアルタイム・プレイ、そしてコードを指定するだけで本格的な伴奏を自動演奏できるアレンジメント・プレイ機能、さらに鍵盤による演奏、自動伴奏、演奏中のパネル操作を記録しあとから修正できるバックিং・シーケンス機能、市販のスタンダードMIDIファイル形式のミュージック・ソフトを再生できるソング・プレイ機能、スタンダードMIDIファイル形式のミュージック・ソフトをエディットするソング・エディット機能など、インタラクティブ・ミュージック・ワークステーション・シリーズのさまざまな機能をそなえています。

これに加えて、サスティン、サウンド・ホールド、フェード・イン/アウトなど、簡単な操作で作曲や演奏を盛り上げる機能も用意されています。

iS40/iS50は、通常の電子キーボードとして、その素晴らしいサウンドを楽しんでいただけるのももちろんのこと、歌や他の楽器のための自動伴奏システムとして、また作曲、編曲のための高機能なツールとして、さらには内蔵された演奏データをリアルタイムでコントロールしながらプレイすることのできるライブ・インストゥルメントとして、幅広い目的に活用していただけるキーボードです。

ご使用になる前に

本書のはじめにある「安全上のご注意」、「火災・感電・人身障害の危険を防止するには」、「注意」、「警告」の各項をよくご覧ください。

付属品の確認

下記の付属品が揃っていることを確認してください。

- 「ユーザーズ・ガイド」(本書)
- 「パラメータ・ガイド」
- フロッピー・ディスク(1枚)
- 専用譜面立て
- 電源コード

ユーザーズ・ガイド

本書は、フロントパネル、リアパネルの説明をはじめ、iS40/iS50の基本的な操作を説明します。

そして、iS40/iS50に内蔵または付属している音色や演奏のデータのリストや、操作中に液晶画面に表示されるメッセージの解説、「故障とお思になる前に」、「認識できるコード一覧」等が収められています。

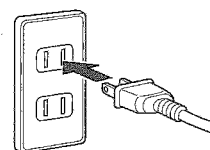
パラメータ・ガイド

iS40/iS50のパラメータを説明します。

- ▲ 取扱説明書には、機能や操作の解説とともに液晶画面の図が記載されていますが、仕様や音色プログラムなどの改善により、実際のiS40/iS50本体の液晶画面の表示とは必ずしも一致しない場合があります。ご了承ください。

演奏するための準備

- ① 電源コードのプラグをコンセントに差し込みます。
電源コンセントに確実に差し込んでください。



- ② 電源をオンにします。

リアパネルにあるパワー・スイッチを押すと、電源がオンになりArrangement Playモードに入ります。

電源をオフにするときは、もう一度パワー・スイッチを押します。

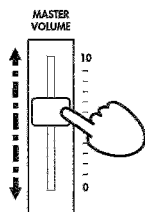
ただし、ディスクアクセス・インジケータが点灯しているときや、液晶画面上に“Loading”、“Saving”、“Formatting”などのメッセージが表示されている間は、絶対に電源をオフにしないでください。

iS40/iS50を使用しないときは、必ず電源をオフにしましょう。

モニター・スピーカーを使用するときは、iS40/iS50の電源をオンしてから**モニター・スピーカーの電源**をオンにします。

③ 音量を調節します。

MASTER VOLUMEスライダーを中程まで上げておきます。



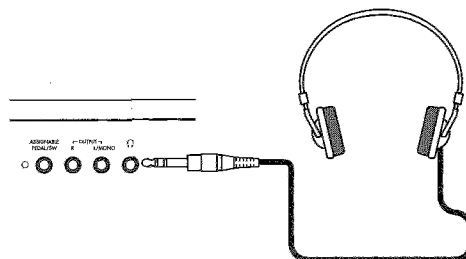
スライダーを上動かすと音量が大きくなり、下動かすと音が小さくなります。“0”の位置では音が出ません。

モニター・スピーカーのボリュームを上げ、iS40/iS50本体とモニター・スピーカーで、適度な音量に調整してください。

MASTER VOLUMEスライダーは、ヘッドホン端子、リアパネルのOUTPUT端子から出力される音量をコントロールします。

ヘッドホンを使うとき

リアパネルにあるヘッドホン端子に、ステレオヘッドホン(標準プラグ)を差し込みます。音量は、MASTER VOLUMEスライダーで調整してください。



譜面立てを使うとき

専用の譜面立てを、リアパネルの譜面立てホールにくっつき差し込みます。

1. 基本操作について

ページ下の図はiS40のコントロールパネルを示します(iS50は一部異なります)。本文中にある【 】内の数字は、下の図の番号に対応しています。

基本機能

自動伴奏の開始

ARR PLAYキー【1】を押します。
Arrangement Playモードに入ります。

アレンジメントの選択

Arrangement Playモードで、**ARRANGEMENT**セクション【2】の**BANK**キーでバンクを選んでから、下の**NUMBER**キーで11～88の番号を選びます。
例えば、アレンジメントのAバンク85「Macarena」を選ぶときは、キーを「A」、「8」、「5」の順で押します。

伴奏の開始

START/STOPキー【3】または**SYNCHRO START**キー【4】(iS50ではSYNCHRO START/STOPキー)を押し、鍵盤の左側でコードを押さえます。

伴奏の停止

START/STOPキー【3】を押します。

テンポの変更

Arrangement Playモードの「Page 1」の画面で、**TEMPO/VALUE**セクション【5】の[DOWN/-]キー、[UP/+]キーを押してTempoパラメータ(♩=120)を変更します。
速くするときには[UP/+]キーを、遅くするときには[DOWN/-]キーを押します。iS40ではダイヤルでもテンポが変更できます。

「Page 1」は、EXIT/NOキーを1回押す、またはPAGEキーの[-]を押して選択することができます。

アレンジメントのバリエーションの選択

VARIATIONセクション【6】の4つのキーは、アレンジメントで演奏されるスタイルのバリエーションを選ぶことができます。

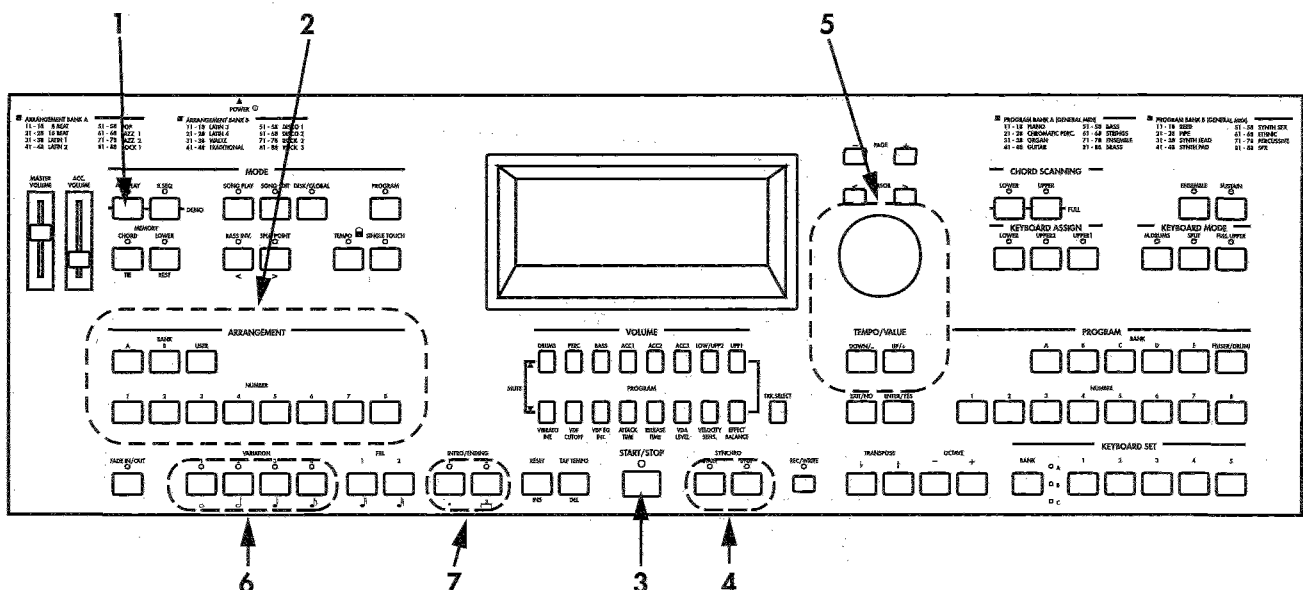
自動伴奏中にそれぞれのキーを押してみてください。

イントロとエンディングの操作

INTRO/ENDINGセクション【7】のどちらかのキーを押してから**START/STOP**キーを押すと、イントロが始まってから自動伴奏に移ります。また、自動伴奏中にどちらかのキーを押すと、エンディングに移って演奏が終了します。

イントロの演奏中に、LEDが点灯している**INTRO/ENDING**キーを押すと、そのキーのLEDが点灯し同じイントロが繰り返し演奏されます。その状態から自動伴奏に移るときは、**VARIATION**セクション【6】のキーを1つ押します。

最初に**SYNCHRO START**キー(iS50では**SYNCHRO START/STOP**キー)を押してから左側でコードを弾くと、自動伴奏が同時に開始します。



トラックの選択

トラックの選択は、**VOLUMEセクション**【8】の上(▲)または下(▼)のキーで選択します。

各キーは上下1組で、それぞれのトラックに対応しています。上(▲)または下(▼)のキーを押すと、ディスプレイにトラック名と現在そのトラックに割り当てられているプログラム名が表示されます。

鍵盤は、スプリット・ポイントを境にして右側と左側に分けることができます。左右の鍵盤には、それぞれ選択したトラックに割り当てられているプログラム音色で演奏することができます。

鍵盤の右側には、UPPER 2トラックとUPPER 1トラックのどちらか1つのトラック、または2つのトラックを選択することができます。また、鍵盤の左側には、LOWERトラックが選択できます。

鍵盤の右側にUPPER 2トラック(またはUPPER 1トラック)を選択するときは、**KEYBOARD ASSIGNセクション**【9】のUPPER 2キー(またはUPPER 1キー)を押します。そしてUPPER 2とUPPER 1の2つのトラックを選択するときは、UPPER 2キーとUPPER 1キーの2つを押します。

鍵盤の左側にLOWERトラックを選ぶときは、**KEYBOARD MODEセクション**【10】のSPLITキーを押し、**KEYBOARD ASSIGNセクション**【9】のLOWERキーを押します。ただし鍵盤の左側にLOWERトラックを選択したときは、右側にUPPER 2トラックを選択することはできません。

1つの音色で演奏することを**シングル**、2つの音色を重ねて演奏することを**レイヤー**と呼びます。

音色の選択

iS40/iS50では、基本音色のことを**プログラム**と呼びます。プログラムは6つのバンク(A~F)に分かれて、それぞれのバンクにプログラムが64あります。バンクのAとBはGMに対応したプログラムです。

トラックにプログラムを割り当てるときは、まず**VOLUMEセクション**【8】のキーでトラックを選択します。そして**PROGRAMセクション**【11】のBANKキーでバンクを選び、その下のNUMBERキーで11から88の番号を選びます。

例えば、UPPER 1トラックにプログラムのAバンクの37「Harmonica」を割り当てるときは、VOLUMEセクションの右側のUPP1(上または下のキー)を押した後、PROGRAMセクションのキーを「A」、「3」、「7」の順に押します。

トラックのミュート(消音)

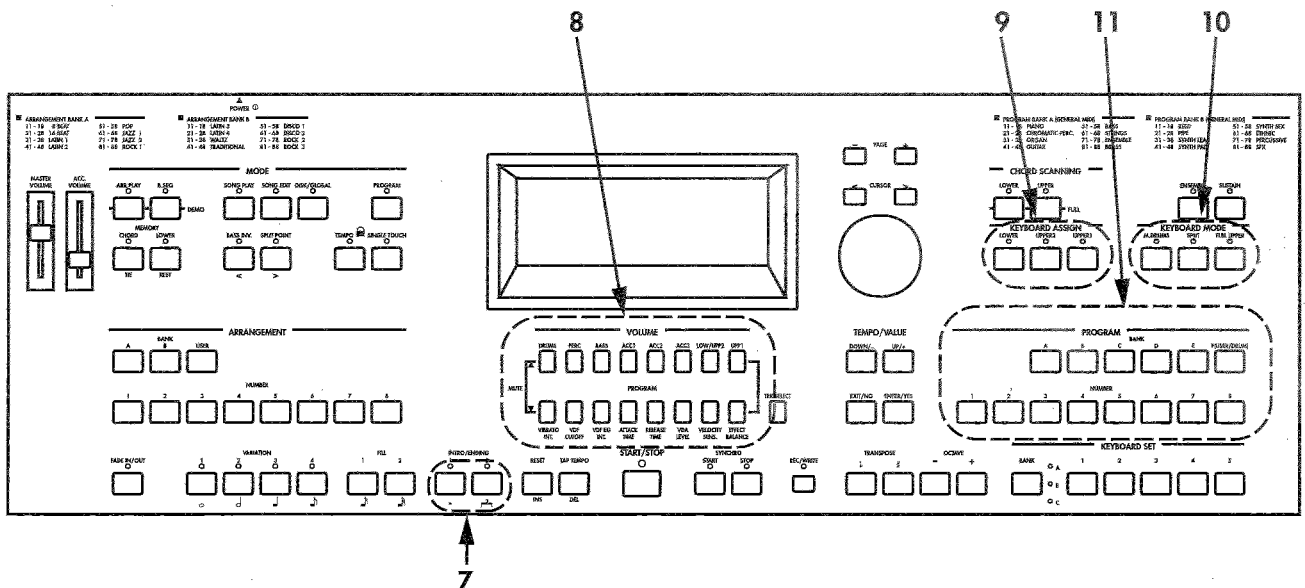
トラックをミュートするときは、**VOLUMEセクション**【8】でミュートのトラックに対応する上(▲)、下(▼)のキーを一緒に押します。

例えば、DRUMSトラックをミュートするときは、VOLUMEセクションの一番左側の上下のキーを同時に押します。トラックを再びプレイの状態にするときは、2つのキーのどちらかを押します。

また、UPPER 1、UPPER 2、LOWERの各トラックは、**KEYBOARD ASSIGNセクション**【9】のキーを押してキーのLEDを消灯させてもミュートすることができます。

トラックの音量調整

各トラックの音量を個別に調整するときは、**VOLUMEセクション**【8】の上(▲)または下(▼)のキーを押します。上のキーを押すと音量は上がり、下のキーを押すと下がります。



トランスポーズ(移調)

音のオクターブ変更

鍵盤を弾いたときの音を1オクターブ上下するときは、**OCTAVE**セクション【12】のキーを押します。

UPPER 1トラックの音をオクターブ単位で変更するときは、まず**KEYBOARD ASSIGN**セクション【9】のUPPER 1キーを押し、**VOLUME**セクション【8】で一番右側の上(▲)または下(▼)のキーを押します。そして**OCTAVE**セクションの[+]キーまたは[-]キーを押します。

[+]キーを押すと1オクターブ上昇し、[-]キーを押すと1オクターブ下降します。元に戻すときは、これらの2つのキーを一緒に押します。

LOWERトラック、UPPER 2トラック、UPPER 1トラック以外のトラックのオクターブを変更するときは、自動伴奏しながら行うと音が確認できます。

音の半音移動

本機全体の音を半音単位で移動するときは、**TRANSPOSE**セクション【13】のキーを押します。

[#]キーを押すと半音上昇し、[b]キーを押すと半音下降します。元に戻すときは、これらの2つのキーを一緒に押します。

▲ 自動伴奏中にキーを押すと、移調は次の小節から行われます。

鍵盤の音色

鍵盤全域を同じ音色にする

電源をオンにした直後はArrangement Playモードになり、鍵盤には右側と左側に異なった音色が割り当てられています。鍵盤全域を同じ音色にするときは、**KEYBOARD MODE**セクション【10】のFULL UPPERキーを押してから、**KEY-**

BOARD ASSIGNセクション【9】のUPPER 1キーまたはUPPER 2キーを押し、トラックを選択します。すべての鍵盤が、選択したトラックに割り当てられているプログラムの音色になります。UPPER 1とUPPER 2キーを両方押すと、2つのトラックが重なり合った音色になります。

鍵盤を2つに分けて別々の音色で演奏する

KEYBOARD MODEセクション【10】のSPLITキーを押すと、鍵盤をUPPERとLOWERの2つに分割することができます。このように2つに分けることを**スプリット**と呼びます。

UPPERとLOWERの両方にトラックを割り当てるときは、2つに分割した後に**KEYBOARD ASSIGN**セクション【9】のUPPER 1とLOWERキーを押して、それぞれのLEDを点灯させます。これで、鍵盤の右側はUPPER 1トラックが、左側はLOWERトラックが割り当てられ、別々の音色で演奏できます。

▲ 鍵盤の右側にUPPER 2トラックを割り当てると、左側にLOWERトラックを割り当てることができません。

ドラム音色で演奏する

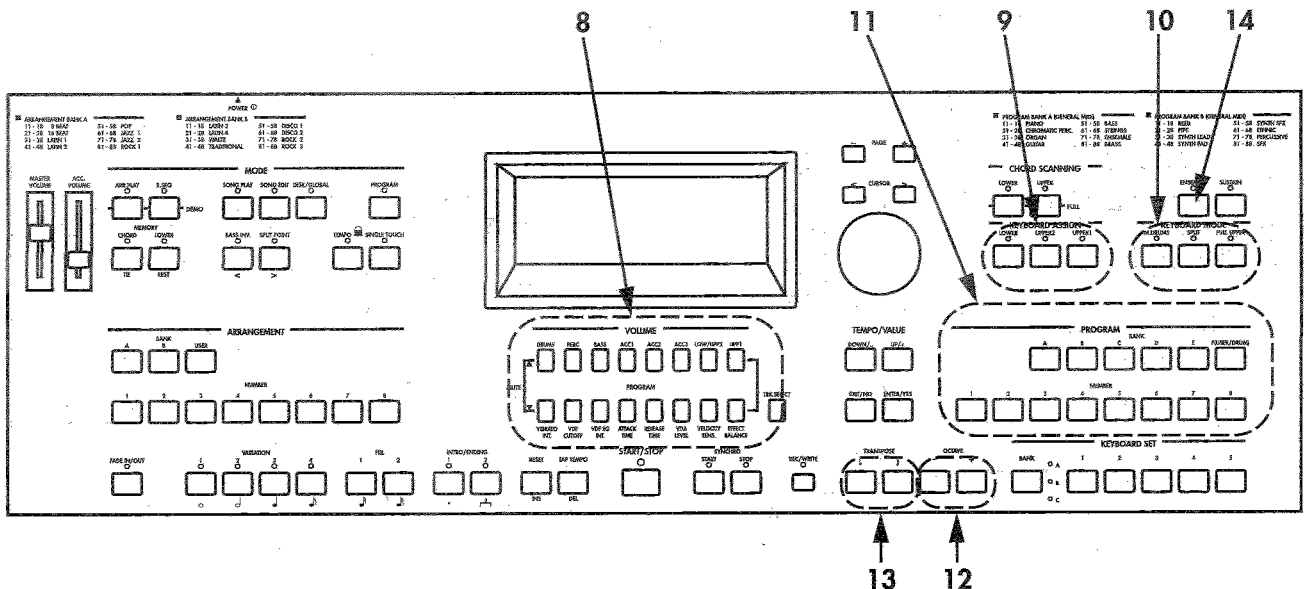
KEYBOARD MODEセクション【10】の[M.DRUMS]キーを押します。鍵盤を弾くとドラムの音色で演奏できます。

iS40/iS50のドラム・プログラムを選ぶときは、**PROGRAM**セクション【11】でBANKキーの[F (USER/DRUM)]を2回押してディスプレイにDr (Drums)を表示させ、NUMBERキーの[1]~[8]を押します。

Dr11~18、21~28のプログラムのうち、Dr27とDr28はUSERプログラムです。

メロディのアンサンブル

ENSEMBLEキー【14】を押して、キーのLEDを点灯させます。鍵盤の左側でコードを押さえ、右側でメロディーを弾いてください。メロディに、コードに沿ったハーモニーがつかます。アンサンブル機能をオフにするときは、再度**ENSEMBLE**キーを押してください。



シーケンサ

SMF(スタンダードMIDIファイル)の再生

本機ではSMFのソング・データを再生することができます。SMFが収められているフロッピー・ディスクをディスクドライブに挿入し、**MODEセクション【15】**のSONG PLAYキーを押します。**TEMPO/VALUEセクション【5】**の[DOWN/-]または[UP/+]キーで演奏するソングを選ぶと、ディスプレイに“SONG PLAY”と表示されます。**START/STOPキー【3】**を押すと選んだソングが再生され、その曲だけで演奏が終わります。

再生中に曲を止める場合は、START/STOPキーを押します。

何曲かのSMFの再生

1枚のフロッピー・ディスクに、何曲かのSMFが収められている場合、フロッピー・ディスク内の順番で再生させることができます。

SMFが収められているフロッピー・ディスクをディスクドライブに挿入し、**MODEセクション【15】**のSONG PLAYキーを押します。Song Playモードに入り、ディスプレイには“ALL SONG PLAY”と表示されます。**START/STOPキー【3】**を押すとSMFの再生が始まります。曲はフロッピー・ディスク内の順番で再生されます。

再生中に曲を止める場合は、START/STOPキーを押します。

トラックの音量調整

Song PlayモードまたはSong Editモードでは、ACC VOLUMEスライダーで音量を調整できます。ただし、VOLUMEセクションで選択したトラックの音量は調整できません。

バックিং・シーケンスのレコーディング

アレンジメントを使った演奏をシーケンサへレコーディングしたり、レコーディングした演奏を再生することができます。

MODEセクション【15】のB.SEQキーを押してBacking

Sequenceモードに入り、**ARRANGEMENTセクション【2】**のBANKキーとNUMBERキーでアレンジメントを選びます。**REC/WRITEキー【17】**を押してレコーディング・モードに入ります。

START/STOPキー【3】を押して2小節のカウントを聞いてから、アレンジメントに合わせて演奏してください。演奏が終わったらSTART/STOPキーを押します。レコーディングした演奏を再生するときは、START/STOPキーを押します。

ディスク

ファイルのロード

▲ フロッピー・ディスクは、ディスクドライブに正しく挿入してください。正しく挿入されていないときは「カタカタ」と音がすることがあります。

付属のフロッピー・ディスクにはUSERバンクにロードするファイルが収められています。

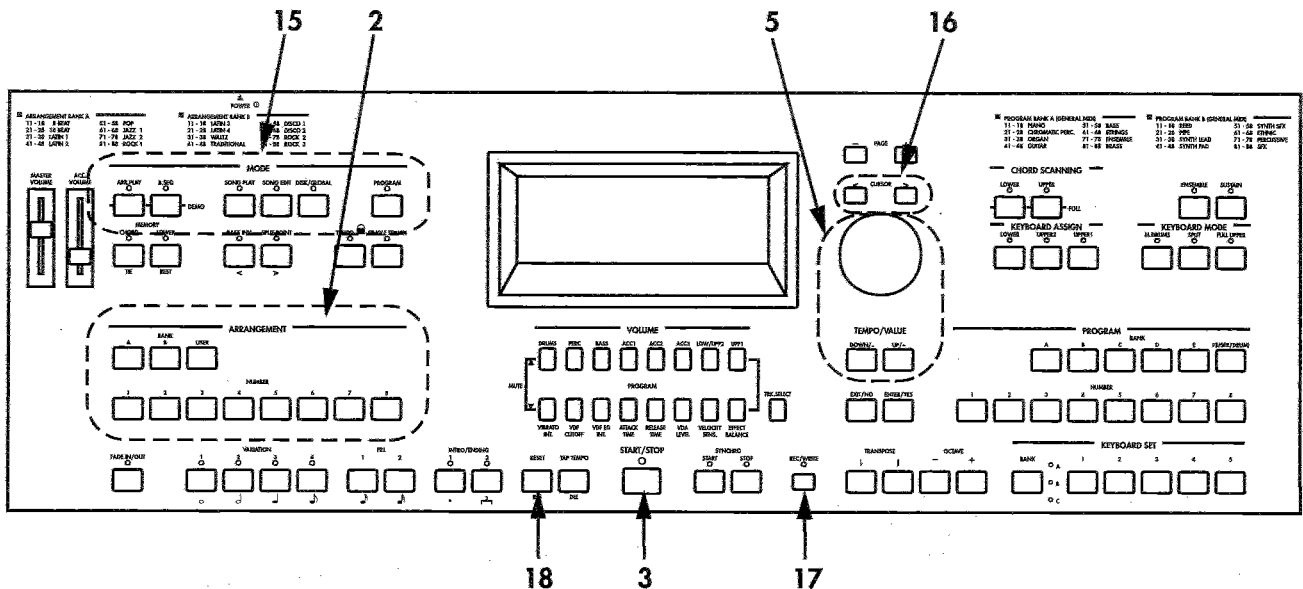
フロッピー・ディスクをディスクドライブに挿入し、**MODEセクション【15】**のDISK/GLOBALキーを押してDisk/Globalモードに入ります。

「Page 1」が表示されていることを確認し、**CURSORキー【16】**で<<LOAD>>を選択します。「Page 1」が表示されていないときはEXIT/NOキーを押してください。ENTER/YESキーを押すと「Load」のサブ・ページに入ります。<<ALL>>を選択してからENTER/YESキーを押して、「Load All」のサブ・ページに入ります。

<<ALL>>を選択してからENTER/YESキーを押して、ファイル名を表示します。

TEMPO/VALUEセクション【5】の[UP/+]キーを押して、ロードするファイル名を選択します。ENTER/YESキーを押して、ファイルをロードします。

すべてのファイルを選択すると、USERバンク用のスタイル、アレンジメント、プログラムがロードできます。また、バックিং・シーケンス、グローバルの設定、キーボード・セットもロードできます。



フロッピー・ディスクのフォーマット

本体のデータをフロッピー・ディスクに保存(セーブ)するとき、使用するフロッピー・ディスクを、あらかじめフォーマットしておく必要があります。フォーマットは、使用するフロッピー・ディスクへ1度行っておけばよいです。その都度フォーマットする必要はありません。

3.5"HDのフロッピー・ディスクを用意してください。このディスクは、まだ一度も書き込まれたことのないディスク、またはデータが消滅しても構わないディスクを使用します。フロッピー・ディスクのプロテクトを解除してください。

フォーマットするフロッピー・ディスクをディスクドライブに挿入し、**MODEセクション【15】**のDISK/GLOBALキーを押します。

「Page 1」が表示されていることを確認し、CURSORキーで<<UTIL>>を選択します。「Page 1」が表示されていないときはEXIT/NOキーを押してください。

ENTER/YESキーを押して「Utility」のサブページへ入ります。CURSORキーで<<FORMAT>>を選び、ENTER/YESキーを押します。

「Format Disk」と表示されたら、ENTER/YESキーを押します。

フォーマットは約2分で終了し、「Completed」と表示されます。

フロッピー・ディスクへのセーブ

フォーマット済みのフロッピー・ディスクをディスクドライブに挿入し、**MODEセクション【15】**のDISK/GLOBALキーを押してDisk/Globalモードに入ります。

「Page 1」が表示されていることを確認し、CURSORキーで<<SAVE>>を選択します。「Page 1」が表示されていないときはEXIT/NOキーを押してください。

ENTER/YESキーを押して「Save」のサブページに入ります。フロッピー・ディスクにセーブするデータの形式を選択し、ENTER/YESキーを押します。すべてのデータをセーブするときは<<ALL>>を選択してください。

ファイル名を変更するときは、CURSORキーで文字の位置を変え、TEMPO/VALUEセクションのキー(またはダイヤル)で文字を選びます。

変更が終わったらENTER/YESキーを押します。

新しくファイル名をつけるときは、すでにフロッピー・ディスクに存在する名前と同じものを絶対に付けないでください。ファイルをセーブしたときに、フロッピー・ディスク内の同名のファイルは消滅します。

iS40/iS50のスケール

スケールの変更

通常iS40/iS50は、平均律をメイン・スケールに設定しています。

iS40/iS50ではメイン・スケールとは別に、他の音律をサブスケールとして設定し、ペダル・スイッチまたはコルグEC5コントローラ(iS40のみ)でメインとサブのスケールを切り替えることができます。

ペダルスイッチを**ASSIGNABLE PDL/SW**端子へ、またはコルグEC5コントローラをiS40の**EC5接続端子**へ接続してください。

MODEセクション【15】のDISK/GLOBALキーを押して、Disk/Globalモードに入ります。

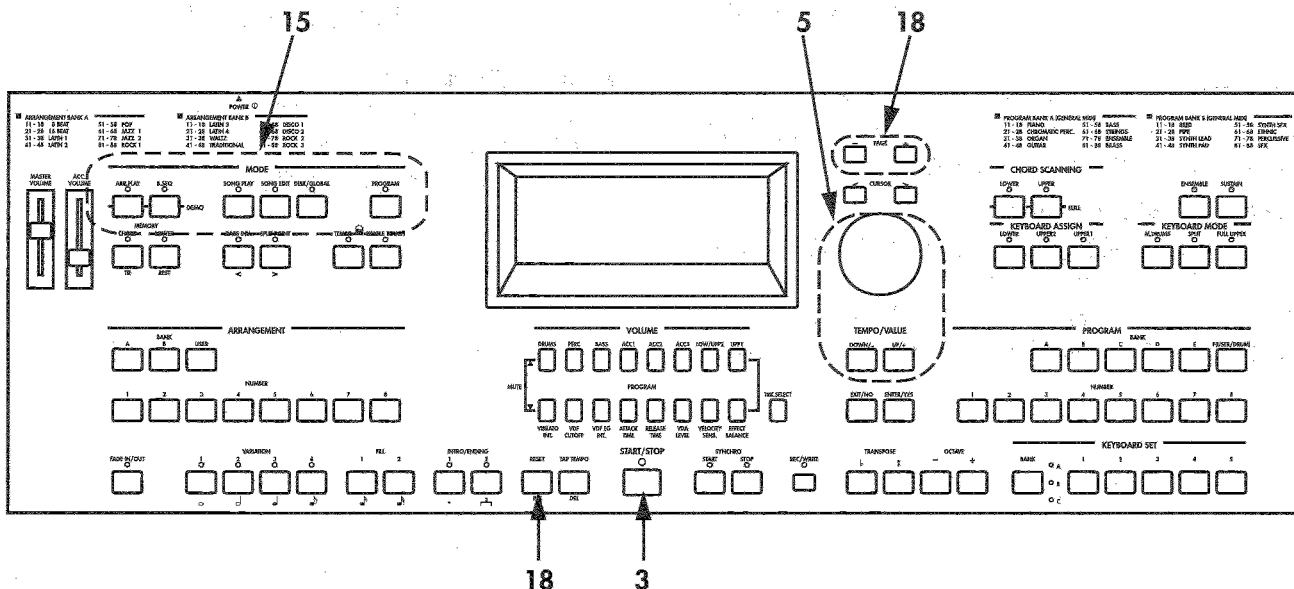
PAGEキー【18】の[+]または[-]を押して、「Page 8」または「Page 9」を表示します(ペダルスイッチを接続したときは「Page 8」、コルグEC5コントローラを接続したときは「Page 9」)。

TEMPO/VALUEセクション【5】のキー(またはダイヤル)で**SCALE CHANGE**を選びます。

PAGEキーで「Page 14」を表示します。

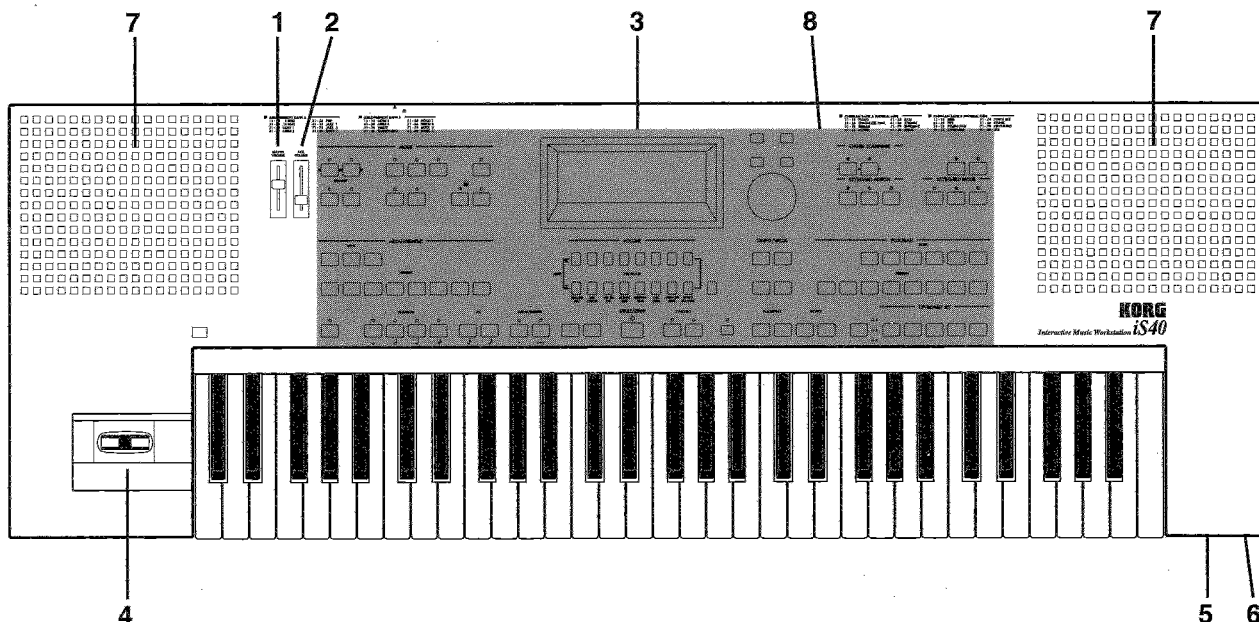
TEMPO/VALUEセクションのキー(またはダイヤル)でスケールを選びます。Keyパラメータは、選択した音律の主張和音のキーです。

これでArrangement Playモードなどの演奏中に、ペダルスイッチまたはEC5でスケールが変更できます。



2. フロント・パネルとリア・パネル

フロント・パネル

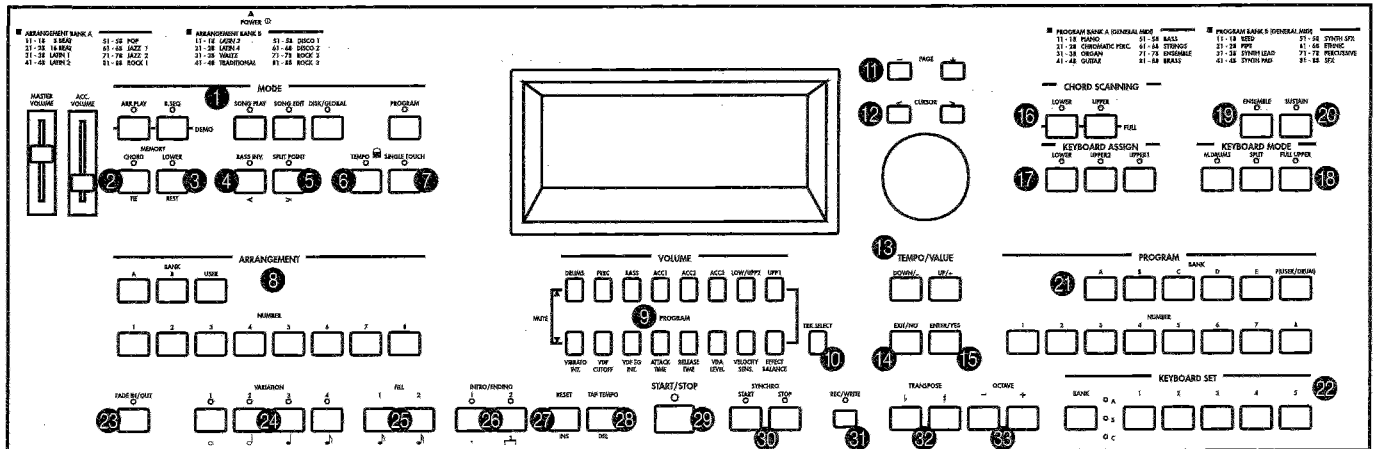


- 1 **MASTER VOLUME(マスター・ボリューム)スライダー**
音量を総合的に調節するボリュームです。
スピーカー、ヘッドホン、OUTPUT 端子からの出力に有効です。
- 2 **ACC.VOLUME(アカンパニメント・ボリューム)スライダー**
自動伴奏の音量を調節します。
ただし、Song PlayモードとSong Editモードでは、VOLUMEセクションで選択したトラックは調整できません。
- 3 **ディスプレイ**
ページNo.、パラメータ、メッセージ等、操作のための様々な情報を表示します。
特にこの部分には、衝撃を与えないように注意してください。
- 4 **JOYSTICK(ジョイスティック)**
ピッチベンド(左←→右)、モジュレーション(後方↑)、割り当てたエフェクトのダイナミックモジュレーション(手前↓後方↑)をリアルタイムでコントロールします。
- 5 **フロッピー・ディスク・ドライブ**
3.5インチ両面倍密度(2DD)、または両面高密度(2HD)のフロッピー・ディスクを挿入します。
フロッピー・ディスクを正しく挿入してください。詳しくは、「フロッピー・ディスクの扱い方」(P.42)を参照してください。

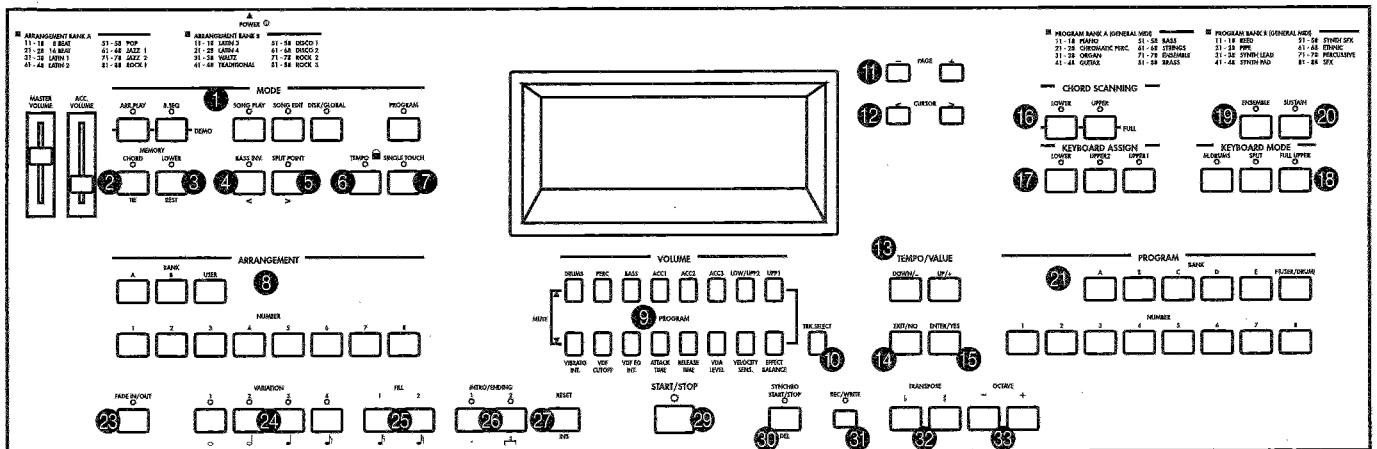
- 6 **イジェクト・ボタン**
フロッピー・ディスクを取り出すときは、ディスクアクセス・インジケータが消えていることを確認し、このボタンを押します。
このボタンを押してもフロッピー・ディスクが出てこない場合は、無理に取り出さず、お買い求めになった販売店または(株)コルグの営業技術課に相談してください。
- 7 **スピーカー**
スピーカーは本機に内蔵されています。スピーカーの音量はMASTER VOLUMEスライダーで調整してください。
 - ▲ 極端に大きな音量は聴覚に重大な悪影響をおよぼす原因になることがあります。音量は適正なレベルを守ってください。
 - ▲ 音量が大きいほど、音の歪みが出やすくなります。
- 8 **コントロール・パネル**
コントロール・パネルには、エディットや様々な制御機能を実行するためのキーがあります。
このパネルの詳細は次で説明します。

コントロール・パネル

IS40



IS50



① MODE(モード)セクション

このセクションのキーで、モードを切り替えます。

ARR. PLAY(アレンジメント・プレイ)キー

このキーを押すと**Arrangement Playモード**に入ります。

このモードでは、自動伴奏に合わせて演奏を行います。
電源をオンにすると、自動的にこのモードに入ります。

B.SEQ(バックিং・シーケンス)キー

このキーを押すと**Backing Sequenceモード**に入ります。

このモードでは、自動伴奏による演奏のレコーディングや再生を行います。

SONG PLAY(ソング・プレイ)キー

このキーを押すと**Song Playモード**に入ります。

このモードでは、スタンダードMIDIファイル(SMF)フォーマットで保存された音楽演奏を、フロッピー・ディスクからロードせずに直接再生します。

SONG EDIT(ソング・エディット)キー

このキーを押すと**Song Editモード**に入ります。

このモードではスタンダードMIDIファイル(SMF)のレコーディングや再生、エディットを行います。

DISK/GLOBAL(ディスク/グローバル)キー

このキーを押すと**Disk/Globalモード**に入ります。

フロッピー・ディスクからのデータのロード/セーブは、このモードで行います。また、チューニング、MIDIチャンネルの設定などの基本的な設定も、このモードで行います。

PROGRAM(プログラム)キー

このキーを押すと**Programモード**に入ります。

このモードでは、プログラム(音色)をエディットします。

DEMO(デモ)モード

ARR. PLAYキーと**B. SEQキー**を一緒に押すと**デモモード**に入り、デモ曲を聴くことができます。

START/STOPキーを押すと、全16曲を連続して聴くことができます。途中で曲を停止するときは、**START/STOPキー**を押します。

特定のデモ曲を聴くときは、**ARRANGEMENT**セクションと**PROGRAM**セクションの**NUMBER**キーの[1]~[8]で、1~16曲から1曲を選択することができます。曲を選択すると、自動的にデモ曲が再生されます。

デモモードから抜けるときは**EXIT/NO**キーを押します。

- ② **MEMORY CHORD(メモリー・コード)キー**
このキーを押して機能をオンにすると、**Arrangement Playモード**と**Backing Sequenceモード**では、鍵盤から手を離しても直前に押さえたコードを維持します。Backing Sequenceモードの**ステップ・レコーディング**では、音符をタイでつなげるときに使用します。
- ③ **MEMORY LOWER(メモリー・ロー)キー**
このキーを押して機能をオンにすると、**Arrangement Playモード**と**Backing Sequenceモード**では、鍵盤から手を離してもLOWERトラックの音を維持します。機能の設定はDisk/Globalモードの「Page 10」で行います。Backing Sequenceモードの**ステップ・レコーディング**では、休符を入力するとき使用します。
- ④ **BASS INV.(ベース・インバージョン)キー**
このキーを押して機能をオンにすると、**Arrangement Playモード**と**Backing Sequenceモード**では、弾いたコードの最低音をベース音として検出します。これによってAm7/CやF/Cのようなコードが指定できます。CHORD SCANNINGセクションの設定をFULLにしたときは、他のベース音を弾くまでベース音は変わりません。Backing Sequenceモードの**ステップ・レコーディング**では、前のステップに戻るときに使用します。
- ⑤ **SPLIT POINT(スプリット・ポイント)キー**
Arrangement Playモードと**Backing Sequenceモード**では、このキーを押して鍵盤のスプリット・ポイント(分割点)を変更します。キーを押したままスプリット・ポイントにする鍵盤を押してください。この音を含めて鍵盤の右側の音は**UPPER**、左側は**LOWER**に設定されます。Backing Sequenceモードの**ステップ・レコーディング**では、次のステップに進むときに使用します。
- ⑥ **TEMPO LOCK(テンポ・ロック)キー**
このキーを押して機能をオンにすると、アレンジメントを変更してもテンポは変わりません。
- ⑦ **SINGLE TOUCH(シングル・タッチ)キー**
このキーを押して機能をオンにすると、アレンジメントを変えたときのプログラム(音色)とテンポが、それぞれのアレンジメントに設定されているものに変更されます。ただし、TEMPO LOCKキーの機能がオンのときは、テンポは変わりません。
- ⑧ **ARRANGEMENT(アレンジメント)セクション**
このセクションのBANKキーとNUMBERキーで**アレンジメント**を選びます。アレンジメントを選ぶときはBANKキーの[A]または[B]、[USER]を押してバンクを選んだ後、NUMBERキーの[1]~[8]を押して11~88のアレンジメントを選びます。Arrangement Playモードの「Page 2」では、これらのキーは**スタイル**を選ぶときにも使用します。
- ⑨ **VOLUME(ボリューム)セクション**
通常、これらのキーはトラックの**音量調節**と**ミュート**(消音)に使用します。音量を上げるときは上(▲)のキー、下げるときは下(▼)のキーを押します。また、トラックをミュートするときには上下のキーを一緒に押します。**Arrangement Playモード**では、トラックの選択と音量の変更に使います。選んだトラックには個別にプログラム(音色)を設定できます。**Backing Sequenceモード**では、トラックの選択と音量の変更に使います。エクストラ・トラックの選択と音量を変更するときは、最初にTRK. SELECTキーを押してからVOLUMEセクションのキーを押します。**Song Playモード**では、MIDIチャンネルの選定と、その音量または選択したパラメータの変更を行います。チャンネル1~8と9~16をTRK.SELECTキーで切り替えてから、チャンネルの選択と音量を変更します。**Song Editモード**では、トラックの選択と、その音量または選択したパラメータの修正を行います。トラック1~8と9~16をTRK.SELECTキーで切り替えてから、トラックの選択と音量を変更します。**Programモード**では、選択したプログラムのピブラート、カットオフ、アタックタイム等のパラメータの設定を直接ディスプレイに表示させることができます。「Page 1」を表示していることを確認し、上または下のキーを押すと、それぞれに割り当てられているパラメータ名がディスプレイに表示されます。
- ⑩ **TRK.SELECT(トラック・セレクト)キー**
このキーを押して機能をオンにすると、**Arrangement Playモード**ではACC1、ACC2、ACC3のそれぞれのトラックがミュートされます。**Backing Sequenceモード**では、アレンジメント・トラックとエクストラ・トラックが切り替わります。**Song Playモード**では、MIDIチャンネルが1~8から9~16に切り替わります。**Song Editモード**では、トラックが1~8から9~16に切り替わります。
- ⑪ **PAGE(ページ)キー**
[-]を押すと表示されているページの前のページに戻ります。[+]を押すと次のページに進みます。ページNo.は、ディスプレイ内の右側に表示されます。
- ⑫ **CURSOR(カーソル)キー**
ディスプレイに現れているカーソル(文字の点滅)を移動するときに使用します。パラメータの値等は、カーソルを目的のパラメータに合わせてからTEMPO/VALUEセクションのキー(またはダイヤル)で変更します。
- ⑬ **TEMPO/VALUE(テンポ/バリュー)セクション**
[DOWN/-]キー、[UP/+]キーまたはダイヤル(is40のみ)は、テンポの変更やカーソルで選択された値を変更するときに使用します。

14 EXIT/NO(エグジット/ノー)キー

操作の実行時に**No**を選択するときに使います。

Song Editモードでは「Page 2」に移り、**その他のモード**では「Page 1」に移ります。

Song Playモードでは、ジュークボックス機能から抜けるときにこのキーを押します。

15 ENTER/YES(エンター/イエス)キー

操作の実行時に**Yes**を選択するときに使います。

Song Editモードでは、ソングを選択してこのキーを押すと、そのソングがジュークボックス・リストに登録されます。

**16 CHORD SCANNING(コード・スキャンニング)セクション
Arrangement PlayモードとBacking Sequenceモード**

で、コードを検出する鍵盤上の範囲を設定します。LOWERキーとUPPERキーを押して2つのLEDを点灯させると、コードを鍵盤の全域(FULL)で検出します。

LOWERキー

このキーを押して機能をオンにすると、スプリット・ポイントよりも左の範囲でコードを検出します。

UPPERキー

このキーを押して機能をオンにすると、スプリット・ポイントを含む右の範囲でコードを検出します。

**17 KEYBOARD ASSIGN(キーボード・アサイン)セクション
Arrangement PlayモードとBacking Sequenceモード**

で、鍵盤に割り当てるトラック(UPPER 1、UPPER 2、LOWER)を選びます。ただし、UPPER 2とLOWERは同時には選べません。

18 KEYBOARD MODE(キーボード・モード)セクション

これらのキーでは、鍵盤にトラックをどのように割り当てるか設定します。

M.DRUMキー

このキーを押して機能をオンにすると、打楽器系のトラックが鍵盤に割り当てられます。

SPLITキー

このキーを押して機能をオンにすると、スプリット・ポイントを境にして右側にUPPER 1トラック、UPPER 2トラック、左側にLOWERトラックを割り当てることができます。

FULL UPPERキー

このキーを押して機能をオンにすると、1つまたは2つのトラック(UPPER 1トラックのみ、UPPER 2トラックのみ、または両トラック)を鍵盤の全域に割り当てることができます。

19 ENSEMBLE(アンサンブル)キー

Arrangement Playモードと**Backing Sequenceモード**では、このキーを押して機能をオンにすると、右側で弾くメロディーに、左側で弾くコード(和音)に基づいたハーモニー(旋律和音)が付きます。これを実行するときはコード・スキャンニングの設定はLOWERにします。

20 SUSTAIN(サステイン)キー

Arrangement Playモード、**Backing Sequenceモード**、**Song Playモード**でこのキーを押して機能をオンにすると、鍵盤から指を離しても、弾いた音が一定時間持続します。

21 PROGRAM(プログラム)セクション

BANKキーとNUMBERキーで**プログラム**を選びます。

プログラムを選ぶときはBANKキーの[A]または[B]、[C]、[D]、[E]、[F (USER/DRUM)]を押してバンクを選んだ後、NUMBERキーの[1]~[8]を押して11~88のアレンジメントを選びます。

ドラム・プログラムを選ぶときは、BANKキーの[F (USER/DRUM)]を2回押し、ディスプレイに“Dr”と表示されたのを確認してから、NUMBERキーで11~28の数を選びます。

22 KEYBOARD SET(キーボード・セット)セクション(iS40)

鍵盤の音色を変更したいとき、その都度バンクとプログラムを選んで各トラックに割り当てる必要がありますが、このセクションは1つのキーを押すだけで、保存されているキーボード・セット(音色をはじめとするキーボード・トラックの組み合わせ)を選ぶことができます。

キーボード・セットを保存するときは、まずREC/WRITEキーを押します。次に、保存先のバンクとナンバーをBANKキーと[1]~[5]のキーで選んで押してください。最後にENTER/YESキーを2回押します。

23 FADE IN/OUT(フェード・イン/アウト)キー

Arrangement Playモードでこのキーを押すと、音量が次第に大きくなって自動伴奏が始まります。

演奏中に押すと伴奏が次第に小さくなって演奏が終わります。

24 VARIATION(バリエーション)キー

Arrangement Playモードと**Backing Sequenceモード**では、演奏中にこれらのキーを押してスタイルのバリエーションを選びます。

Backing Sequenceモードの**ステップ・レコーディング**では、入力する音符の長さを決めます。

25 FILL(フィルイン)キー

Arrangement Playモードと**Backing Sequenceモード**では、演奏中にこれらのキーを押してフィルインを入れます。

Backing Sequenceモードの**ステップ・レコーディング**では、入力する音符の長さを決めます。

26 INTRO/ENDING(イントロ/エンディング)キー

Arrangement Playモードと**Backing Sequenceモード**では、これらのキーを押してからSTART/STOPキーを押すと、イントロが入って演奏が始まります。演奏中にSTART/STOPキーを押すとエンディングを経て演奏が終わります。

Backing Sequenceモードの**ステップ・レコーディング**では、入力する音符の長さを決めます。

⑳ **RESET(リセット)キー**

Backing Sequenceモード、**Song Playモード**、**Song Editモード**では、シーケンスを最初の小節に戻すときに使用します。バックিং・シーケンスやソングのパートごとの初期設定等を変更する場合は、このキーを押してから変更してください。

MIDI機器との接続時に何らかの原因で音が止まらなくなった場合も、このキーを押してください。

Backing Sequenceモードと**Song Editモード**では、ステップ・レコーディングのイベントの挿入、そして名前を付けるときの空白スペースの挿入に使用します。

㉑ **TAP TEMPO(タップテンポ)キー (iS40)**

このキーを数回押すと、押した間隔を1拍としてテンポが設定できます。

Backing Sequenceモードと**Song Editモード**では、ステップ・レコーディングのイベントの削除、そして名前を付けるときの文字の削除に使用します。

㉒ **START/STOP(スタート/ストップ)キー**

Arrangement Playモード、**Song Playモード**では、自動伴奏またはソングを開始または停止するときに使用します。このキーはデモ演奏の開始/停止にも使用します。

Backing Sequenceモードと**Song Editモード**では、レコーディングまたはデータの再生を開始/停止するときに使用します。

㉓ **SYNCHRO START(シンクロ・スタート)キー、SYNCHRO STOP(シンクロ・ストップ)キー (iS40)**
SYNCHRO START/STOP(シンクロ・スタート/ストップ)キー (iS50)

iS40では、SYNCHRO STARTキーを押すと、コードを弾くだけで自動伴奏が始まります。SYNCHRO STOPキーを押すと、コードを弾いていた手を鍵盤から離れたときに自動伴奏が止まります。

iS50では、このキーを押すと、鍵盤でコードを弾いたときに自動伴奏が始まり、手を鍵盤から離すと自動伴奏が止まります。

Backing Sequenceモードと**Song Editモード**では、ステップ・レコーディングでイベントの削除、名前を付けるときの文字の削除に使用します。

㉔ **REC/WRITE(レック/ライト)キー**

Backing Sequenceモードのリアルタイム・レコーディングとステップ・レコーディング、**Song Editモード**のリアルタイム・レコーディング、イベント・エディットでは、このキーを押すとレコーディング・モードに入ります。

Arrangement Playモード、**Programモード**では、アレンジメント、キーボードセット、プログラムをライト(書き込み)するときにこのキーを使用します。

㉕ **TRANSCOPE(トランスポーズ)キー**

本機の音を移調するときに使用します。

1回押すごとに半音ステップで移調します。

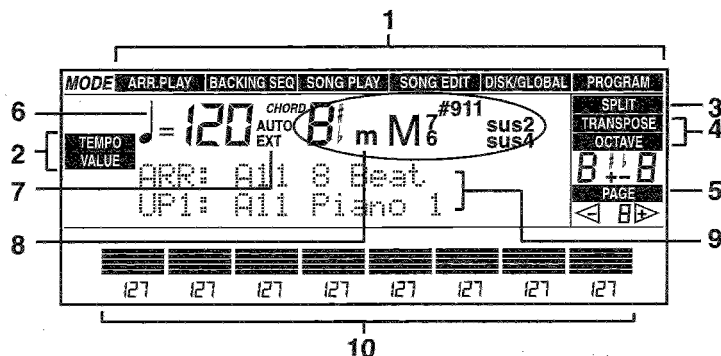
元に戻すときは、2つのキーを一緒に押します。

㉖ **OCTAVE(オクターブ)キー**

選んだトラックの音を1オクターブ上下するときに使用します。

元に戻すときは、2つのキーを一緒に押してください。

ディスプレイ



1 MODE(モード)

実行中のモードが表示されます。

2 TEMPO/VALUE(テンポ/バリュー)

テンポが変更できる状態のときは**TEMPO**、パラメータ等の値が変更できる状態のときは**VALUE**と表示されます。

3 SPLIT(スプリット)

SPLIT POINTキーを押すと、押し続けている間だけスプリット・ポイントの音名が表示されます。

4 TRANSPOSE/OCTAVE(トランスポーズ/オクターブ)

TRANSPOSEキーを押すと、移調した音名(Cが基音)が表示され、OCTAVEキーを押すと、変更した音の高さが表示されます。

5 PAGE(ページ)

現在のページNo.が表示されます。

ページNo.の左右に表示される+と-は、現在表示されているページの前または後ろにページがあることを意味します。ページを移動するときは、PAGEキーを押します。

6 Tempo(テンポ)

現在のテンポが表示されます。

この右にTEMPOと表示されているときは、TEMPO/VALUEセクションのキーまたは(またはダイヤル)で、テンポを変えることができます。

7 Tempo mode/Clock(テンポ・モード/クロック)

Backing Sequenceモードのレコーディング時にテンポ・モード(クロック・ソース)の設定を表示します。

AUTOのとき、iS40/iS50は内部のテンポで動作します。

EXTのとき、iS40/iS50はMIDI INに接続した外部機器のメトロノームに合わせて動作します。これは、Disk/Globalモードの「Page 3」でClockパラメータで設定します。

8 コードネーム表示

検出したコード名が表示されます。

9 パラメータ表示

この2行の文字列に表示されるパラメータの値を変更するときは、CURSORキーで位置を合わせ、TEMPO/VALUEセクションのキーまたはダイヤル(iS40)を使用します。

10 Volume(ボリューム)インジケータ

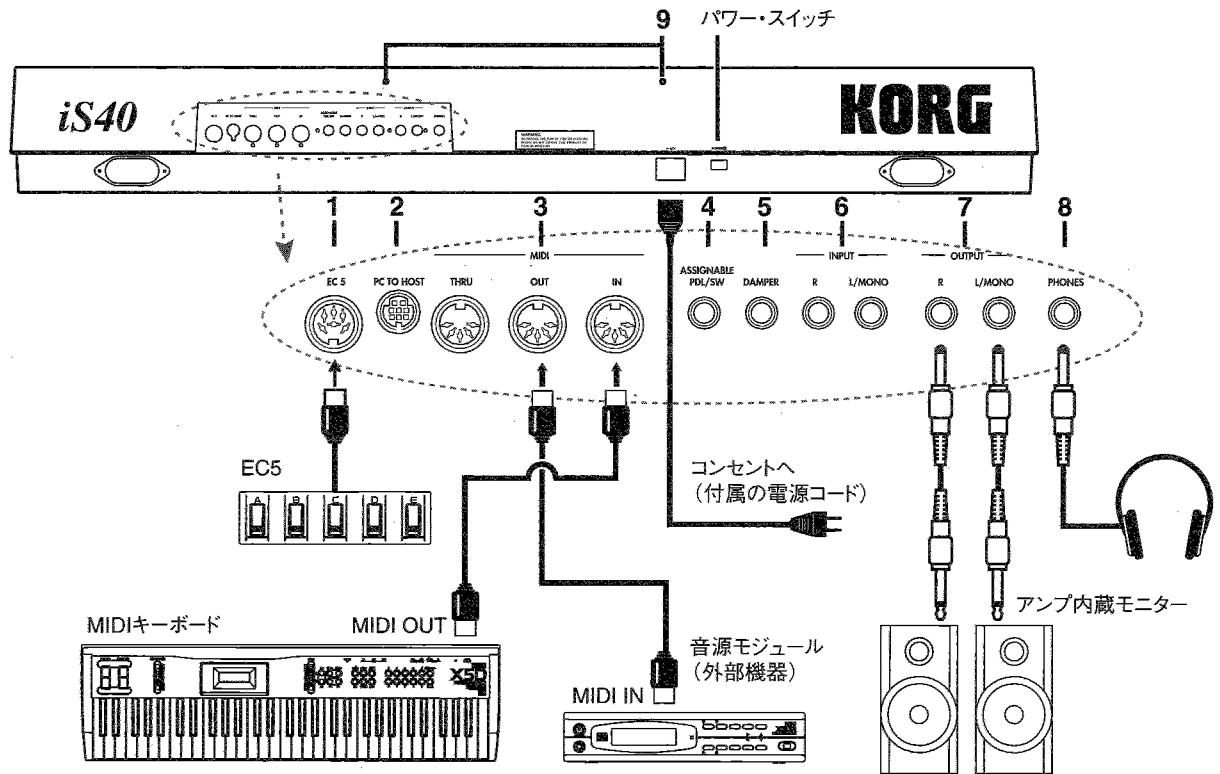
トラックまたはチャンネルの音量を表示します。

ミュートになっているトラックは、音量を表示されません。

左に**ch**と表示されるときは、各チャンネルの音量をあらわします。また、**ET**と表示されるときは、各エクストラトラックの音量をあらわしています。

チャンネルまたはトラックは、TRK.SELECTキーを押すと1~8と9~16が切り替わります。

リア・パネル

**1 EC5端子 (iS40)**

コルグEC5コントローラ(別売)を接続する端子です。Disk/Globalモードの「Page 9」で設定すると、EC5の5つのペダルそれぞれに機能を割り当てることができます。

2 PC TO HOST端子 (iS40)

MIDI端子のないコンピュータと接続するための端子です。接続するときは、コンピュータの種類に適した別売の接続キットを選んでください。詳しくは、「6. コンピュータとの接続」(P.33)を参照してください。

3 MIDI端子 (IN, OUT, THRU)

外部MIDI機器(鍵盤楽器やコンピュータなど)と接続する場合は、MIDIケーブルを使って各機器のMIDI端子と接続します。

MIDI IN端子は、他の機器からのデータを受信するための端子です。

MIDI OUT端子は、他の機器へデータを送信するための端子です。

MIDI THRU端子 (iS40)は、MIDI IN端子で受信したデータをそのまま転送するための端子です。

4 ASSIGNABLE PDL/SW (アサイナブル・ペダル/スイッチ) 端子

別売のコルグ・ペダルコントローラXVP-10、EXP-2、フットスイッチPS-1などを接続します。

iS40では、Disk/Globalモードの「Page 8」で、これらのペダルに機能を割り当てることができます。

iS50では、この端子はダンパー・ペダルに割り当てられています。

5 DAMPER端子 (iS40)

別売のコルグ・ダンパーペダルDS-1等を接続します。ダンパーペダルの極性が異なる場合は、Disk/Globalモードの「Page 12」で設定してください。

6 INPUT端子 (iS40)

外部からの音声信号の入力端子です。

シンセサイザー、ミキサー、その他の機器からのラインレベルの出力を接続できます。ギターを接続する場合は、ギターとiS40の間にエフェクターやプリアンプを通して、信号出力を高めてから接続してください。モノラル出力の機器を接続する場合は、L/MONO入力端子へ接続してください。

INPUT端子に接続すると、接続した機器の音は本機の左右の内蔵スピーカーとOUTPUT端子から出力されます。

7 OUTPUT端子

オーディオ用の出力端子です。

外部のアンプはここに接続します。モノラルアンプを接続する場合は、L/MONO出力端子に接続してください。

⚠ 音量が大きすぎると聴覚障害の原因となることがあります。音量は適正なレベルを守ってください。

8 ヘッドホン端子

ステレオ・ヘッドホンはここに接続してください。

9 譜面立てホール

付属の譜面立ては、ここの穴に差し使います。

3. モードについて

本機は6つの**モード**を持ち、モードの各機能が一体となって本機の特徴を発揮します。
モードを選ぶときは、MODE セクションのキーを押します。

Arrangement Playモード

Arrangement Playモードは、iS40/iS50の機能の中心となる演奏モードです。

電源をオンにしたときは常にこのモードに入ります。

このモードでは、iS40/iS50を使って演奏したいアレンジメントを選択します。iS40/iS50には、A、B、USERの3つのバンクにそれぞれ64種類、合わせて192種類のアレンジメントがあり、これらを使ってオリジナルの曲を作曲したり、あるいは既製の曲をオリジナルのアレンジで演奏することなどができます。また、これらのアレンジメントは、Backing Sequenceモードで使用されます。

それぞれのアレンジメントには、プログラム(楽器の音色)、ボリューム、パン、エフェクト、テンポ、ミュート等を設定するパラメータがあります。USERバンクのアレンジメントは、これらの設定を変更して保存したり、フロッピー・ディスクからまったく新しい設定データをロードして使用することができます。

アレンジメントは、スタイルと、2つのキーボード・ティンバーの設定(シングル、レイヤー、スプリットなど)で構成されています。

スタイルは、曲や伴奏を組み立てるための音楽の素材で、ロックやポップス、民族音楽などのさまざまな音楽の典型的なパターンを集めたものです。

各スタイルは4つのバリエーション、2つのイントロ(前奏)、2つのエンディング(後奏)、2つのフィル・インを含んでいます。

スタイルは、ドラム(一般的なドラム・セット)、パーカッション(ドラム以外の打楽器全般)、ベース、ACC1、ACC2、ACC3という、全部で6つの演奏トラックからできています。これら6つの演奏トラックは、伴奏全般を受け持つという意味で**バックিং・トラック**と呼ばれます。

Backing Sequenceモード

Backing Sequenceモードでは、アレンジメントに合わせて弾いた演奏を録音したり、再生したりすることができます。

各バックিং・シーケンスは、主に3つのアレンジメント・トラック(キーボード・トラック、コントロール・トラック、コード・トラック)から構成されています。

コントロール・トラックはフロント・パネルからのキー操作を記録し、コード・トラックはコード進行を記録します。アレンジメントを選んでバックিং・トラックの再生をコントロールするときは、これらの

情報を使います。

キーボード・トラックは、キーボード・ティンバーを使って伴奏にメロディーを追加するときに使います。もちろん、このトラックを空のままにしてキーボード・ティンバーをライブ演奏用にとっておくこともできます。

またアレンジメント・トラックとは別に、エクストラ・トラックと呼ばれるトラックが8つあり、これに曲の一部分を追加録音することができます。

Programモード

iS40/iS50で演奏する音色を**プログラム**と呼びます。

iS40/iS50には、A、B、C、D、E、F (USER)の6つのバンクにそれぞれ64種類、DRUMバンクに16(ユーザー・プログラムを含む)種類の合わせて400種類のプログラムが内蔵されています。

Programモードでは、音色、音質をエディットし、オリジナルのプログラムを作り上げることができます。

このプログラムは、Arrangement Playモード、Backing Sequenceモードの各トラック(チャンネル)で使用されます。また、Song PlayモードでスタンダードMIDIファイルのデータを再生するときにも、これらのプログラムの音色が使われます。

Song Playモード

Song Playモードでは、スタンダードMIDIファイルのフォーマットで保存されているソング・ファイルを再生することができます。

Song Playモードでは、チャンネルごとにプログラム選択やボ

リューム、パン、エフェクト・センド・レベルを設定します。また、テンポ、トランスポーズ、エフェクトも設定することができます。ただし、これらの変更はセーブされません。

Song Editモード

Song Editモードでは、ロード操作で読み込んだスタンダードMIDIファイルの内容を変更することができます。また、ソングデータをセーブ操作によってスタンダードMIDIファイルとして保存すること

ができます。

Song Editモードでは、ロードした曲しか演奏できませんが、演奏内容を変更し、それをディスクに保存しておくことが可能です。

Disk/Globalモード

Disk/Globalモードでは、iS40/iS50の機能全体に関する以下の設定を行います。

- iS40/iS50のデータをフロッピーディスクへセーブ、フロッピーディスクからのロード
- キーボード・チューニング・パラメータ
- MIDI機能の設定
- 接続したフットペダルの設定
- 外部コントローラの設定 (iS40)
- サウンド・ホールド (LOWER MEMORY) 設定
- ベロシティカーブの設定

- スケールの設定
- MIDI情報の送受信コントロール
- ジョイスティック、アフタータッチ、アサイナブル・ペダル/スイッチのキャリブレーション

プログラムデータやアレンジメントデータと異なり、電源を切った後もDisk/Globalモードの設定は記憶されます。ただし、Local Control、Clock Sourceの各パラメータの設定は例外です。

セーブ時にALLを選択すると、グローバルの設定も同時に保存されます。

ページ画面について

各種のパラメータと機能は、各モードのそれぞれのページ画面に分かれています。

ページNo.は常にディスプレイ内の右側に表示されます。

ページ画面は、PAGEキーの[+]、[-]を押して切り替えることができます。

特定のページに直接進みたい場合は、現在表示しているモードのキー (ARR. PLAYキー～DISK/GLOBALキー) を押しながら、ARRANGEMENTセクションのNUMBERキーまたはPROGRAMセクションのNUMBERキーを押します。

ページ1～8を表示するときは、ARRANGEMENTセクションのNUMBERキーで[1]～[8]を押し、ページ9～16を表示するときは、PROGRAMセクションのNUMBERキーで[1]～[8]を押します。

ページ画面の登録方法

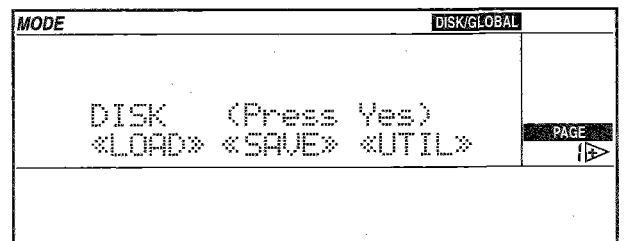
工場出荷時は、あらかじめARRANGEMENTセクションのNUMBERキー[1]～[8]にページ1～8が、PROGRAMセクションのNUMBERキー[1]～[8]にページ9～16が登録されています。このページの登録は、以下の手順で変更することができます。

- ① 登録するページをディスプレイに表示させます。
- ② MODEセクションで、現在のモードのキーを押しながらREC/WRITEキーを押します。
- ③ MODEセクションのキーは押したままで、REC/WRITEキーから手を離します。
- ④ 登録先のキーを押します。
ARRANGEMENTセクションのNUMBERキーで[1]～[8]、またはPROGRAMセクションのNUMBERキーで[1]～[8]のキーを選んでください。

サブ・ページについて

ページ画面には、さらに細かい機能別のページ画面を選択できるようになっている場合があります。このようにページの中にあるページをサブ・ページと呼びます。

液晶画面の下の段に表示されている<<LOAD>>、<<SAVE>>、<<UTIL>>の<< >>は、サブ・ページがあることを表わしています。



CURSORキーで、これらの文字にカーソルを合わせ (カーソルで選択した文字は点滅)、ENTER/YESキーを押すと、それぞれのサブ・ページに入ることができます。

パラメータ値の設定について

パラメータの値は、専用のキーで設定する方法もありますが、基本的にはディスプレイ内のカーソル上の値が設定の対象になります。

CURSORキーでカーソルを移動させて、TEMPO/VALUEセクションの[UP/+]、[DOWN/-]キー、またはダイヤル (iS40のみ) で値を設定します。

4. 操作編

本機には多くの機能が搭載されているので、操作を誤って意図しないページに入ってしまうことがありますが、そのときは、EXIT/NOキーを押してください。そのときの状況によってディスプレイに表示されるページは異なりますが、再び操作が続けられる状態に戻ります。

本編に出てくるプログラム、スタイル、アレンジメントの名前は実際のものと多少異なる場合がありますが、あくまでも例ですので気にせずに進んでください。

デモ演奏

デモ演奏を聴く

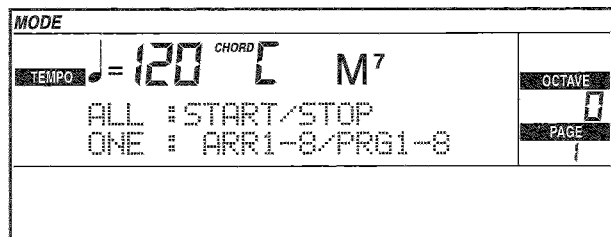
iS40/iS50では、メモリー内のデモンストレーション用のソングを演奏させることができます(このソングは消すことはできません)。

デモ演奏を聴き、本機のサウンドの可能性に触れてみましょう。

デモ・モードへの入り方

- **MODE**セクションの**ARR.PLAY**キーと**B.SEQ**キーを一緒に押します。

デモ・モードへ入り、ARR.PLAYキーとB.SEQキーのLEDが点滅します。



全てのデモ演奏を連続して聴く

- ① **START/STOP**キーを押してください。
デモ演奏は1曲目から演奏されます。
- ② デモ演奏を途中で停止するときは、**START/STOP**キーを押してください。

デモ演奏を1曲だけ聴く

- ① **ARRANGEMENT**セクションの**NUMBER**キーまたは**PROGRAM**セクションの**NUMBER**キーで、デモ・ソングを選びます。
デモ・ソングの1~8を直接選ぶときは、**ARRANGEMENT**セクションの**NUMBER**キーで[1]~[8]を押します。
9~16を直接選ぶときは、**PROGRAM**セクションの**NUMBER**キーで[1]~[8]を押します。

NUMBERキー (ARRANGEMENT)		NUMBERキー (PROGRAM)	
1	1: Synth World	1	9: Classic Piano
2	2: Jazz	2	10: Contemp. Piano
3	3: Latin	3	11: Bolero
4	4: Rock	4	12: Dance
5	5: Gospel	5	13: Jungle
6	6: Quick Step	6	14: Garage
7	7: German Polka	7	15: Progressive
8	8: Valzer	8	16: Modern Beat

- ② デモ演奏を途中で停止するときは、**START/STOP**キーを押してください。

デモ・モードの抜け方

- **EXIT/NO**キーまたは**MODE**セクションのキーをどれか1つ押してください。
EXIT/NOキーを押すとArrangement Playモードに、**MODE**セクションのキーを押すと、押したキーのモードに入ります。

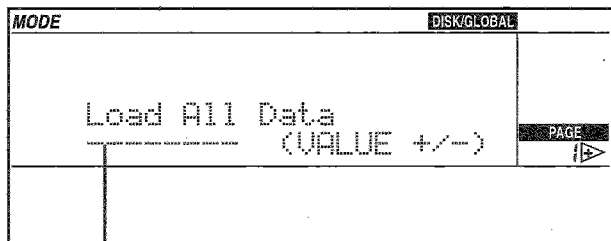
バックিং・シーケンスのデモ演奏

付属のフロッピー・ディスクには、デモンストレーション用のバックিং・シーケンス・データが入っています。

ここでは、バックিং・シーケンスのデモ演奏を聴いてみましょう。

- ① 付属のフロッピー・ディスクをディスク・ドライブに挿入します。
- ② **DISK/GLOBAL**キーを押しDisk/Globalモードに入り、「Page 1」が表示されていることを確認してください。
DISK/GLOBALキーのLEDが点灯します。
「Page 1」が表示されていないときはEXIT/NOキーを押してください。
- ③ カーソルが<<LOAD>>上にあることを確認し、**ENTER/YES**キーを押します。
「Load」のサブ・ページへ入ります。

- ④ カーソルが<<ALL>>上にあることを確認し、ENTER/YESキーを押します。
「Load ALL」のサブ・ページへ入ります。
- ⑤ カーソルが<<ALL>>上にあることを確認し、ENTER/YESキーを押します。
- ⑥ TEMPO/VALUEセクションのキー(またはダイヤル)でロードするファイルを選び、ENTER/YESキーを押します。
フロッピー・ディスク内のファイル名が表示されます。



ファイル名が表示

- ⑦ ディスプレイにCompletedと表示されたら、MODEセクションのB.SEQキーを押します。
Backing Sequenceモードに入り、B.SEQキーのLEDが点灯します。
- ⑧ CARSORキーでバックング・シーケンスの名前の部分にカーソルを移動し、TEMPO/VALUEセクションのキー(またはダイヤル)で演奏するバックング・シーケンスを選びます。
- ⑨ START/STOPキーを押します。
デモ演奏が始まります。
- ⑩ 演奏を途中で止めるときは、START/STOPキーを押します。
- ⚠ バックング・シーケンスのデータは、本機の電源をオフにすると本機から消えてしまいます。

スタンダードMIDIファイルの再生

SMFの再生

iS40/iS50は、スタンダードMIDIファイル(SMF)フォーマットのソング・データを再生することができます。

SMFフォーマットが0のソング・データは、フロッピー・ディスクから直接再生します。

SMFフォーマット1のソング・データは、一度本体に読み込んでから演奏が始まるので曲が始まるまで多少の時間がかかります。

特定のソングを聴く

- ① SMFのソング・データが入っているフロッピー・ディスクを、ディスク・ドライブに挿入します。
- ② SONG PLAYキーを押します。
Song Playモードに入り、SONG PLAYキーのLEDが点灯します。
- ③ TEMPO/VALUEセクションのキー(またはダイヤル)でソング・ファイルを選びます。
ソングの1~8を直接選ぶときは、ARRANGEMENTセクションのNUMBERキーで[1]~[8]を押します。
ソングの9~16を直接選ぶときは、PROGRAMセクションのNUMBERキーで[1]~[8]を押します
選んだファイル名の後ろにアスタリスク(*)がついているときは、それがファイルではなくサブ・ディレクトリであることを表しています。サブ・ディレクトリ内のソングを選択するときは、ENTER/YESキーを押してサブ・ディレクトリ内へ移動し、TEMPO/VALUEセクションのキー(またはダイヤル)でソングを選択します。
元のディレクトリへ戻るときは、ディスプレイに「↑ Dir up」と表示させ、ENTER/YESキーを押します。

- ④ START/STOPキーを押します。
選んだソング・ファイルがSMFフォーマット0のときは、すぐに演奏が始まります。
バックング・シーケンス・データやソング・エディットのデータがiS40/iS50本体内に存在する場合は、これを消してもよいかどうかのメッセージが表示されます。よい場合はSTART/STOPキーを押して再生を開始してください。
- ⑤ 演奏を途中で止めるときは、START/STOPキーを押します。

カレント・ディレクトリ内の全てのソングを聴く

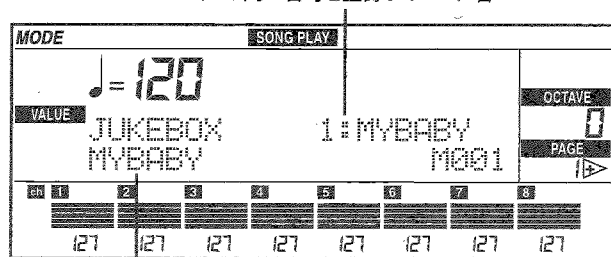
- ① SMFの入ったフロッピー・ディスクをディスク・ドライブに挿入します。
- ② SONG PLAYキーを押してSong Playモードに入ります。
SONG PLAYキーのLEDが点灯し、ディスプレイに「ALL SONG PLAY」と表示されます。
- ③ START/STOPキーを押します。
再生するソング・データがSMFフォーマット0のときは、すぐに演奏が始まります。
バックング・シーケンス・データやソング・エディットのデータがiS40/iS50本体内に存在する場合は、これを消してもよいかどうかのメッセージが表示されます。よい場合はSTART/STOPキーを押して再生を開始してください。
サブ・ディレクトリ内の全てのソングを再生するときは、まず、②でサブ・ディレクトリを選び、ENTER/YESキーを押します。そしてEXIT/NOキーを押します。ディスプレイに「ALL SONG PLAY」と表示されるのを確認してから、START/STOPキーを押します。
- ④ 演奏を途中で止めるときは、START/STOPキーを押します。

ジュークボックス機能

フロッピー・ディスク内で再生するソングの順番をリストにして、それを保存することができます。これをジュークボックス機能と言います。この機能を使うと、リストどおりのソングの再生が簡単にできます。

- ① SMFのソング・データが入っているフロッピー・ディスクを、ディスク・ドライブに挿入します。
- ② SONG PLAYキーを押してSong Playモードに入ります。SONG PLAYキーのLEDが点滅します。
- ③ ディスプレイで「-----」が点滅していることを確認し、TEMPO/VALUEセクションのキー（またはダイヤル）で、ジュークボックスに登録する1曲目のソングを選びます。「-----」が点滅していないときは、CURSORキーでカーソルを移動してください。
- ④ ENTER/YESキーを押します。ソングがリストに登録されます。ディスプレイには、登録したソング名とリスト内の番号が表示されます。

リスト内の番号と登録したソング名



選択したソング

- ⑤ 手順の3、4と同様に、2番目、3番目のソングをリストに加えます。
- ⑥ リストが完成したら、START/STOPキーを押します。リストの順にソングが演奏されます。ソング・データがSMFフォーマット0のときは、すぐに演奏が始まります。バックিং・シーケンス・データやソング・エディットのデータがiS40/iS50本体内に存在する場合は、これを消してもよいかどうかのメッセージが表示されます。よい場合はSTART/STOPキーを押して再生を開始してください。
- ⑦ 演奏を途中で止めるときは、START/STOPキーを押します。もう1度START/STOPキーを押すと、途中から再生が再開されます。EXIT/NOキーを押すと、ジュークボックス機能から抜けます。

カラオケ機能

iS40/iS50はSMFの再生時に、ディスプレイに歌詞を表示させることができます。

ただし、M-live (Midisoft)、Solton、またはTune 1000と互換性のあるフォーマット (Roland Edirol、GEM GMX、HitBit、Yamaha XF) のみに対応しています。

- ① 上記フォーマットのSMFデータが収められているフロッピー・ディスクを、ディスク・ドライブに挿入します。
- ② SONG PLAYキーを押してSong Playモードに入ります。
- ③ TEMPO/VALUEセクションのキー（またはダイヤル）を使って演奏するソングを選んだ後、START/STOPキーを押します。演奏が始まり、歌詞がディスプレイに表示されます。

歌詞表示には次の2とおりの方法があります。

- 1: 歌詞が表示される。
- 2: 演奏に沿って徐々に歌詞が表示される。

演奏中にREC/WRITEキーを押すたびに、1の表示方法、2の表示方法、歌詞表示しない、というようにディスプレイの表示が切り替わります。ただし、Midisoft、Solton、HitBitフォーマットでは2の表示は行えません。

- ④ 演奏を停止するときは、START/STOPキーを押します。
- ⑤ Song Editモードで一度ロードした歌詞付きのSMFをフロッピー・ディスクへセーブするとき、歌詞はSMFとして保存されません。歌詞付きのSMFと同じファイル名のままセーブすると、歌詞のデータは上書きされてしまいます。

アレンジメント

アレンジメントを演奏しよう

iS40/iS50の最も楽しめる部分です。実際のバンドの伴奏を従えてキーボードを弾いているような雰囲気になります。

1つのアレンジメントは1つのスタイルを持っています。スタイルとは、特定の音楽様式に基づく一連の演奏パターンのことをいいます。

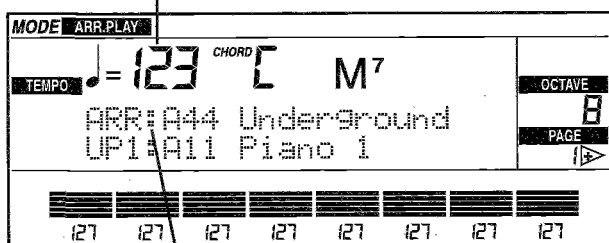
① ARR.PLAYキーを押してArrangement Playモードに入ります。

ARR.PLAYキーのLEDが点灯します。

本機の電源をオンにすると、自動的にArrangement Playモードに入ります。

② ARRANGEMENTセクションのBANKキーを押してバンクを指定した後、NUMBERキーを2回押してアレンジメントを選択します。

選択したアレンジメントのテンポ



選択したアレンジメント

③ RESETキーを押します。

初期設定に戻ります。

検出されたコードがメモリーに残っているときは、ディスプレイにコード名が表示されますが、RESETキーを押すと初期設定に戻り、メモリーからコードも消えます。

④ START/STOPを押します。

リズムの演奏が始まります。

小節の1拍目はSTART/STOPキーのLEDが赤く点灯します。

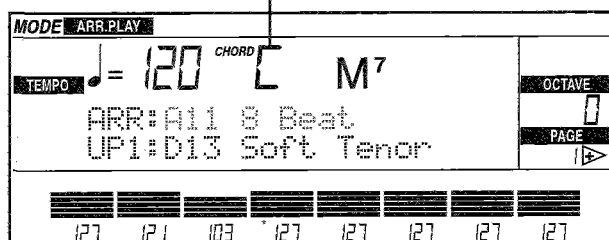
⑤ 鍵盤の左側でコードを弾いてください。

コードが検出され、ディスプレイにコード名が表示されます。

リズムに合わせてコードを変えると、ベースと伴奏トラックが、コードに沿って変化します。

MEMORY CHORDキーのLEDが点灯しているときは、鍵盤から手を離しても直前に弾いたコードは保持されます。

検出されたコード名



鍵盤のコード・スキャニング範囲(コードを検出する範囲)は、CHORD SCANNINGセクションのキーとスプリット・ポイントの設定によって決まります。

Aバンク、Bバンクのアレンジメントでは、コード・スキャニングがLOWERに設定されています。変更しないときは、本機のスプリット・ポイントは通常C4(中央のC)に設定されているので、B3より左の鍵盤を弾くと、コードが検出できます。

スプリット・ポイントは、SPLIT POINTキーを押しながら鍵盤を押すと設定できます。

⑥ 鍵盤の左側でコードを弾きながら、右手でメロディーを弾いてください。

⑦ 演奏を止めるときはSTART/STOPキーを押します。

シンクロ・スタート/ストップ

START/STOPキーを押さなくても、自動伴奏を開始することができます。曲の途中でブレイクを入れるときなどにこの機能を使用すると便利です。

① 伴奏が停止している状態で、iS40ではSYNCHRO STARTキーを、iS50ではSYNCHRO START/STOPキーを押します。

SYNCHRO STARTキーまたはSYNCHRO START/STOPキーのLEDが点滅します。

② コード・スキャニング範囲でコードを弾くと、伴奏が始まります。

iS40ではSYNCHRO STARTキーのLEDが点灯し、iS50ではSYNCHRO START/STOPキーのLEDが消灯します。

③ コードを押さえながら、iS40ではSYNCHRO STOPキーを、iS50ではSYNCHRO START/STOPキーを押します。

iS40ではSYNCHRO STOPキーのLEDが点滅し、iS50ではSYNCHRO START/STOPキーのLEDが点灯します。

④ コード・スキャニング範囲から手を離すと伴奏が停止し、再び押さえると伴奏が始まります。

曲中にブレイクを入れるときなどに使用します。

⑤ iS40ではSYNCHRO STOPキーを、iS50ではSYNCHRO START/STOPキーを押して、キーのLEDを消灯させてから、伴奏を続けてください。

このときは、コード・スキャニング範囲から手を離しても、伴奏は停止されません。

⑥ 伴奏を停止するときは、START/STOPキーを押します。

フィルイン

単調な伴奏にフィルを挿入すると、曲に変化をつけることができます。

- ① 自動伴奏中にFILLキーの[1]または[2]を押します。
フィルインが演奏されます。
押すキーによってフィルインが異なります。
- ② 伴奏を停止するときは、START/STOPキーを押します。

イントロ/エンディング

イントロやエンディングは2種類あります。

- ① 伴奏が停止している状態で、INTRO/ENDINGキーの[1]または[2]を押します。
押すキーによってイントロが異なります。
- ② START/STOPキーを押します。
イントロが演奏された後に、通常の伴奏が続きます。
- ③ 普通に演奏を続けた後に、INTRO/ENDINGキーの[1]または[2]を押します。
エンディングが演奏され伴奏は停止します。
押すキーによってエンディングが異なります。

バリエーション

バリエーションで伴奏パターンに変化をつけることができます。

- ① 伴奏を開始している状態で、VARIATION セクションのキーをどれか1つ押します。
VARIATION セクションのキーを押してから選んだバリエーションに切り替わるタイミングは、スタイルやテンポによって異なりますが、小節の終わりでキーを押すようにしてください。
押すキーによって伴奏パターンが異なります。
- ② FILLキーを押してからVARIATIONキーを押します。
フィルインが演奏されます。
その間、フィルインの終了後に演奏されるバリエーションのLEDが点滅します。
- ③ START/STOPキーまたはINTRO/ENDINGキーを押して、演奏を停止します。
VARIATIONセクションのキーのLEDは、バリエーションの演奏に移ると点灯に変わります。
イントロ待機時やイントロやエンディングの演奏時には、フィルインの演奏等の間にLEDは点滅します。

フェードイン/フェードアウト

- ① 伴奏が停止していることを確認します。
- ② コード・スキャニングの範囲でコードを弾いた後、FADE IN/OUTキーを押します。
伴奏トラックと鍵盤トラックは、最初は音量が小さく、次第に大きくなります。
LOWERトラックがミュートされていないときは、FADE IN/OUTキーを押した後にコードを弾いてください。
- ③ もう一度FADE IN/OUTキーを押すと、伴奏が停止します。
伴奏トラックと鍵盤トラックは、次第に音量が小さくなって停止します。

テンポの変更

テンポは、演奏中や停止時に調整できます。

- ① Arrangement Playモードの「Page 1」を表示します。
EXIT/NOキーを押すと「Page 1」が表示されます。
- ② TEMPO/VALUEセクションのキー(またはダイヤル)で、テンポを変更します。
IS40では、「Page 1」でTAP TEMPOキーを押すと、タップテンポ入力でテンポが変更できます。

演奏中に別のアレンジメントを選ぶ

- ① TEMPO LOCKキーを押します。
機能がオンになり、TEMPO LOCKキーのLEDが点灯します。TEMPO LOCKキーのオン時は、アレンジメントを変更してもテンポは変わりません。
アレンジメントごとにテンポの設定は異なるので、テンポが変わらないように設定します。
- ② START/STOPキーを押して伴奏を開始します。
- ③ 演奏中に、ARRANGEMENTセクションのBANKキーで、[1]または[2]、[USER]を押します。
アレンジメントのバンクを選択します。
- ④ NUMBERキーで[1]~[8]を押し、11~88のナンバーを選びます。
次の小節からアレンジメントが変わります。
同バンクのアレンジメントを選ぶときは、バンクを選択する必要はありません。NUMBERキーだけで選択できます。
- ⑤ 演奏を停止するときは、START/STOPキーを押します。

鍵盤について

鍵盤の音色を固定する

アレンジメントを変えると、それに伴って鍵盤に割り当てられているプログラムも変わります。伴奏は変えても、鍵盤の音色を変えたくないときは、SINGLE TOUCHキーを押してLEDを消灯させてからアレンジメントを変更します。

鍵盤上の音色を変える

アレンジメントの伴奏はそのまま、鍵盤の音色だけを変えることもできます。

鍵盤で使用するトラックは、UPPER 1、UPPER 2、LOWERの3トラックです。ここでは、鍵盤を分割(スプリット)して2つの音色を割り当ててみましょう。

- 1 KEYBOARD MODEセクションのSPLITキーを押して、鍵盤を分割します。

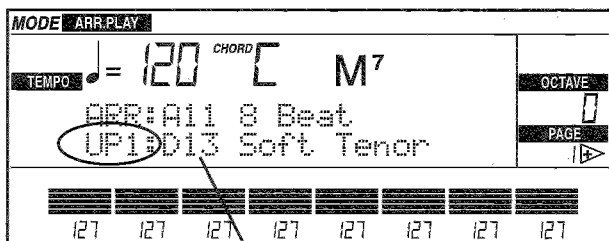
- 2 KEYBOARD ASSIGNセクションでLOWERキーとUPPER 1キーを押します。

鍵盤のスプリット・ポイントより右側にUPPER 1トラックを、左側にLOWERトラックを割り当てます。

- ⚠ UPPER 2トラックとLOWERトラックは、同時に選ぶことはできません。

- 3 VOLUMEセクションで、UPP1(一番右側)の上(▲)または下(▼)のキーを押します。

UPPER 1トラックが選ばれ、ディスプレイには“UP1”と表示されます。その右にUPPER 1トラックに割り当てられたプログラムが表示されます。



プログラム

- 4 PROGRAMセクションのBANKキーで[A]または[B]、[C]、[D]、[E]、[F (USER/DRUM)]から1つを押します。

バンクを選択します。

AバンクとBバンクには各64(計128)のGM規格の音色が含まれています。

CバンクとDバンクにはGM音色に準じる音色が含まれていますが、GM音色とは多少異なります。

Eバンクにはレイヤー音色(2つ以上のプログラムが重なったもの)とファンタジー系音色(より複雑なもの)が含まれています。

Fバンクにはフロッピー・ディスクに収められている音色が含まれており、このプログラムは変更することができます。

- 5 PROGRAMセクションのNUMBERキーで[1]~[8]を押し、UPPER 1トラックに割り当ててるプログラムを選びます。

- 6 VOLUMEセクションで、LOW/UPP2(右から2番目)の上(▲)または下(▼)のキーを押します。

LOWERトラックが選ばれ、ディスプレイには“LOW”と表示されます。LOWERトラックに割り当てられたプログラムが表示されます。

“LOW”と表示されないときは、KEYBOARD ASSIGNセクションのLOWERキーを押してください。

- 7 PROGRAMセクションのBANKキーでバンクを選んでからNUMBERキーの[1]~[8]を押し、LOWERトラックに割り当ててるプログラムを選びます。

- 8 KEYBOARD ASSIGNセクションのUPPER 2キーを押します。

UPPER 2トラックが選ばれ、ディスプレイには“UP2”と表示されます。UPPER 2トラックに割り当てられたプログラムが表示されます。

- 9 PROGRAMセクションのBANKキーでバンクを選んでからNUMBERキーの[1]~[8]を押し、UPPER 2トラックに割り当ててるプログラムを選びます。

- 10 KEYBOARD ASSIGNセクションのLOWERキーを押します。

KEYBOARD ASSIGNセクションは鍵盤の割り当てを指定するキーなので、これで鍵盤の右側はUPPER 1トラック、左側はLOWERトラックが割り当てられました。

- 11 プログラムを変更してみましょう。

LOWERトラックのプログラムを変更するときは、PROGRAMセクションのBANKキーとNUMBERキーを押します。

UPPER 1トラックのプログラムを変更するときは、VOLUMEセクションのUPP1で上または下のキーを押してから、PROGRAMセクションのBANKキーとNUMBERキーを押します。

トランスポーズ(移調)

歌手に合わせて伴奏するときなどは、普段弾き慣れたキー(調)ではピッチが高すぎたり低すぎたりしてキーを変える(移調)必要があります。キーを変えるとフィンガーリング(運指)も変わりますが、本機のトランスポーズは今までのフィンガーリングのまま、キーを歌手のピッチに合わせるすることができます。

- ⚠ 伴奏を演奏中にトランスポーズを機能させると、次の小節の頭から有効になります。

ピッチを下げるときは、TRANSPOSEキーの[b]を押します。

1回押す度に半音ずつ下がります。

ピッチを上げるときは、TRANSPOSEキーの[#]を押します。

1回押す度に半音ずつ上がります。

ピッチを元に戻すときは、[b]と[#]を一緒に押します。

鍵盤全域を同じ音色で弾く

iS40/iS50のアレンジメントでは、鍵盤全域を同一音色にして自動伴奏と共に演奏することもできます。

- ① ARR.PLAYキーを押してArrangement Playモードに入ります。
- ② KEYBOARD MODEセクションのFULL UPPERキーを押します。
- ③ KEYBOARD ASSIGNセクションのUPPER 1キーを押します。
UPPER 1トラックが選ばれ、UPPER 1キーのLEDが点灯します。
レイヤーで演奏するときはUPPER 2キーを押して、UPPER 2キーのLEDを点灯してください。
- ④ SYNCHRO STARTキー(iS50ではSYNCHRO START/STOPキー)のLEDが点灯している場合は、このキーを押してLEDを消灯します。
音域が低い場合は、VOLUMEセクションで音域が低いトラックを選んでからOCTAVEキーの[+]を押してください。
- ⑤ CHORD SCANNINGセクションのLOWERキーを押します。
LOWERキーのLEDが点灯します。
- ⑥ START/STOPキーを押します。
- ⑦ 自由に弾いてみましょう。
鍵盤全域を同じ音色で弾くことができます。
自動伴奏無しに演奏するときは、Programモードでも行えます。

キーボード・セットの選択(iS40)

iS40は、キーボード・セットでコントロール・パネルの設定を保存することができます。

キーボード・セットを呼び出すと、鍵盤上のプログラムの割り当てやコード・スキャニングの設定、その他の設定を同時に呼び出すことができます。

キーボード・セットは、本体に15(A、B、Cバンクにそれぞれ5つ)記憶できます。

ここでは、キーボード・セットの「Cバンクの1」を選んでみましょう。

- ① KEYBOARD SETセクションのBANKキーを押して「C」を選びます。
BANKキーの「C」のLEDが点灯します。
- ② KEYBOARD SETセクションの[1]キーを押します。
「Cバンクの1」のキーボード・セットが選ばれます。

キーボード・セットのライト

キーボード・セットをiS40内にライトすることができます。

ここでは、現行の設定をキーボード・セットの「Bバンクの5」にライトしてみましょう。

- ① REC/WRITEキーを押します。
- ② KEYBOARD SETセクションのBANKキーを押して「B」を選びます。
ディスプレイの上段には「Write Keyboard Set」と表示されます。
- ③ KEYBOARD SETセクションの[5]キーを押します。
ディスプレイの下段に「→B5」と表示されます。
- ④ ENTER/YESキーを押します。
ディスプレイに「Are you sure?」と表示されます。
再度ENTER/YESキーを押すとキーボード・セットがライトされます。


以下の設定がキーボード・セットとしてライトされます。

- パラメータの設定
Arrangement Playモードの「Page 3～5、9～13」
Global/Diskモードの「Page 13」
 - フロント・パネル上の設定
ミュート、ボリューム、オクターブ、コード・スキャニング、キーボード・アサイン、アンサンブルの設定
プログラムの選択
- Disk/Globalモードでは、キーボード・セットをフロッピー・ディスクにセーブすることができます。

リコール・アレンジメント機能

Arrangement Playモードの「Page 1」で、自動伴奏の演奏中にEXIT/NOキーを押すと、アレンジメントにライトされている本来のキーボード・トラックを呼び戻す(リコール)することができます。


たとえば、キーボード・セットを選択してからプログラムを変更し、トランスポーズを設定すると、キーボード・トラックは本来のアレンジメントとは異なった設定で演奏されます。しかし、演奏中にEXIT/NOキーを押すと、本来のアレンジメントの設定に戻ります。

 自動伴奏が停止しているときは機能しません。

バックング・シーケンス

リアルタイム・レコーディング

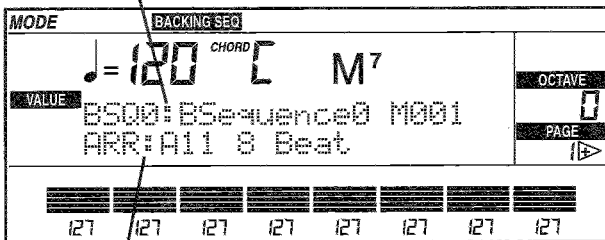
iS40/iS50では、アレンジメント(自動伴奏)に合わせた演奏をリアルタイムでレコーディングすることができます。

 レコーディング中は、フロント・パネルの一部のキーは使用できません。

- 1 B.SEQキーを押してBacking Sequenceモードへ入ります。

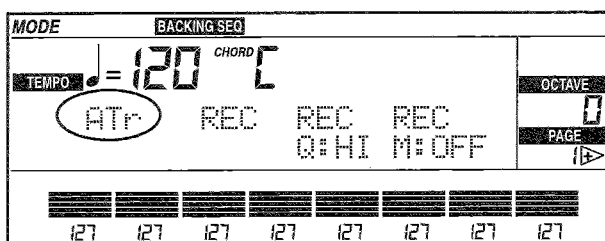
B.SEQキーのLEDが点灯し、ディスプレイには次のような表示が現れます。

バックング・シーケンス



アレンジメント

- 2 TEMPO/VALUEセクションのキー(またはダイヤル)で、レコーディングするバックング・シーケンスを選びます。ここでは“BSQ3”を選びましょう。BSQ3がすでにレコーディング済みの場合は他のバックング・シーケンスを選んでください。
- 3 ARRANGEMENTセクションのBANKキーでバンクを選び、NUMBERキーで11～88を選びます。
スプリット・ポイント、キーボード・モード、キーボード・アサイン、コード・スキャニングを変えるときは、以下のようになります。
スプリット・ポイント: SPLIT POINTキーを押したまま、スプリットする鍵盤を押します。
キーボード・モード: KEYBOARD MODEセクションのキーで設定します。
キーボード・アサイン: KEYBOARD ASSIGNセクションのキーで設定します。
コード・スキャニング: CHORD SCANNINGセクションのキーで設定します。
- 4 REC/WRITEキーを押します。
レコーディングのページに移り、REC/WRITEキーのLEDが点灯します。
- 6 CURSORキーでカーソルをトラックに移動し、TEMPO/VALUEセクションのキー(またはダイヤル)で「ATr」を選択します。
ATr(アレンジメント・トラック)を選択すると、リアルタイムでレコーディングできます。



- 7 START/STOPキーを押して、自動伴奏を開始します。
イントロを挿入するときは、INTRO/ENDINGキーを押してからSTART/STOPキーを押します。
2小節のカウントの後、レコーディングが開始します。
- 8 鍵盤でメロディを弾いてみてください。
演奏中にFILLキーを押すと、演奏にフィルを入れることができます。
- 9 START/STOPキーを押して、レコーディングを停止してください。
エンディングを挿入するときは、INTRO/ENDINGキーを押します。エンディングが入ってから演奏が終わります。そのときは、演奏終了後にSTART/STOPキーを押して、レコーディングを停止します。REC/WRITEキーのLEDが消灯し、小節は001に戻ります。
- 10 START/STOPキーを押して、レコーディングした演奏を聴いてみましょう。

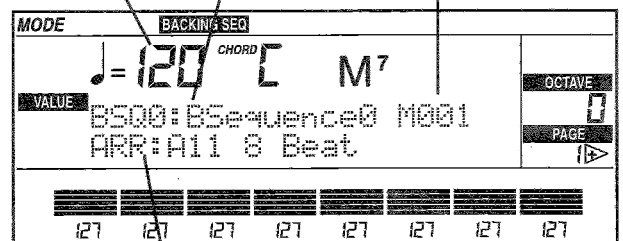
トラックのレコーディング

バックング・シーケンスは、ベース、コード、メロディーをトラックごとにレコーディングすることができます。

レコーディング準備

- 1 B.SEQキーを押してBacking Sequenceモードに入ります。
B.SEQキーのLEDが点灯します。
- 2 「Page 1」が表示されていることを確認してください。
ディスプレイに、テンポ、小節番号、バックング・シーケンス、アレンジメントが表示されます。
「Page 1」が表示されていないときは、EXIT/NOキーを押します。

テンポ バックング・シーケンス 小節番号



アレンジメント

- ③ CURSORキーでカーソルをバックング・シーケンスへ移動し、TEMPO/VALUEセクションのキー(またはダイヤル)でレコーディングするバックング・シーケンスを選びます。

ここでは「BSQ4」を選びましょう。BSQ4がすでにレコーディング済みの場合は、別のバックング・シーケンスを選んでください。

- ④ ARRANGEMENTセクションのBANKキーでバンクを選び、NUMBERキーで11～88を選びます。

スプリット・ポイント、キーボード・モード、キーボード・アサイン、コード・スキニングを変えるときは、以下のように行います。

スプリット・ポイント: SPLIT POINTキーを押したまま、スプリットする鍵盤を押します。

キーボード・モード: KEYBOARD MODEセクションのキーで設定します。

キーボード・アサイン: KEYBOARD ASSIGNセクションのキーで設定します。

コード・スキニング: CHORD SCANNINGセクションのキーで設定します。

- ⑤ REC/WRITEキーを押します。

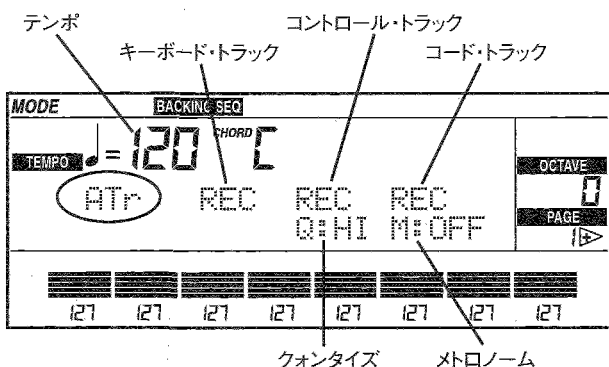
レコーディングのページに移り、REC/WRITEのLEDが点灯します。

- ⑥ カーソルとTEMPO/VALUEセクションのキー(またはダイヤル)で、トラックに「ATr」を選択します。

ディスプレイにトラックの状態が表示されます。

ATr(アレンジメント・トラック)の右は、それぞれキーボード・トラック、コントロール・トラック、コード・トラックです。

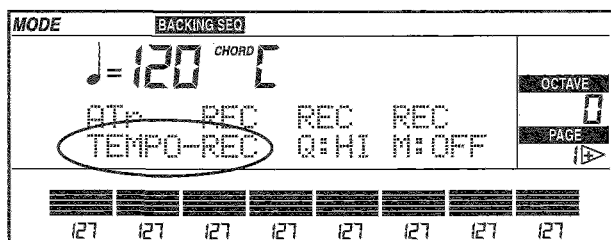
「REC」は、レコーディング待機中のトラックを意味します。



- ⑦ レコーディング中にメトロノームを入れる場合は、CURSORキー(またはダイヤル)でカーソルをメトロノーム(M)に移動させ、TEMPO/VALUEセクションのキー(またはダイヤル)でRECにします。

- ⑧ テンポの変更をレコーディングする場合は、カーソルでTEMPOを表示させ、TEMPO/VALUEセクションの2つのキーを一緒に押します。

“TEMPO-REC”と表示されます。



コード・トラックのレコーディング

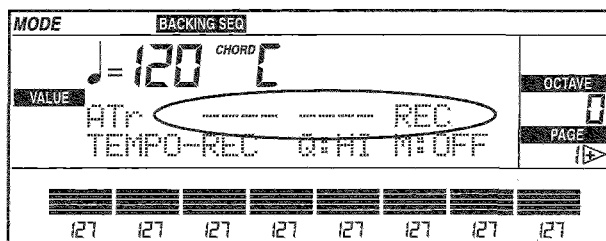
コードトラックに、コード進行をレコーディングします。

- ① カーソルをキーボード・トラックに移動し、TEMPO/VALUEセクションのキー(またはダイヤル)で「----」にします。

「----」は、レコーディングには関係しないトラックを意味します。

- ② カーソルをコントロール・トラックに移動し、TEMPO/VALUEセクションのキー(またはダイヤル)で「----」にします。

コードトラックだけが「REC」の表示になりました。これで、コードトラックだけがレコーディングされます。



- ③ START/STOPキーを押します。

2小節のカウントの後にコードトラックのレコーディングを開始します。

- ④ コード・スキニング範囲でコードを弾いてください。

伴奏トラックの演奏が開始します。

- ⑤ コード進行のレコーディングが終わったら、START/STOPキーを押します。

レコーディングは停止し、REC/WRITEキーのLEDが消灯します。小節は001に戻ります。

- ⑥ START/STOPキーを押して、レコーディングしたコード進行を聴いてみましょう。

演奏が終わると、自動的に小節は001に戻ります。再生の途中でSTART/STOPキーを押すと、再生を停止することができます。小節を001に戻すときはRESETキーを押してください。

コントロール・トラックのレコーディング

コントロール・トラックに、演奏時のフロント・パネルの操作をレコーディングします。

- ① REC/WRITEキーを押します。

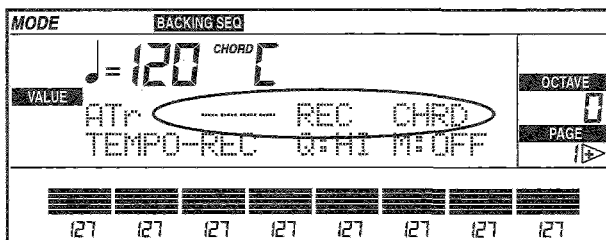
レコーディングのページに入り、REC/WRITEキーのLEDが点灯します。

- ② カーソルをコード・トラックに移動し、TEMPO/VALUEセクションのキー(またはダイヤル)で「CHRD」にします。

「CHRD」は、レコーディング済みのコードトラックを意味します。

- ③ カーソルをコントロール・トラックに移動し、TEMPO/VALUEセクションのキー(またはダイヤル)で「REC」にします。

キーボードトラックは「----」、コントロールトラックは「REC」、コードトラックは「CHRD」の表示になりました。これで、コントロール・トラックだけがレコーディングされます。

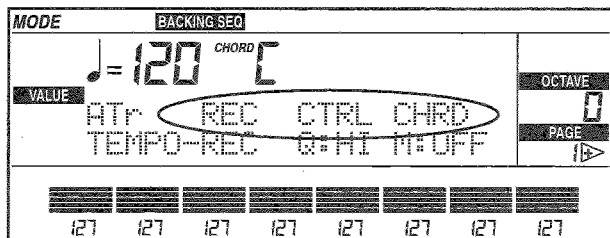


- ④ **START/STOP**キーを押してレコーディングを開始します。
2小節のカウントの後に、コントロール・トラックのレコーディングが開始します。
イントロを演奏するときは、START/STOPキーを押した直後にINTRO/ENDINGキーを押してください。
- ⑤ イントロが終わる前に、**VARIATION**キー[1]～[4]を1つ押します。
- ⑥ フィルインを挿入したいときは、**FILL**キー[1]または[2]を押してください。
フィルインが演奏されバリエーションが再開します。
- ⑦ コントロール・トラックのレコーディングが終わったら、**START/STOP**キーを押します。
エンディングを伴ってレコーディングを停止するときは、INTRO/ENDINGキーを押します。演奏が終わったらSTART/STOPキーを押します。
レコーディングは停止し、REC/WRITEキーのLEDが消灯します。小節は001に戻ります。
- ⑧ **START/STOP**キーを押して、レコーディングしたコード・トラックとコントロール・トラックを聴いてみましょう。
演奏が終わると、自動的に小節は001に戻ります。再生の途中でSTART/STOPキーを押すと、再生を停止することができます。小節を001に戻すときはRESETキーを押してください。

メロディーのレコーディング

キーボード・トラックに、メロディをレコーディングします。

- ① **REC/WRITE**キーを押します。
レコーディングのページに移り、REC/WRITEキーのLEDが点灯します。
- ② カーソルをコントロール・トラックに移動し、**TEMPO/VALUE**セクションのキー(またはダイヤル)で「CTRL」にします。
「CTRL」は、レコーディング済みのコントロール・トラックを意味します。
- ③ カーソルをキーボード・トラックに移動し、**TEMPO/VALUE**セクションのキー(またはダイヤル)で「REC」にします。
キーボード・トラックは「REC」、コントロールトラックは「CTRL」、コードトラックは「CHRD」の表示になりました。これで、キーボード・トラックだけがレコーディングされます。



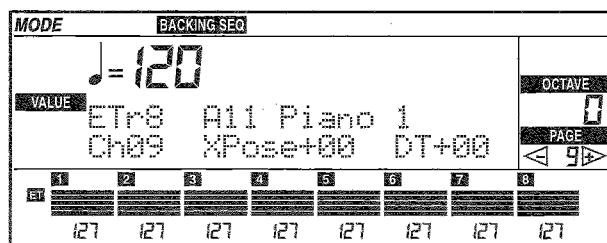
- ④ **START/STOP**キーを押してレコーディングを開始します。
2小節の先行カウントの後に、アレンジメントの演奏とレコーディングを開始します。
コントロール・トラックのレコーディング時にイントロを挿入したときは、2小節の先行カウントの後にイントロが入り、その後にアレンジメントの演奏とレコーディングを開始します。
- ⑤ キーボード・トラックのレコーディングが終わったら、**START/STOP**キーを押します。
エンディングを伴ってレコーディングを停止するときは、INTRO/ENDINGキーを押します。演奏が終わってからSTART/STOPキーを押します。
レコーディングは停止し、REC/WRITEキーのLEDが消灯します。小節は001に戻ります。
- ⑥ **START/STOP**キーを押して、レコーディングした3つのトラックを聴いてみましょう。
演奏が終わると、自動的に小節は001に戻ります。再生の途中でSTART/STOPキーを押すと、再生を停止することができます。小節を001に戻すときはRESETキーを押してください。

エクストラ・トラックのレコーディング

バックিং・シーケンスには、アレンジメント・トラックの他に8つのエクストラ・トラックがあります。

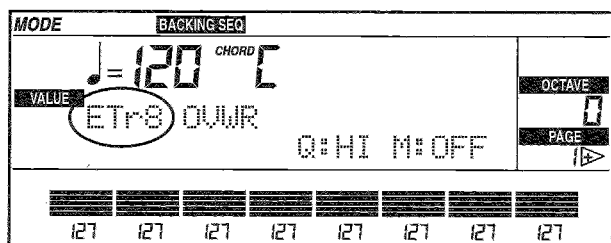
エクストラ・トラックでは、ストリングスの演奏やソロパートなどをレコーディングして、演奏に奥行きを出すことができます。ここではエクストラ・トラックに、ソロのパートをレコーディングしましょう。

- ① **PAGE**キーの[+]を何度か押し、「Page 9」を表示します。
- ② **VOLUME**セクションで、UPP1(一番右側)の上(▲)または下(▼)のキーを押します。
ETr8(エクストラ・トラック8)が選ばれ、ディスプレイに表示されます。



- ③ **CURSOR**キーで、カーソルを上段に移動します。
- ④ **PROGRAM**セクションの**BANK**キーと**NUMBER**キーでETr8に割り当てるプログラムを選びます。
- ⑤ **EXIT/NO**キーを押して「Page 1」に移動し、**REC/WRITE**キーを押します。
レコーディングのページに移り、REC/WRITEキーのLEDが点灯します。

- ⑥ カーソルをATrの位置に移動し、TEMPO/VALUEセクションのキー(またはダイヤル)でETr8を選びます。



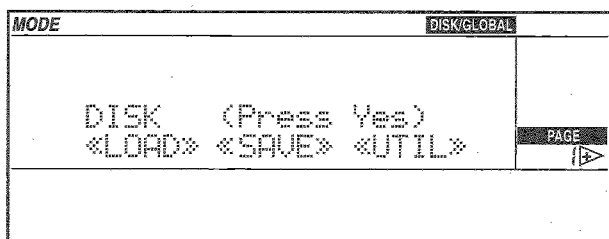
- ⑦ START/STOPキーを押して、レコーディングを開始します。
2小節のカウントの後に、レコーディングが開始します。
- ⑧ 鍵盤でソロのパートを弾いてください。
- ⑨ レコーディングが終わったら、START/STOPキーを押します。
レコーディングは停止し、REC/WRITEキーのLEDが消灯します。小節は001に戻ります。
- ⑩ START/STOPキーを押して、バックング・シーケンスを聴いてみましょう。
演奏が終わると、自動的に小節は001に戻ります。再生の途中でSTART/STOPキーを押すと、再生を停止することができます。小節を001に戻すときはRESETキーを押してください。
- ⑪ 他のエクストラ・トラックにレコーディングするときは、手順の⑥～⑩を繰り返してください。

バックング・シーケンスのセーブ

本機の電源をオフにすると、メモリー内のバックング・シーケンス・データは失われます。データを保存するときはフロッピー・ディスクへのセーブが必要です。

ここではメモリー内のバックング・シーケンスを、フロッピー・ディスクにセーブしましょう。バックング・シーケンスは、最大10セーブできます。

- ① 空の(データの書き込まれてない)フロッピー・ディスクをディスク・ドライブに挿入します。
3.5インチのHD(高密度)フロッピー・ディスクを使用します。フロッピー・ディスクはWindows、Macintosh、その他と互換性のあるMS-DOSフォーマットになっていることが必要です。フォーマットの手順については、「フロッピー・ディスクの扱い方」(P.42)を参照してください。
- ② DISK/GLOBALキーを押して、Disk/Globalモードに入ります。
ディスプレイには、次のように表示されます。



- ③ カーソルを<<SAVE>>に移動し、ENTER/YESキーを押して「Save」のサブ・ページへ入ります。
- ④ カーソルを<<BSQ>>に移動し、ENTER/YESキーを押してください。
- ⑤ ユーザー・アレンジメント(A11～A88)を使ったバックング・シーケンス・データをセーブする場合は、<<BSQ>>ではなく<<ALL>>を選んでください。バックング・シーケンスに使われているユーザー・アレンジメント(A11～A88)とユーザー・プログラム(F11～F88、Dr27、Dr28)を含むメモリー内の全てのデータがセーブされます。
- ⑥ ファイル名を入力します。
1 CURSORキーで変更する文字にカーソルを移動します。
2 TEMPO/VALUEセクションのキー(またはダイヤル)で文字を変更します。
3 新たに文字を挿入するときは、RESETキーを押します。文字を消去するときは、IS40ではTAP TEMPOキーを、IS50ではSYNCHRO START/STOPキーを押します。
- ⑦ ENTER/YESキーを押します。
セーブが終わると、ディスプレイに“Completed”と表示されません。

バックング・シーケンスの消去

レコーディングしたバックング・シーケンス・データは、電源をオフにすると消去されますが、オフにしなくても消去することができます。

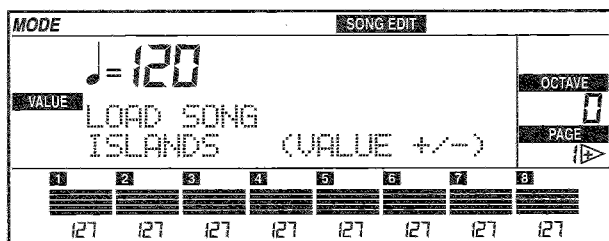
- ① B.SEQキーを押します。
Backing Sequenceモードに入ります。
- ② PAGEキーを押して「Page 3」を表示します。
「イレース・バックング・シーケンス」のページに入ります。
- ③ ENTER/YESキーを押します。
ディスプレイに“Are you sure?”と表示されます。
再度ENTER/YESキーを押すと、バックング・シーケンスがメモリーから消去されます。

スタンダードMIDIファイル (SMF)のエディット

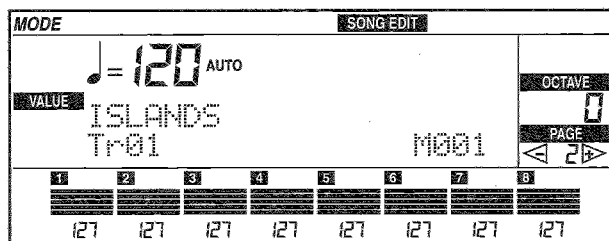
Song Editモードでは、SMFをエディットし、たとえばソロ・パートを追加したり、トラックのプログラムを変えたりすることができます。付属フロッピー・ディスクに収められている、「iS-Lands」をエディットしてみましょう。

ソングを聴く

- ① 付属フロッピー・ディスクを、ディスク・ドライブに挿入します。
- ② SONG EDITキーを押してSong Editモードに入ります。
- ③ TEMPO/VALUEセクションのキー(またはダイヤル)で、「ISLAND」ファイルを選びます。



- ④ ENTER/YESキーを押します。ディスプレイに「Are you sure?」と表示されます。再度ENTER/YESキーを押すと、ロード中はディスプレイに「Now loading」と表示され、ロードが終わると「Completed」の表示に変わります。
- ⑤ PAGEキーを押して「Page 2」を表示します。

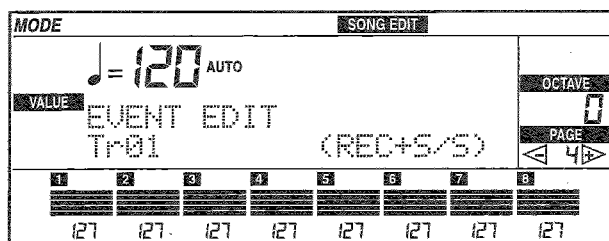


- ⑥ START/STOPキーを押してソングを聴きましょう。演奏が終わると小節は001に戻ります。途中でSTART/STOPキーを押して再生を止めることもできます。RESETキーを押すと小節は001に戻ります。

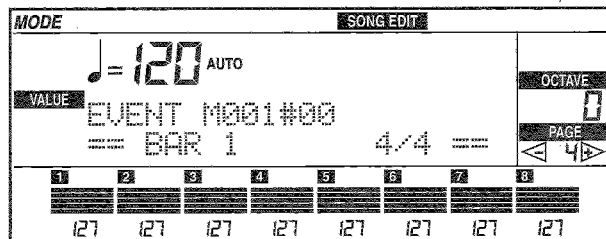
トラックの音色を変える

ここでは、メロディー部分のプログラムを、パンフルートからアルトサクセスへ変えてみましょう。

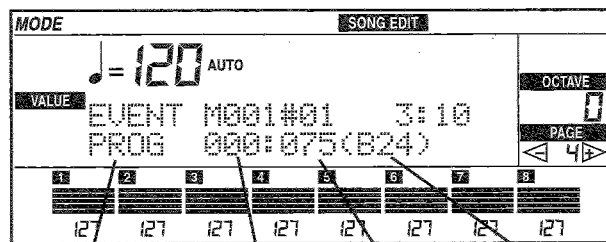
- ① PAGEキーを押して「Page 4」を表示します。



- ② TEMPO/VALUEセクションのキー(またはダイヤル)でTr06を選びます。Tr06(トラック6)は、プログラム「B24 Pan flute」が使用されています。
- ③ REC/WRITEキーを押してからSTART/STOPキーを押して、イベント・エディットのページに入ります。



- ④ CURSORキーで、カーソルを「M001#00」に移動します。
- ⑤ TEMPO/VALUEセクションのキー(またはダイヤル)で「M001#01」に変更します。M001#00、M001#01は小節番号とその小節内のステップを示します。M001#01は1小節内の1番目のステップという意味です。



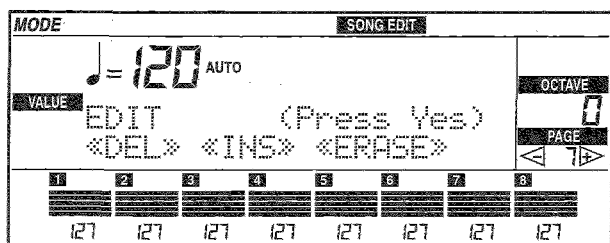
メッセージ・タイプ (status) バンク・セレクト (LSB) プログラム・チェンジ プログラム

- ⑥ カーソルを「075」に移動します。「075」はMIDIのプログラムチェンジ・メッセージの値です。プログラムは上位/下位のバンク・セレクト(BS MSB/BS LSB)の組み合わせと、プログラム・チェンジ・メッセージ(PC)によって呼び出されます。iS40/iS50では、Bバンクの24番のプログラムはBS MSB=000、BS LSB=000、PC=075に対応します。
- ⑦ TEMPO/VALUEセクションのキー(またはダイヤル)で「065」に変更します。PC=065はプログラムB12(アルトサクセス)に対応します。ただしこの時点では、表示するプログラムの音色が変わっていません。
- ⑧ START/STOPキーを押して、イベント・エディットから抜けます。
- ⑨ EXIT/NOキーを押して「Page 2」に戻ります。
- ⑩ START/STOPキーを押して、エディットしたソングを聴いてみましょう。メロディーがアルトサクセスで演奏されます。

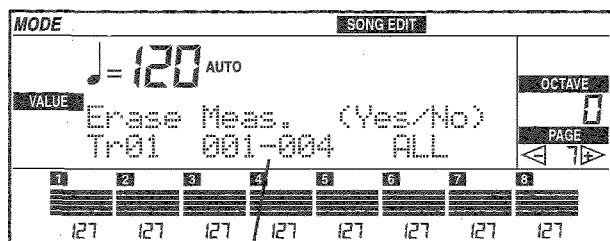
ソングの一部を消去する

ここでは、最初の4小節から、トラック5のマリンバの伴奏を消去してみましょう。

- 1 PAGEキーを押して「Page 7」を表示します。



- 2 CURSORキーで、カーソルを<<ERASE>>に移動します。
- 3 ENTER/YESキーを押します。
「ERASE」のサブページに入ります。
- 4 カーソルをTr01に移動し、TEMPO/VALUEセクションのキー(またはダイヤル)で「Tr05」を選びます。
- 5 カーソルを小節の設定に移動し、TEMPO/VALUEセクションのキー(またはダイヤル)で、消去する小節の範囲を指定します。
最初の4小節を消去するので、右側を004にします。



消去する小節の範囲

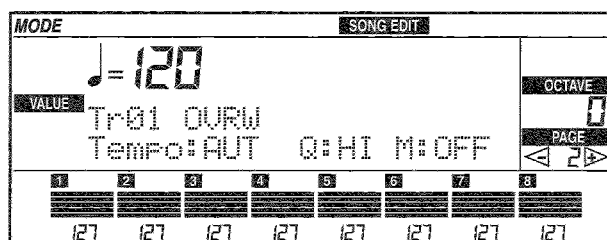
- 6 ENTER/YESキーを押します。
ディスプレイに“Completed”と表示されたら、消去が完了します。
- 7 EXIT/NOキーを押して「Page 2」に戻ります。
- 8 START/STOPキーを押して、エディットしたソングを聴いてみましょう。
マリンバは最初の4小節から消去されました。

パートの追加

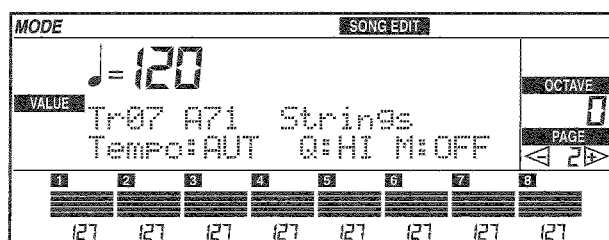
ここでは、ソングのトラック7にストリングスでメロディーを加えてみましょう。

- 1 「Page 2」が表示されていることを確認してください。
表示されていない場合は、EXIT/NOキーを押してください。

- 2 REC/WRITEキーを押します。



- 3 CURSORキーで、カーソルを上段のTr01に移動します。
- 4 TEMPO/VALUEセクションのキー(またはダイヤル)で「Tr07」を選びます。
- 5 PROGRAMセクションのBANKキー[A]を押した後、NUMBERキーの[7]と[1]を押します。
プログラムのA71 Stringsがトラック7に割り当てられます。



- 6 START/STOPキーを押します。
2小節のカウントの後にレコーディングが開始されます。
- 7 鍵盤でメロディーを弾きます。
- 8 レコーディングが終わったら、START/STOPキーを押してレコーディングを停止してください。
レコーディングを失敗した場合はRESETキーを押し、手順の②～⑦でレコーディングし直してください。
- 9 START/STOPキーを押してソングを聴いてみましょう。
演奏にストリングスのメロディーが加わりました。

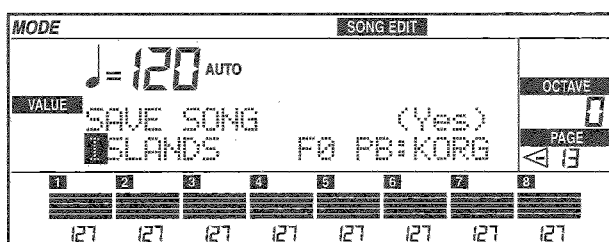
SMFのセーブ

本機の電源をオフにすると、メモリー内のソングやバックグシーケンスは失われます。

これらのデータを保存したいときは、フロッピーディスクにセーブする必要があります。

ここでは、エディットしたソングを「LANDS」という名前でセーブしてみましょう。

- 1 フロッピーディスクをディスクドライブに挿入します。
- 2 SONG EDITキーを押してSong Editモードに入ります。
- 3 PAGEキーを押して「Page 13」を表示します。
SONG EDITキーを押しながら、PROGRAMセクションのNUMBERキーで[5]を押しても表示することができます。



- ④ CURSORキーとTEMPO/VALUEセクションのキーまたはダイヤルで、ソング名の「ISLANDS」を「I_LANDS」に変更します。
- ⑤ ENTER/YESキーを押します。
ディスプレイに“Are you sure?”と表示されます。
再度ENTER/YESキーを押すとフロッピー・ディスクにセーブされ、ディスプレイに“Completed”と表示されます。

⚠ ソングの入っているフロッピー・ディスクに新しくソングをセーブする場合、フロッピー・ディスク内のソングと同じソング名にすると、フロッピー・ディスク内のソング・データが上書きされてしまいます。

プログラム

プログラムのエディット

プログラムとは、iS40/iS50のアレンジメント、バックিং・シーケンス、ソングの演奏で使用する、最も基本的な音色です。

iS40/iS50では、このプログラムをエディットしてオリジナルの音色を作ることができます。音色をエディットするためには、音に対する知識が必要になりますが、パフォーマンス・エディットでは、基本的なパラメータを変更することで簡単に音色を変えることができます。

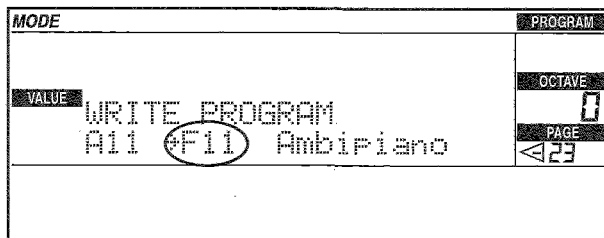
エディットしたプログラムは、F (USER) バンクにライトすることができます。

- ① PROGRAMキーを押して、Programモードに入ります。
- ② 「Page 1」を表示されていることを確認してください。
パフォーマンス・エディットは「Page 1」で行います。
「Page 1」が表示されていないときは、EXIT/NOキーを押してください。
- ③ PROGRAMセクションのBANKキーとNUMBERキーで、エディットするプログラムを選択します。
作ろうとする音色に近いプログラムを選びます。
- ④ VOLUMEセクションの上(▲)または下(▼)のキーを押して、エディットするパラメータを表示します。
- ⑤ VOLUMEセクションの上下のキーで、パラメータの値を変更します。

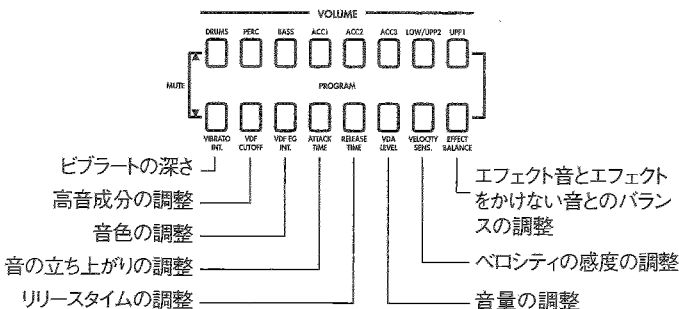
プログラムのライト

エディットしたプログラムは、Fバンクにライトすることができます。

- ① PAGEキーを押して、「Page 23」を表示します。
「ライト・プログラム」のページが表示されます。
- ② TEMPO/VALUEセクションのキー(またはダイヤル)で、ライト先のプログラムを選択します。
ライト先はF (USER) バンクのプログラムです。



- ③ ENTER/YESキーを押します。
ディスプレイに“Are you sure?”と表示されます。
再度ENTER/YESキーを押してください。
- ⚠ プログラムをライトすると、ライト先のデータが消滅します。
ライトの前に、消してよいプログラムかどうかを確認してください。



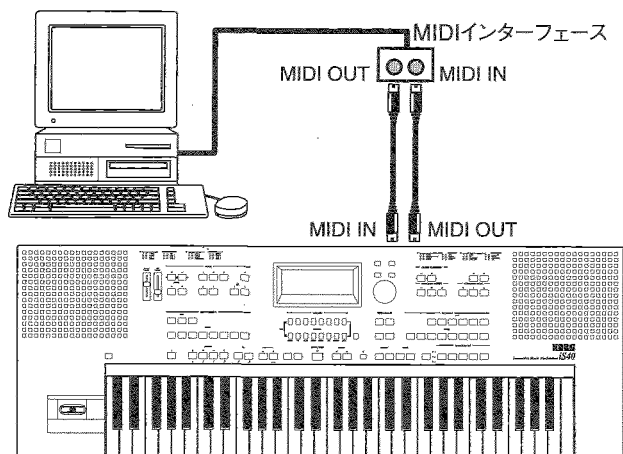
5. MIDI

MIDI (Musical Instrument Digital Interface) は、複数の電子楽器を相互に接続して使うための標準インターフェースです。MIDIが初めて登場した頃は、主に1台のキーボードで複数のシンセサイザーを演奏するためにこれがよく使われました。以来、コンピュータを使ってのマルチトラック・シーケンスや楽器のパラメータ・エディットから、MIDIによるエフェクタやミキサー、照明のコントロールにいたるまで、その用途は急速に広がってきています。

この章では、iS40/iS50に関連したMIDIの使用方法について説明します。

外部シーケンサを使用する

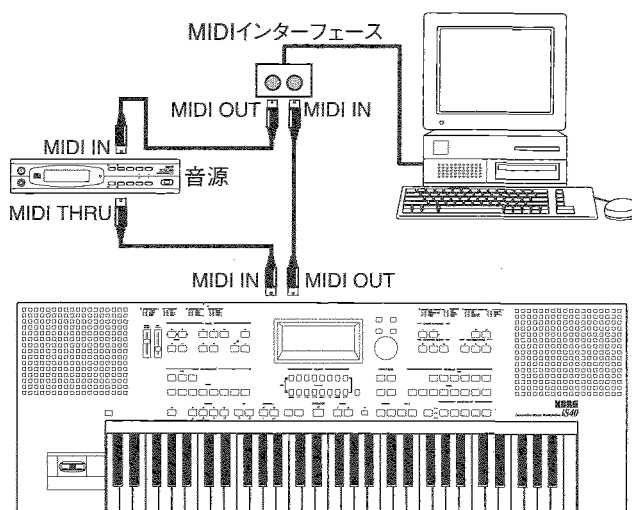
iS40/iS50の鍵盤からコンピュータのシーケンサにノート・データを入力したい場合は、次のように接続します。



この接続方法は、iS40/iS50の鍵盤から入力したデータがiS40/iS50のMIDI OUT 端子に送られ、コンピュータのMIDI インターフェースにあるMIDI IN 端子に入ります。シーケンス再生時には、コンピュータからのMIDIデータがMIDI インターフェースのMIDI OUT 端子をとってiS40/iS50のMIDI IN 端子に入ります。

⚠ コンピュータとMIDI インターフェースの接続、そしてMIDIポートの設定については、MIDI インターフェースの取扱説明書を参照してください。

さらに別のキーボードや音源モジュールを追加したい場合は、次のように接続してください。



この接続方法は、iS40/iS50の鍵盤から入力したデータがiS40/iS50のMIDI OUT 端子に送られ、コンピュータのMIDI インターフェースにあるMIDI IN 端子に入ります。シーケンス再生時には、コンピュータからのMIDIデータがMIDI インターフェースのMIDI OUT 端子をとって、音源モジュールのMIDI IN 端子に入ります。このデータは、次に音源モジュールのMIDI THRU 端子からiS40/iS50のMIDI IN 端子に送信されます。

音源モジュールにMIDI THRU 端子がない場合は、MIDI インターフェースのMIDI OUT 端子とiS40/iS50のMIDI IN 端子を接続し、iS40/iS50のMIDI THRU 端子と音源モジュールのMIDI IN 端子とを接続してください。

パッキング・シーケンスのグローバル・チャンネルや、それぞれのトラックのMIDIチャンネルは、Disk/Globalモードで設定します。また、SMFを外部のMIDI機器から受信してiS40/iS50で演奏する場合、iS40/iS50のMIDIチャンネル構成の設定は、Song Playモードで行います。ソングの初期設定プログラム、ボリューム、パンポット、エフェクト・センドを指定したり、その情報をコンピュータからMIDIで送信することができます。

このような接続をした場合、iS40/iS50のDisk/Globalモードの「Page 3」のLocalパラメータをOFFに設定することをおすすめします。

コンピュータのシーケンサは、MIDI IN端子で受信するデータをMIDI OUT端子にエコー・バックするように設定してください。この機能をコントロールするパラメータは、使用するソフトウェアによって名前が異なりますが、通常はエコー・バックやパッチ・スルー、エコー・オンなどの用語が使われます。

LocalパラメータをOFFにすると、iS40/iS50のキーボード部と音源部との接続が切り離され、iS40/iS50が独立したMIDIキーボードと独立した音源として機能します。シーケンサのエコー機能を使うと、MIDI音源モジュールに入っている音源だけでなく、iS40/iS50の音源も演奏することができます。シーケンサのエコー機能をONに設定し、iS40/iS50のLocal ControlパラメータをONにすると、キーボードで1音を弾くたびに、iS40/iS50の音源は2つの音を演奏します。

プログラム・チェンジ・メッセージを送るときは、MIDIバンク・チェンジ・メッセージのバンク・ナンバー0で、iS40/iS50のバンクAとBを、バンク・ナンバー1でバンクCとDを、バンク・ナンバー2でDRUM PROGバンクを選択します。

MIDIバンク・ナンバー	MIDIプログラム・ナンバー	iS40/iS50プログラム・ナンバー
0	0～63	A11～A88
	64～127	B11～B88
1	0～63	C11～C88
	64～127	D11～D88
2	0～63	E11～E88
3	0～63	F11～F88
4	0～127	Dr11～Dr28

外部のMIDI楽器をコントロール

外部のMIDI楽器を使って、iS40/iS50のアレンジメントとバックアップ・シーケンスを演奏することができます。

この場合、必ずMIDIチャンネルを正しいトラックに合わせてください。また、Arrangement Playモードの「Page 4」のトラック・ステータス・パラメータを使って、iS40/iS50が他のMIDI機器だけでなく、iS40/iS50自体のサウンドも演奏させるかどうかを設定することが必要です。

再生されるサウンドは、使用するMIDI楽器によって異なります。たとえば、iS40/iS50のドラムサウンドを外部MIDI楽器で演奏しようとする場合、この外部MIDI楽器がiS40/iS50と同じドラム・キットのレイアウトを持っていないと、予想とは違った音が出る場合があります。

General MIDIとは?

General MIDI(GM)とは、MIDI規格の仕様の1つで、様々な種類のMIDI楽器上でも、簡単にシーケンスを演奏できるようにするものです。

GMでは、主な楽器すべてに当てはまるプログラムのリストがあり、各楽器に固有のプログラム・ナンバーを割り当てています。また、プログラムごとに相対的な音量レベルを指定し、エンベロープ(アタック、リリースなど)とベロシティ・レスポンス(タッチ・センシティブティ)に関するガイドラインも決められています。また、キーボード上でドラム音を各鍵盤に割り当てるドラム・キット・マップも含まれています。

スタンダードMIDIファイルについて

スタンダードMIDIファイル(SMF)フォーマットは、コンピュータと、このフォーマットをサポートするキーボードとの間でシーケンス・データのやりとりをするために作られました。

スタンダードMIDIファイルには3種類のフォーマットがあり、iS40/iS50は、フォーマット0および1に準拠しています。

SMFは、必ずしもGM規格に対応しているわけではありませんが、GM対応の音楽システム間でソング・データをやりとりするには、便利なファイルです。

iS40/iS50では、SMFの演奏はSong Playモードで行います。また、Backing SequenceモードのSMF変換機能を使ってファイルを変換し、バックアップ・シーケンスをフォーマット0のSMFにセーブすることもできます。

6. コンピュータとの接続 (iS40)

iS40はコンピュータと専用接続ケーブルで接続することにより、コンピュータでiS40を鳴らしたり、iS40でのキーボード演奏をコンピュータに記録することができます。

IBM PC(互換機):

接続キットAG-001B(接続ケーブル、ドライバー・ソフトウェア“KORG MIDI Driver”)[別売]

Apple Macintoshシリーズ:

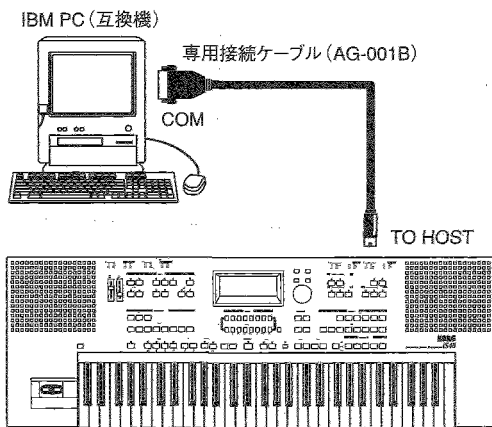
接続キットAG-002B(接続ケーブル、ドライバー・ソフトウェア“KORG MIDI Driver”)[別売]

NEC PC-9800シリーズ:

- RS-232C(SERIAL 1)を利用する場合には…接続キットAG-003B(接続ケーブル、ドライバー・ソフトウェア“KORG MIDI Driver”)[別売]
- SERIAL2を利用する場合には…接続キットAG-001B(接続ケーブル、ドライバー・ソフトウェア“KORG MIDI Driver”)[別売]
- * コンピュータの機種、またアプリケーション(ソフトウェア)の種類によっては、ご使用になれないことがあります。
- * iS40のMIDI OUTとTO HOSTの両方を外部の一台の機器に接続しないでください。必ずどちらか一方だけを接続してください。

IBM PC(互換機)との接続

IBM PC(互換機)のシリアル・ポート(COMポート)とiS40のTO HOST端子を専用接続ケーブルAG-001B[別売]で接続します。

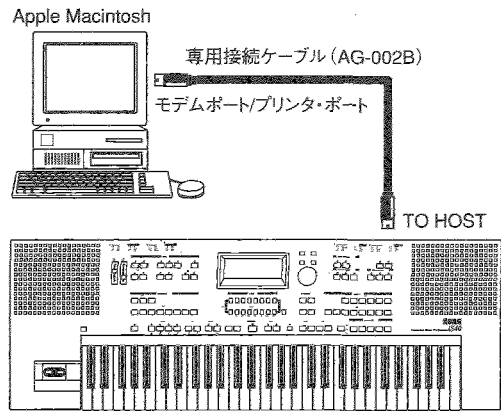


⚠ コンピュータのシリアル・ポートが25ピンの場合は9ピン-25ピン変換アダプターをご利用ください。

iS40をIBM PC(互換機)と接続する場合には、Disk/Globalモードの「Page 3」のHostパラメータを“38.4k”に設定します。Windowsでお使いになる場合は、KORG MIDI Driverをインストールします。インストールの方法は、「KORG MIDI Driverのインストールとセットアップ」(P.34)を参照してください。

Apple Macintoshとの接続

Apple Macintoshのモデム・ポートまたはプリンタ・ポートとiS40のTO HOST端子を専用接続ケーブルAG-002B[別売]で接続します。



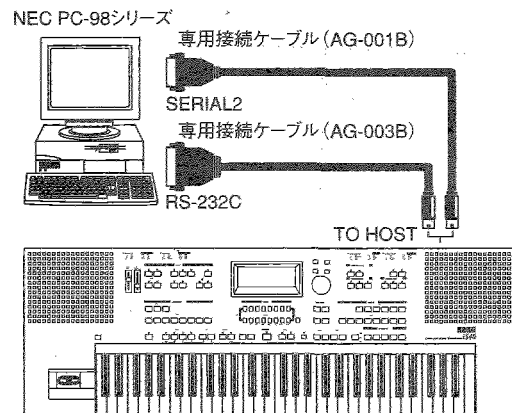
⚠ お使いになるアプリケーション(シーケンサ)にクロックの設定がある場合は、1MHzに設定してください。

iS40をApple Macintoshと接続する場合には、Disk/Globalモードの「Page 3」のHostパラメータを“31.25k”に設定します。KORG MIDI Driverのインストールの方法は、「KORG MIDI Driverのインストールとセットアップ」(P.34)を参照してください。

NEC PC-9800シリーズとの接続

NEC PC-9800シリーズのRS-232C(SERIAL 1)を利用する場合は、RS-232C端子とiS40のTO HOST端子を専用接続ケーブルAG-003B[別売]で接続します。

NEC PC-9800シリーズのSERIAL2を利用する場合は、SERIAL2端子とiS40のTO HOST端子を専用接続ケーブルAG-001B[別売]で接続します。



RS-232C (SERIAL 1) を利用する場合は、Disk/Globalモードの「Page 3」のHostパラメータを“31.25k”に設定します。SERIAL2を利用する場合は、HOSTパラメータを38.4kに設定します。

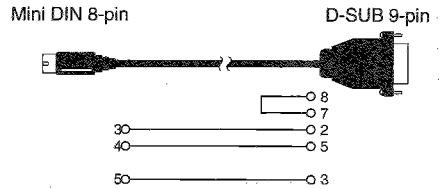
MS-DOS上のアプリケーション(シーケンサ)をお使いになる場合は、RS-232C/MIDI変換アダプターモードに設定します。また、Windowsでお使いになる場合は、KORG MIDI Driverをインストールします。インストールの方法は、「KORG MIDI Driverのインストールとセットアップ」(P.34)を参照してください。

HOSTパラメータの設定

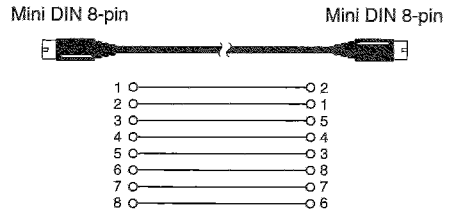
- ① DISK/GLOBALキーを押し、Disk/Globalモードへ入ります。
- ② Pageキーを押して「Page 4」を表示させます。
- ③ CURSORキーを押して、カーソルをHOSTパラメータの値を選びます。
- ④ TEMPO/VALUEセクションのキー(またはダイヤル)で、31.25kまたは38.4kに設定します。
31.25k: Apple Macintoshとの接続、またはNEC PC-9800シリーズのRS-232C (SERIAL 1) 端子を使った接続時
38.4k: IBM PC (互換機)との接続、またはNEC PC-9800シリーズのSERIAL2端子を使った接続時

専用接続ケーブル配線図

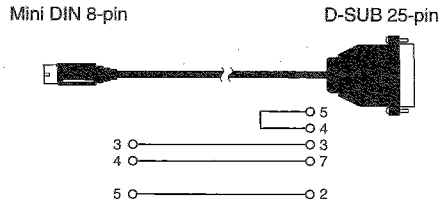
(1) AG-001B (for IBM PC or Compatible, or PC-98 Serial 2)



(2) AG-002B (for Macintosh)



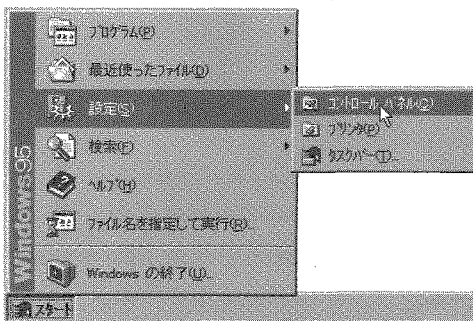
(3) AG-003B (for NEC PC-98)



KORG MIDI Driverのインストールとセットアップ

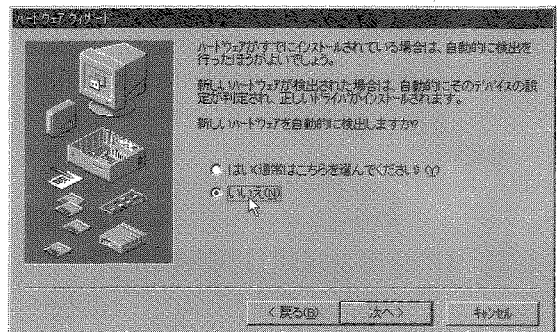
Windows95へのインストール

- ① タスクバーの[スタート]ボタンをクリックして、[設定]の中の[コントロールパネル]をクリックします。



- ② コントロールパネルの中の[ハードウェア]アイコンをダブルクリックすると、ハードウェアウィザードが起動するので[次へ>]ボタンをクリックします。

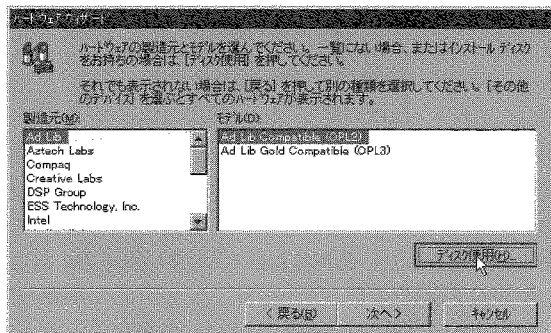
- ③ 新しいハードウェアを自動的に検出しますか?という質問に対して、必ず[いいえ]を選び、[次へ>]ボタンをクリックします。



- ④ [サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ]を選び、[次へ>]ボタンをクリックします。



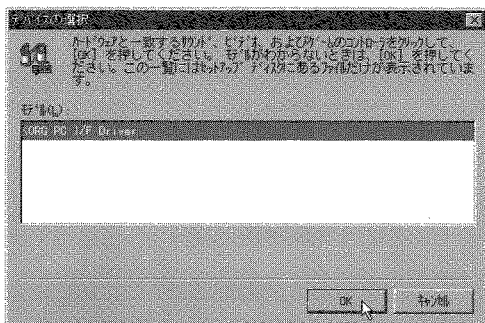
- ⑤ [ディスク使用]をクリックします。



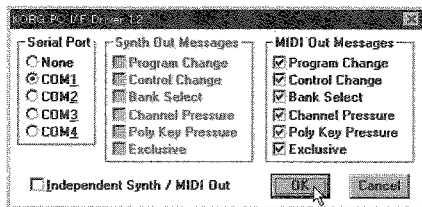
- ⑥ AG-001B, AG-003Bの付属ディスクをコンピュータのドライブに挿入します。Aドライブに入れた場合は“A:¥” (Bドライブの場合は“B:¥”)と入力し、[OK]ボタンをクリックします。

ただし、PC-9800シリーズでAG-001Bの付属ディスクをインストールする場合は、ディスクをAドライブに入れた場合は“A:¥PC98” (Bドライブの場合は“B:¥PC98”)と入力し、[OK]ボタンをクリックしてください。

- ⑦ [OK]ボタンをクリックして、[完了]をクリックします。



- ⑧ 「KORG MIDI Driver (Windows)のセットアップ」(P.36)に従ってセットアップを行い、[OK]ボタンをクリックします。

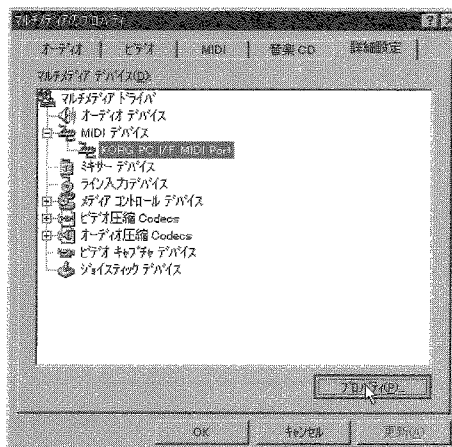


- ⑨ ドライバーを有効にするために必ず再起動させてください。

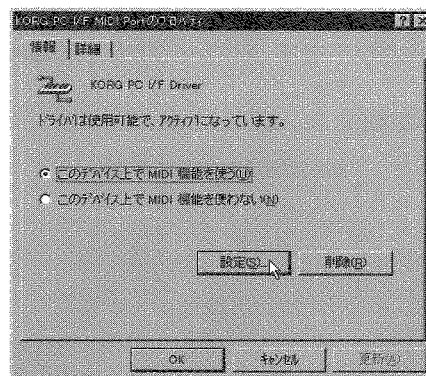


KORG MIDI DriverのWindows95のセットアップを変更する場合

- ① コントロールパネルの中の[マルチメディア]アイコンをダブルクリックすると、マルチメディアのプロパティダイアログが表示されます。



- ② 右上の[詳細設定]タブをクリックします。
 ③ [MIDIデバイス]の[+]をクリックして(表示が[-]に変わります)[KORG PC I/F MIDI Port]をクリックします。
 ④ [プロパティ]ボタンをクリックします。
 KORG PC I/F MIDI Portのプロパティが表示されます。
 ⑤ [設定]ボタンをクリックします。



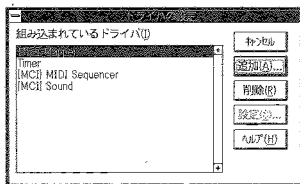
「KORG MIDI Driver (Windows)のセットアップ」に従ってセットアップを行い、[OK]ボタンをクリックします。設定を変更した場合にはWindowsを再起動させてください。

Windows 3.1 へのインストール

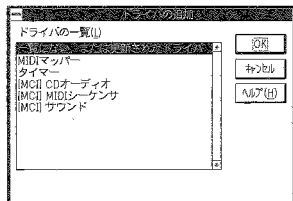
- ① コントロールパネルの中のドライバアイコンをダブルクリックします。



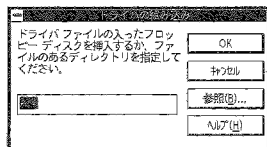
- ② [追加...]ボタンをクリックします。



- ③ ドライバの一覧の中から[一覧にない、または更新されたドライバ]を選び、[OK]ボタンをクリックします。

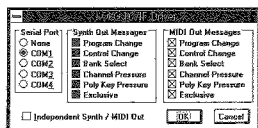


- ④ AG-001B、AG-003Bの付属ディスクをコンピュータのドライブに挿入します。Aドライブに入れた場合は“A:¥”(Bドライブの場合は“B:¥”)と入力し[OK]ボタンをクリックします。

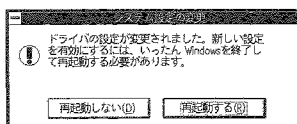


ただし、PC-9800シリーズでAG-001Bの付属ディスクからインストールする場合は、ディスクをAドライブに入れた場合は“A:¥PC98”(Bドライブの場合は“B:¥PC98”)と入力し、[OK]ボタンをクリックしてください。

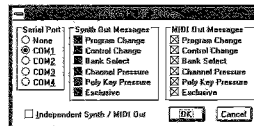
- ⑤ KORG PC I/F Driverを選び、[OK]ボタンをクリックすると、セットアップの画面になります。「KORG MIDI Driver(Windows)のセットアップ」(P.36)に従って、セットアップを行ってください。



セットアップ後、ドライバを有効にするために、ディスクを取り出し、[再起動する]を選択します。



KORG MIDI Driver (Windows)のセットアップ



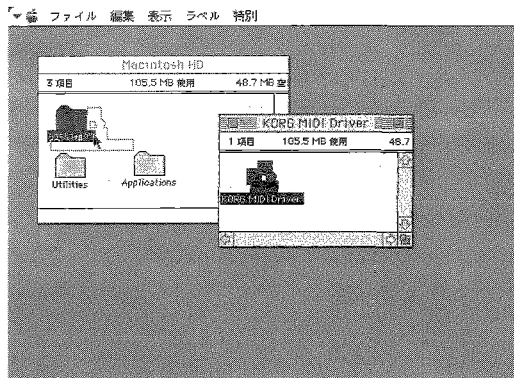
- ① Serial PortではiS40を接続したシリアルポートを[COM1]～[COM4]の中から選びます。PC-9800シリーズではRS-232C(SERIAL1)に接続している場合は[COM1]に、SERIAL2に接続している場合は[COM2]を選んでください。KORG MIDI Driverを組み込んだ後に、シリアルポートを別の用途に使うときには、[None]を選んでドライバを無効にしてください。
- ② [Independent Synth/MIDI Out]をチェックしてあるときは、チェックをはずします。チェックすると誤動作の原因になります。
- ③ [MIDI Out Messages]ではiS40へ送るメッセージを選ぶことができます。
- ④ 選択が終わったら[OK]ボタンをクリックします。また、無効にしたい場合は[Cancel]をクリックします。

Macintoshへのインストール

- KORG MIDI Driverを使用するには、あらかじめApple MIDI ManagerおよびPatchBayがインストールされている必要があります。Apple MIDI ManagerおよびPatchBayは、お使いのMIDIアプリケーションに付属されているものをお使いください。AG-002Bには付属されていません。

KORG MIDI Driverを使うと、“Modem MIDI Out/Port setting”ダイアログ(P.37)で、iS40に送るMIDIチャンネルとメッセージの種類を設定することができます。そのような機能が必要な場合は、KORG MIDI Driverを使わずに、Apple MIDI Driverをそのまま使用することができます。Apple MIDI Driverを使う場合や、Apple MIDI Managerを使用しないMIDIアプリケーション(シーケンサ)を使う場合は37ページをご覧ください。

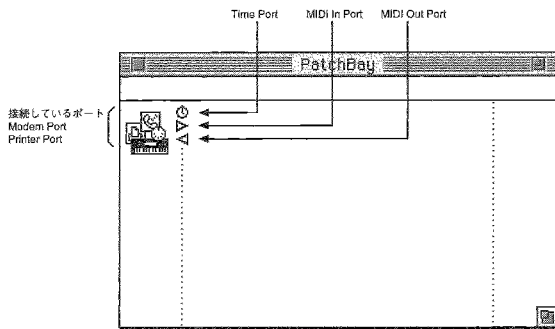
- ① AG-002Bの付属ディスク内のKORG MIDI Driverを起動ディスクのシステムフォルダにコピーします。



- ② システムフォルダ内にApple MIDI Driverがあるときは削除するか、他のフォルダに移動してください。Apple MIDI Managerは削除や移動を行わないように注意してください。
- KORG MIDI Driverは、Apple MIDI Driverの機能を含んでいます。
- ③ 特別メニューから“再起動”を選択します。

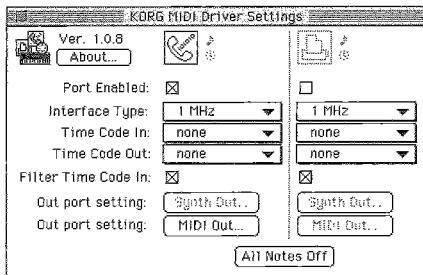
KORG MIDI Driver (Macintosh) のセットアップ

- ① PatchBay を起動します。



- ② PatchBay 中の KORG MIDI Driver のアイコンをダブルクリックします。

セットアップダイアログが表示されます。

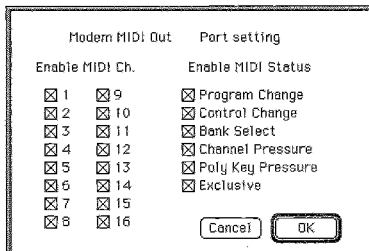


- ③ iS40 を接続しているポートの Port Enabled をチェックし、Interface Type を [1MHz] に設定します。

iS40 には KORG PC IF が内蔵されていないので、[KORG PCIF] を選択しないでください。

- ④ [Out Port Setting] ボタンを押します。

次のダイアログが現れます。ここで各ポートへ出力される MIDI チャンネル / メッセージを選択することができます。チェックされているチャンネル / メッセージのみ出力します。



- ⑤ 設定後、[OK] ボタンを押します。

- ⑥ MIDI アプリケーション (シーケンサ) を起動して、MIDI アプリケーションの Out Port の ◀ からマウスをドラッグして MIDI Driver の MIDI Out に接続します。

- ⑦ PatchBay の使用方法については、“Apple” メニューの “About PatchBay ...” 等の説明をご覧ください。

Apple MIDI Driver を使う場合は、(KORG MIDI Driver がシステムフォルダ内にあるときは、削除または移動した後) PatchBay を起動し、その中の Apple MIDI Driver のアイコンをダブルクリックして、iS40 を接続した Port の Enabled をチェックし、Interface Type を [1MHz] に設定して、ダイアログを閉じます。PatchBay 上で、MIDI アプリケーション (シーケンサ) の Out Port の ◀ からマウスをドラッグして、MIDI Out に接続します。

Apple MIDI Manager を使用しない MIDI アプリケーション (シーケンサ) を使う場合は、iS40 が接続されている Port を選択し、クロックの設定を [1MHz] に設定してください。

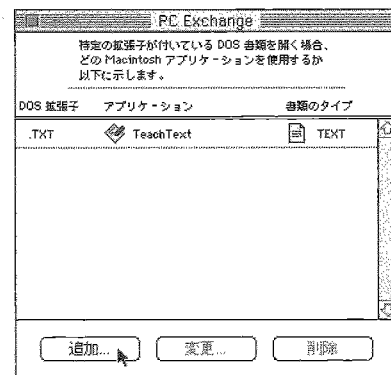
PC Exchange による SMF の変換方法

市販のスタンダード MIDI ファイル (SMF) のソングファイルのほとんどが、MS-DOS フォーマットで保存されています。PC Exchange を使用すると、MS-DOS フォーマットの SMF ソングファイルを Macintosh で認識できるようにすることができます。

- ① コントロールパネル内の PC Exchange を開きます。

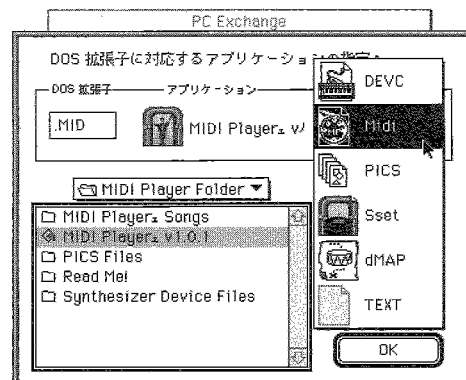


PC Exchange



- ② [追加...] ボタンを押します。

[DOS 拡張子に対応するアプリケーションの指定] ウィンドウが現れます。



- ③ **DOS 拡張子項目に“.MID”と入力します。**
MS-DOSでは、ファイルの種類を分類するために拡張子というピリオドの後に続く3文字をファイル名の後につけます。SMFには、“.MID”という拡張子をつけるのが一般的です。
- ④ **ダイアログの下半分に表示されている一覧から、お持ちのSMFを扱えるMIDIアプリケーション(シーケンサ)を選びます。**
アプリケーション項目に選択したアイコンが現れます。



- ⑤ **[書類のタイプ]ポップアップメニューから[Midi]を選び、[OK]ボタンをクリックします。**
PC Exchangeウィンドウに追加された項目が表示され、登録されました。
MS-DOSのSMFをディスクドライブに挿入すると、そのまま使用することができます。
詳しくは“Macintosh PC Exchange”の解説をご覧ください。

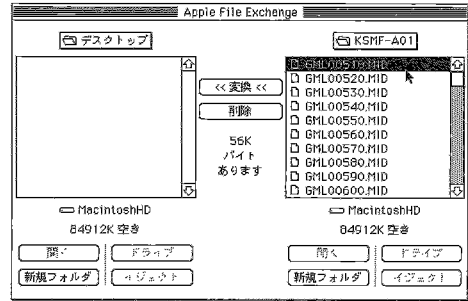
AG-002B 付属の MIDI File Translator について

お使いのMacintoshにPC Exchangeではなく、Apple File Exchangeが付属している場合は、AG-002Bに含まれているMIDI File Translatorを使って変換することができます。

- ① **MIDI File TranslatorをApple File Exchangeと同じフォルダに入れます。**

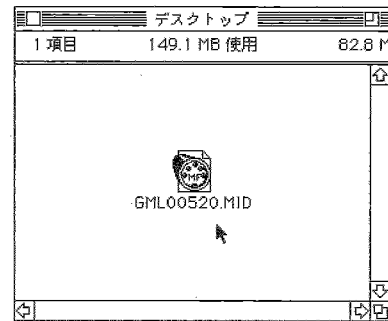


- ② **Apple File Exchangeをダブルクリックして、起動します。**
- ③ **変換したいMS-DOSディスクをドライブに挿入します。**



上のような画面が表示されます(画面上はKORG SMFライブラリKSMF-A01です)。MS-DOSフォーマットのディスクは必ず“Apple File Exchange”を起動させてから、ディスクドライブに入れてください。

- ④ **変換したいソング(曲)ファイルを選びます。**
- ⑤ **中央の「<<変換<<」(または「>>変換>>」)ボタンを押します。**
変換が始まります。棒グラフが100%までいくと、変換が完了します。左側のボックスに変換されたファイルが現れます。



- ⑥ **Apple File Exchangeを終了します。**

7. 付録

エラー・メッセージ

iS40/iS50のディスプレイには、Arrangement PlayモードやBacking Sequenceモードに応じて様々な設定や状態を表示するページ画面があります。

そしてこの画面には、操作に応じて警告を発したり、確認を求めたり、処理中であることを示すメッセージが表示されることがあります。

警告のメッセージが表示されたときは、その内容に応じて、小節やファイル名などの条件を正しく設定し直した上で、もう一度あらためて操作してください。

確認のメッセージが表示されたときには、その操作を続けることによって、iS40/iS50の本体内やフロッピー・ディスク内のデータの全部または一部が消去される場合がありますので、注意してください。

ディスプレイにこのようなメッセージが表示された場合は、まず本体内、またはフロッピー・ディスク内にあるデータが、削除されても構わないものかどうかを確かめてください。

そして、失われてはならないデータをディスクへセーブする、またはファイルのバックアップ・コピーをとるなどの準備をしてから、もう一度あらためて操作してください。

?????????.??? exists.

新しいファイルの名前として指定した?????????.???は、そのディスク上ですでに別のファイル名として使用されています。ディスク上の同じ名前前のファイルを、新しいファイルの内容に置き換えてしまってもいいですか？

置き換えると、古いファイルの内容は、ディスク上から失われてしまいます。

Already formatted. Continue?

フォーマットしようとしているディスクは、すでにフォーマットされています。このまま処理を続けても構わないですか？

正しいディスクを挿入しているかを確かめてください。

Are you sure?

このまま操作を実行しても構わないですか？

実行するときはENTER/YESキーを、実行しないときはEXIT/NOキーを押してください。

Can't find file

ロード、デリート、リネーム等の操作の途中で、ファイルを選択してからディスクを交換しませんでしたか？

挿入したフロッピー・ディスクのなかに、必要なファイルが存在しないので、操作を実行することはできません。

他のiシリーズのバックキング・シーケンス・データを読もうとしていませんか？

正しいディスクを挿入しているかを確かめてください。

Can't play all track. Continue?

指定した演奏データの全トラックを演奏するために必要なメモリが不足しています。このまま演奏しても、一部のトラックの音を聞くことはできません。

Can't read disk.

挿入されているフロッピー・ディスクは、iS40/iS50で使用できるディスクとはフォーマットが違っているため、操作を実行することはできません。

正しいディスクを挿入しているかを確かめてください。また、電流、電圧の不安定な場所で操作をした場合も、この表示が表示されることがあります。

Can't replace dir.

指定したファイル名は、ディスク上ですでにディレクトリとして使われているため、操作を実行することはできません。

別なファイル名を指定して、もう一度操作してください。

Can't replace system.

指定したファイル名は、ディスク上ですでにシステム・ファイルとして使われているため、操作を実行することはできません。

別なファイル名を指定して、もう一度操作してください。

Completed.

処理が完了しました。次の操作に移ることができます。

Corrupt SMF.

指定したスタンダードMIDIファイルは、途中でデータが破損しているため、このデータを演奏することはできません。

Corrupt file.

選択したファイルは、途中でデータが破損しているため、操作を実行することはできません。

Directory full.

挿入されているフロッピー・ディスクに、これ以上ディレクトリを作ることはできません。

ディスク上から不要なファイルを削除するか、空き容量がある別のディスクと交換してから、もう一度操作してください。

Disk full.

挿入されているフロッピー・ディスクに、これ以上データを書き込める空き領域がありません。

ディスク上から不要なデータを削除するか、空き容量がある別のディスクと交換してから、もう一度操作してください。

Disk has ??? file(s). Continue?

フォーマットしようとしているディスクには、???個のファイルが存在しています。このまま処理を続けてもいいですか？

フォーマットを実行すれば、ディスクのなかのファイルは、全て失われてしまいます。

正しいディスクを挿入しているかを確かめてください。

Disk protected.

ディスクのライト・プロテクト・タブが開いた状態になっています。

正しいディスクを挿入しているかを確かめてください。その上で、書き換えを行っても構わないディスクであれば、タブを閉じてから、もう一度操作してください。

Empty SONG/B.SEQ

指定したバックキング・シーケンスには、データが入っていません。 39

Empty file.

選択したファイルには、データが入っていません。

Empty measure.

この小節にはデータがありません。

正しい小節を選んでいるかどうか確かめてください。

Empty track.

このトラックにはデータがありません。

正しいトラックを選んでいるかどうか確かめてください。

File protected.

選択したファイルは、属性がリード・オンリーになっています。

正しいファイルを選択しているかどうか確かめてください。ディスクに収められたファイルの属性は、パソコンを使って変更できますが、iS40/iS50の本体では変更できません。属性を変更しても構わないファイルならば、そのディスクをパソコンのディスクドライブにセットして、該当するファイルの属性を変更してから、ディスクをiS40/iS50にセットし直して、もう一度操作してください。

ファイルの属性、およびその変更については、パソコンの取扱説明書、またはパソコンのOS(基本ソフト)の説明書をご覧ください。

Keyboard Track Empty.

キーボード・トラックにデータが存在しません。

レコーディングを行うか、データをロードしてトラックにデータを入れてください。

Measure not exists. Continue?

節の指定を間違えていませんか。

指定された番号の小節は、データ上には存在しません。

Measure overlaps.

コピー元とコピー先の小節とに、重複している部分があります。

コピーする小節の位置や長さ、コピーする回数の指定、コピー先の位置などの条件を確かめてください。

Measure won't fit.

小節をコピーまたは挿入した場合、このトラックは999小節を超えてしまいます。

iS40/iS50では、一つのトラック上に999を超える小節を作ることはできません。コピーまたは挿入したい小節の長さや、コピーしたい回数の指定、挿入先のトラックの長さなどの条件を確かめてください。

Missing Arrangement.

挿入されているディスクのなかに、アレンジメント・ファイルがありません。

Missing B.Sequence.

挿入されているディスクのなかに、バックキング・シーケンス・ファイルがありません。

Missing some files.

挿入されているディスクのなかに、ファイルがありません。

No disk in drive.

フロッピー・ディスクがディスクドライブに挿入されていません。

ディスクをドライブに正しくセットしてから、もう一度操作してください。

Not SMF.

指定したファイルはスタンダードMIDIファイルではありません。

ファイルの指定を間違っていないかどうか確かめてください。

Not enough memory.

iS40/iS50の作業用として必要なメモリが不足しています。

ただし、大切なデータがあるときは、Disk/Globalモードの「Page 1 セーブ」、Song Editモードの「Page 13 セーブ」でフロッピー・ディスクへそれぞれセーブしてください。

Song Editモード、Backing Sequenceモード、またはDisk/GlobalモードのLOAD ALL やLOAD ONEの操作で、バックキング・シーケンス・データのロード時にこのメッセージが表示されたときは、バックキング・シーケンス・データまたはソング・エディットのデータを消去します。

Disk/GlobalモードのLOAD ONEの操作でスタイル・データのロード時にこのメッセージが表示されたときは、ユーザー・バンクのスタイル・データを消去します。

Okay to erase B.Seq & Song Edit

指定したSMFフォーマット1の演奏データを演奏するために必要なメモリが不足しています。

必要な空メモリの容量を確保するために、バックキング・シーケンスのデータまたはエディット用のソング・データを消去してもよいですか、と尋ねています。

大切なデータがあるときは、Disk/Globalモードの「Page 1 セーブ」でバックキング・シーケンスを、またはSong Editモードの「Page 13 セーブ」で、データをディスクにセーブしてください。

SMF format 2.

指定したファイルはフォーマット2のスタンダードMIDIファイルのため、iS40/iS50で演奏することはできません。

ファイルの指定が間違っていないかどうか、もう一度確かめてください。

Source is empty.

コピー・メジャーの実行時:

データの入っていない小節を、他の小節にコピーしようとしていませんか。

正しい小節を選びなおしてください。

トラックに、データが入っていますか。

正しいトラックを選んでいるかどうか確かめてください。

バウンストラックの実行時:

データの入っていないトラックを、他のトラックにバウンスしようとしていませんか。

正しいトラックを選びなおしてください。

Wait a moment ...**Now loading ...****Now saving ...****Now formatting ...**

これらのメッセージは、ディスクに関する処理を実行している最中であることを表わします。

処理が完了するまで、しばらくお待ちください。

故障とお思いになる前に

一般的な問題

- **電源が入らない**
電源コードを適切なコンセントに差し込んでいますか？
電源スイッチがオンになっていますか？
それでも電源が入らない場合は、最寄りのコルグ製品販売店または(株)コルグ営業技術課にご相談ください。
- **音が出ない**
サウンド・システムを使っている場合は、アンプやミキサーなどとの接続を確認してください。
サウンド・システムを使っている場合は、アンプやミキサーなどの電源が入っていて正しく接続されているかを確認してください。
iS40/iS50のMASTER VOLUMEスライダーは上がっていますか？
ローカル・コントロールがオフになっていませんか？ オンにしてください。
- **アレンジメント、スタイル、バックিং・シーケンス、ソングなどを演奏すると、違った音が出る**
Fバンクのプログラムまたはドラム・プログラムのDr27、Dr28を変更しましたか？ 適切なデータをロードしてください。
アレンジメントを変更しましたか？ 適切なデータをロードしてください。
- **アレンジメントまたはバックিং・シーケンスで、正しい曲を演奏しない**
アレンジメントやバックিং・シーケンスが、ユーザー・スタイルを使っていますか？ その場合は、ディスクから別のスタイルをロードしませんでしたか？
適切なデータをロードしてください。
- **音が止まらない**
ダンパー・スイッチの極性が正しく設定されているかどうかを確認してください。
- **選んだアレンジメントやバックিং・シーケンスが演奏されない**
MIDIクロック・ソースがINTになっていることを確認してください。
外部クロック・ソースを使用する場合は、必ずMIDIクロック・ソース・パラメータをEXTにして、外部機器がMIDIクロック・データを正しく送信するようにしてください。
- **Backing Sequenceモードでレコーディングできない**
MIDIクロック・ソースがINTになっていることを確認してください。
外部クロック・ソースを使用する場合は、必ずMIDIクロック・ソース・パラメータをEXTにして、外部機器がMIDIクロック・データを正しく送信するようにしてください。

- **送信されたMIDIデータにตอบสนองしない**
MIDIケーブルがすべて正しく接続されていることを確認してください。
送信機器と同じチャンネルでiS40/iS50がMIDIデータを受信していることを確認してください。
送信されるMIDIデータをiS40/iS50がフィルターしないようにしてください。
- **音の出ないドラム・サウンドがある**
パンポット、エフェクト・センド・レベルを確認してください。
- **鍵盤を弾いても指定したドラム・サウンドが出ない**
トランスポート機能が+00になっていることを確認してください。

フロッピー・ディスクに関する問題

- **フロッピー・ディスクをフォーマットできない**
3.5インチ2DDまたは2HDのフロッピー・ディスクを使っていますか？ このタイプのディスクを必ず使ってください。
ディスクが正しく挿入されていますか？
ディスクのライト・プロテクト・タブがプロテクト側にセットされていませんか？
- **フロッピー・ディスクにデータをセーブできない**
ディスクが正しく挿入されていますか？
ディスクのライト・プロテクト・タブがプロテクト側にセットされていませんか？
- **フロッピー・ディスクからデータをロードできない**
ディスクが正しく挿入されていますか？
ディスクにデータが入っていますか？

フロッピー・ディスクの扱い方

フロッピー・ディスクの使用時には、以下の内容を守ってください。ディスクの扱い方を間違えると、データが壊れる恐れがあります。

フロッピー・ディスクの種類とフォーマット

2HDまたは2DDの3.5インチのフロッピー・ディスクを使用することができます。

買って来たばかりの新しいディスクや他の機器で使っていたディスクは、そのまま使用することはできません。これらのディスクをはじめにiS40/iS50で使用する場合は、あらかじめ**フォーマット**という処理しておく必要があります。

フォーマットの方法

- ① DISK/GLOBALキーを押して、Disk/Globalモードに入ります。
- ② CURSORキーを使ってカーソルを<<UTIL>>に移動し、ENTER/YESキーを押します。「Utility」のサブ・ページに入ります。
- ③ カーソルを<<FORMAT>>に移動し、ENTER/YESキーを押します。「Format Disk」のサブ・ページに入ります。
- ④ ENTER/YESキーを押してフォーマットを開始します。約2分でフロッピー・ディスクのフォーマットは終了します。
- ⑤ EXIT/NOキーを押して、Disk/Globalモードの「Page 1」へ戻ります。

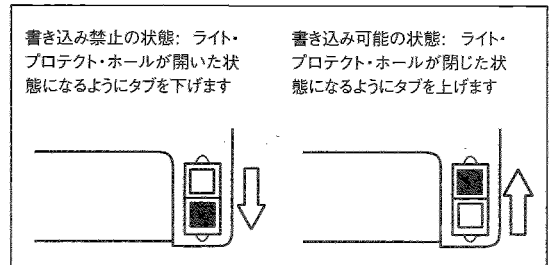
フロッピー・ディスクの取り扱いについて

- フロッピー・ディスクのシャッター部分を開けたり、フロッピー・ディスク内の磁気面に直接触れないでください。磁気ディスクが汚れたり、傷つけるとデータの読み出し書き込みができなくなります。
- フロッピー・ディスクをディスク・ドライブに入れたまま、絶対にiS40を輸送しないでください。振動でディスク・ドライブのヘッドがフロッピー・ディスクを傷つけ、使用できなくなることがあります。
- フロッピー・ディスクをテレビ、コンピュータ、コンピュータ・ディスプレイ、スピーカー、電源トランスなど磁気を発生する機器には近づけないでください。ディスクに記録されたデータが消えてしまうことがあります。
- 高温、多湿の場所、直射日光のあたる場所、ゴミやホコリの多い場所での使用、保管は避けてください。
- フロッピー・ディスクの上にものをのせないでください。
- ディスク・ドライブの動作中は、フロッピー・ディスクを取り出したり、本体に衝撃を与えないようにしてください。

フロッピー・ディスクのライトプロテクトについて

ディスクには、誤ってデータを消去してしまったり書き換えてしまうことのないように**ライトプロテクト・ホール**という小さな窓がついています。

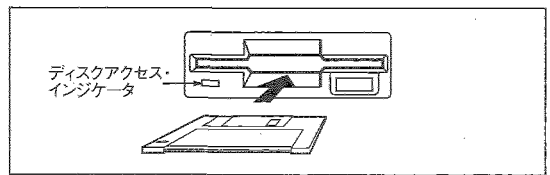
ディスクに書き込んだデータを壊さないように、セーブ後は**タブ**を下げて書き込み禁止の状態にしてください。



フロッピー・ディスクの入れかた

フロッピー・ディスクの**ラベル面が上**になるようにしてディスク・ドライブに入れてください。「カチッ」という音がして、ディスクが確実にドライブにセットされるまで挿入してください。

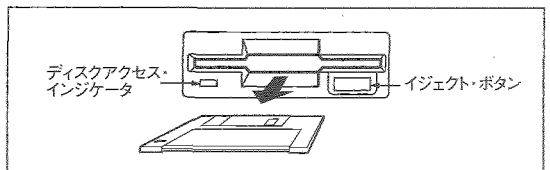
無理に押し込むと故障の原因になりますので注意してください。ディスクを挿入する際は、ていねいに、まっすぐ挿入してください。



フロッピー・ディスクの取り出しかた

フロッピー・ディスクをディスク・ドライブから取り出すときは、**ディスクアクセス・インジケータ**の消灯を確認してから、**イジェクト・ボタン**を押して取り出します。

このボタンを押してもディスクが出てこないときは、無理にディスクを取り出さず、最寄りの楽器店または(株)コルグの営業技術課へご相談ください。



ヘッドのクリーニング

ヘッドが汚れていると、セーブやロード時にエラーが発生する原因になります。このためヘッドは定期的にクリーニングする必要があります。ヘッドのクリーニングには、市販の**湿式3.5インチ両面用ヘッド・クリーニング・ディスク**を使用してください。クリーニングの方法は、クリーニング・ディスクの取扱説明書をご覧ください。

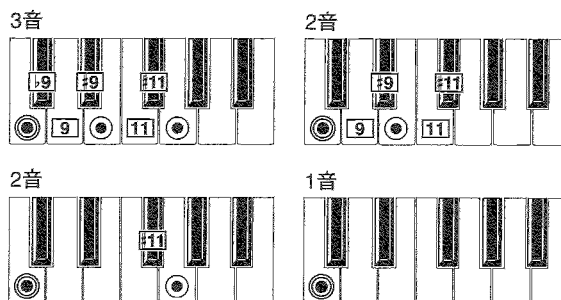
認識できるコード一覧

右の図は、根音(ルート音)がドのときにiS40/iS50が認識するコードです。2音以下は、Disk/Globalモードの「Page 11コード認識」のModeパラメータで、Fingerd1を選択し、CHORD SCANNINGセクションで、LOWERキーまたはUPPERキーのどちらか一方を選択しているときに認識されます。

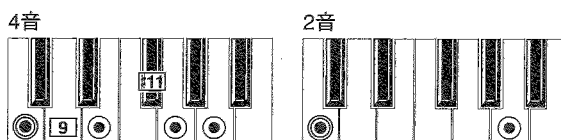
iS40/iS50がメジャー6thとマイナー6thを正しく認識するには、根音が重要になります。たとえば、Cメジャーとその関係単調のAマイナーにおいて、C6とAm7の構成音はどちらもド、ミ、ソ、ラですが、C6を認識させるためには根音をCにする必要があります。また、Cm6とAm7 \flat 5の構成音はどちらもド、 \flat ミ、ソ、ラですが、Cm6を認識させるためには根音をCにする必要があります。

●: 根音 ●: コードの構成音
□: テンションとして使用できる音

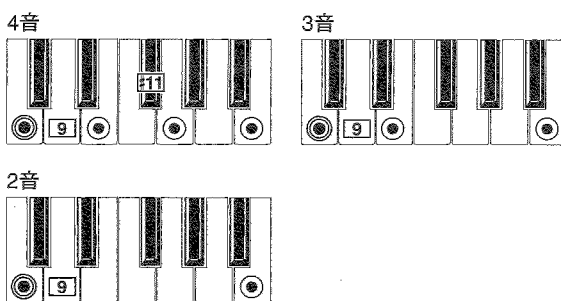
Major "C"



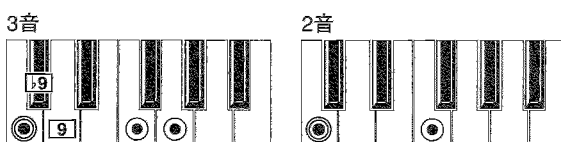
Major 6th "C6"



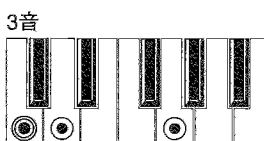
Major 7th "CM7"



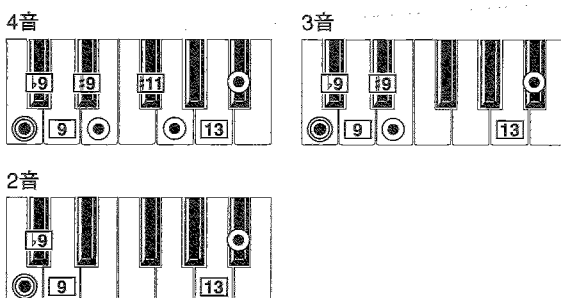
Sus 4 "Csus4"



Sus 2 "Csus2"

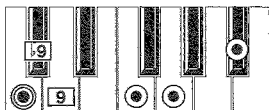


Dominant 7th "C7"

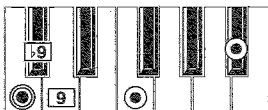


Dominant 7th Sus 4 "C7sus4"

4音

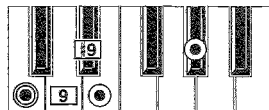


3音



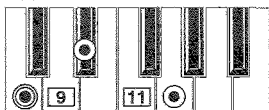
Augmented "Caug"

3音



Minor "Cm"

3音

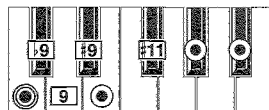


2音



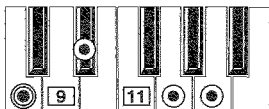
Augmented 7th "Caug7"

4音



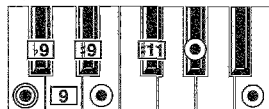
Minor 6th "Cm6"

4音



Augmented Major 7th "CaugM7"

4音



Minor 7th "Cm7"

4音

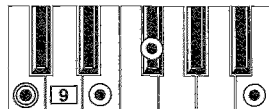


3音



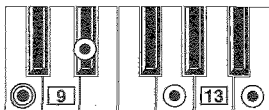
Major 7th ^b5 "CM7^b5"

4音



Minor-Major 7th "CmM7"

4音

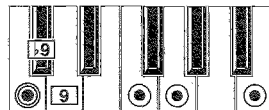


3音



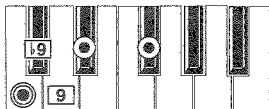
Major 7th Sus 4 "CM7sus4"

4音



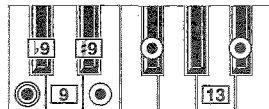
Diminished "Cdim"

3音



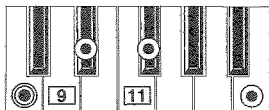
Dominant 7th ^b5 "C7^b5"

4音



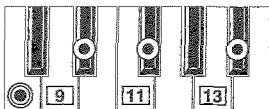
Diminished Major 7th "CdimM7"

4音



Minor 7th ^b5 "Cm7^b5"

4音



Voice Name List

Styles

8 Beat	16 Beat	Ballroom	Dance 1
8 beat 1	16 beat 1	Slow Pop	Party Polka
8 Beat 2	16 Beat 2	Slow Rock 1	Disco Party
8 Beat 3	16 beat 3	Slow Rock 2	Motown
8 Beat 4	16 Beat 4	Flipper 6/8	Love Disco
8 Beat Analog	16Beat pop	Flipper 4/4	Disco '70
8 Beat Rock	16BeatAnalog	Twist	80's Dance
8 Bt. Shuffle	16 Beat Funk	Hully Gully	House
8 R&B	16 Beat Rock	Surf Rock	Techno
Dance 2	Latin 1	Latin 2	Latin Dance
Progress.	Bossa 1	Tango	Mambo
Underground	Bossa 2	Habanera	Salsa
Jungle	Bossa 3	Paso Doble	Merengue
Garage	Samba 1	Cumbia	Meneito
Rap	Samba 2	Bajon	Macarena
Hip Hop	Beguine	Calypso	Tikytikità
Dancing Tribe	Last Rhumba	Reggae	Lambada
Down Beat	Cha Cha Cha	Dance Reggae	Disco Samba
Traditional 1	Traditional 2	Jazz	Jazz & Funk
I. Waltz	Wien Waltz	40's Big Band	Swing Ballad
Mazurka	Slow Waltz 1	Big Band	Medium Swing
Polka	Slow Waltz 2	Fast Big Band	Be bop
German Waltz	Fox Trot 1	Latin Big Band	Acid Jazz
Laendler	Fox Trot 2	Broadway	Latin Jazz
GermanPolka	Big Band Fox	Hollywood	New Jazz
WaltzMusette	Quick step	Jazz Waltz	Party Funk
French March	Charleston	5/4 Swing	Groove
Rhythm and Blues	Rock	World Music 1	World Music 2
R & B	Light Rock	Country	9/8 Roman
6/8 Blues	Pop Rock	Country beat	Ciftetelli
Gospel	Open Rock	Country Bld.	Mariachi
Blues Shuffle	Heavy Rock	Dixieland	Raspa
Pub Shuffle	Rock Ballad	March	Baroque
Hip Blues	Half Time	Tarantella	Minuet
R&B Funk	Rock & Roll	Sevillana	Bolero
Rhythm&Funk	Rock Hip Hop	Gipsy	New Age

User 1	User 1	User 2	User 2

Arrangements

外部のMIDI機器でiS40/iS50のアレンジメントを選択するときは、まずバンクセレクトMSB(常に00)、LSBを送信し、次にプログラムチェンジ・メッセージを送信します。そのときは、設定したARNGチャンネルが使用されます。

BS: バンクセレクト、PC: プログラム・チェンジ

BS	PC	#		BS	PC	#		BS	PC	#		BS	PC	#	
8 Beat				16 Beat				Ballroom				Dance 1			
000	000	A11	8 Beat	000	008	A21	16 Beat	000	016	A31	Pop 6/8	000	024	A41	Party Polka
	001	A12	Guitar Ballad		009	A22	Windy Beat		017	A32	Back to 60's		025	A42	NonstopParty
	002	A13	L.A. R&B		010	A23	Home Beat		018	A33	Rock 6/8		026	A43	Motown
	003	A14	Sweet Beat		011	A24	Color Beat		019	A34	Flipper 6/8		027	A44	Love disco
	004	A15	Analog Night		012	A25	Miami Beat		020	A35	Flipper 4/4		028	A45	Disco '70
	005	A16	8 Beat Rock		013	A26	Analogyst		021	A36	Twist		029	A46	80's Dance
	006	A17	Shuffle Shade		014	A27	Thin Funk		022	A37	Hully Gully		030	A47	House
	007	A18	Rhythm&Beat		015	A28	Easy Rock		023	A38	Beach Surfer		031	A48	Techno
Dance 2				Latin 1				Latin 2				Latin Dance			
000	032	A51	Progressive	000	040	A61	Basic Bossa	000	048	A71	Tango	000	056	A81	Mambo
	033	A52	Underground		041	A62	Bossa nueva		049	A72	Habanera		057	A82	Salsa
	034	A53	Jungle		042	A63	Miss Bossa		050	A73	Paso Doble		058	A83	Merengue
	035	A54	Garage		043	A64	Samba		051	A74	Cumbia		059	A84	Meneito
	036	A55	Euro Rap		044	A65	Sambalegre		052	A75	By on		060	A85	Macarena
	037	A56	Hip Hop		045	A66	Beguine		053	A76	Calypso		061	A86	Tikitikita
	038	A57	Dancing Tribe		046	A67	Last Rhumba		054	A77	Reggae		062	A87	Lambada
	039	A58	Down Beat		047	A68	Cha Cha Cha		055	A78	DanceReggae		063	A88	Discosamba

BS	PC	#		BS	PC	#		BS	PC	#		BS	PC	#	
Traditional 1				Traditional 2				Jazz				Jazz & Funk			
000	064	B11	Waltz	000	072	B21	Wiener Waltz	000	080	B31	Big Band 40's	000	088	B41	Ballad
	065	B12	Mazurka		073	B22	Slow Waltz 1		081	B32	Big Band		089	B42	MediumSwing
	066	B13	Polka		074	B23	Slow Waltz 2		082	B33	Fast Big Band		090	B43	Be Bop
	067	B14	German Waltz		075	B24	Operetta		083	B34	Latin BigBand		091	B44	Acid Jazz
	068	B15	Laendler		076	B25	Fox Trot		084	B35	Broadway		092	B45	Latin Jazz
	069	B16	German Polka		077	B26	Club Fox		085	B36	Hollywood		093	B46	Still Life
	070	B17	W. Musette		078	B27	Quick step		086	B37	Jazz Waltz		094	B47	Party Funk
	071	B18	French March		079	B28	Charleston		087	B38	5/4 Swing		095	B48	Groove
Rhythm & Blues				Rock				World Music 1				World Music 2			
000	096	B51	R & B	000	104	B61	Light Rock	000	112	B71	Country	000	120	B81	9/8 Roman
	097	B52	6/8 Blues		105	B62	Pop Rock		113	B72	Country Beat		121	B82	Ciftetelli
	098	B53	Gospel		106	B63	Open Rock		114	B73	Country Ballad		122	B83	Mariachi
	099	B54	Blues Shuffle		107	B64	Heavy Rock		115	B74	Dixieland		123	B84	Raspa
	100	B55	Pop Shuffle		108	B65	Rock Ballad		116	B75	OnTheBridge		124	B85	Venezia
	101	B56	Uncle Funk		109	B66	Half Time		117	B76	Tarantella		125	B86	Minuetto
	102	B57	Get Funked		110	B67	Rock & Roll		118	B77	Sevillana		126	B87	Bolero
	103	B58	Electric Funk		111	B68	Rock Hip Hop		119	B78	Gipsy		127	B88	New Age
User 1				User 2				User 3				User 4			
001	000	U11		001	008	U21		001	016	U31		001	024	U41	
	001	U12			009	U22			017	U32			025	U42	
	002	U13			010	U23			018	U33			026	U43	
	003	U14			011	U24			019	U34			027	U44	
	004	U15			012	U25			020	U35			028	U45	
	005	U16			013	U26			021	U36			029	U46	
	006	U17			014	U27			022	U37			030	U47	
	007	U18			015	U28			023	U38			031	U48	
User 5				User 6				User 7				User 8			
001	032	U51		001	040	U61		001	048	U71		001	056	U81	
	033	U52			041	U62			049	U72			057	U82	
	034	U53			042	U63			050	U73			058	U83	
	035	U54			043	U64			051	U74			059	U84	
	036	U55			044	U65			052	U75			060	U85	
	037	U56			045	U66			053	U76			061	U86	
	038	U57			046	U67			054	U77			062	U87	
	039	U58			047	U68			055	U78			063	U88	

Drum kits

Key	Inst	Excl	Inst	Excl	Inst	Excl	Inst	Excl	Inst	Excl			
#	Note	Dr11 - GM Kit 1			Dr12 - GM Kit 2			Dr13 - Room Kit			Dr14 - Power Kit		
21	A0	18	Syn Kick 1	---	18	Syn Kick 1	---	19	Syn Kick 2	---	16	Dance Kick	---
22	A#0	58	SynSnare 2	---	58	SynSnare 2	---	47	AmbiSnare1	---	58	SynSnare 2	---
23	B0	20	Syn Kick 3	---	20	Syn Kick 3	---	20	Syn Kick 3	---	20	Syn Kick 3	---
24	C1	57	SynSnare 1	---	57	SynSnare 1	---	57	SynSnare 1	---	57	SynSnare 1	---
25	C#1	40	FullRoomSD	---	40	FullRoomSD	---	39	LightSnare	---	37	PicloSnare	---
26	D1	50	GatedSnare	---	53	--	---	46	TightSnare	---	33	Snare 1	---
27	D#1	8	Dry Kick 2	---	8	Dry Kick 2	---	0	Fat Kick	---	1	Rock Kick	---
28	E1	1	Rock Kick	---	2	Ambi.Kick	---	12	Gated Kick	---	13	--	---
29	F1	34	Snare 2	---	48	AmbiSnare2	---	40	FullRoomSD	---	40	FullRoomSD	---
30	F#1	94	Open HH 1	1	93	Close HH	1	94	Open HH 1	1	94	Open HH 1	1
31	G1	12	Gated Kick	---	5	PillowKick	---	10	Real Kick	---	0	Fat Kick	---
32	G#1	78	Side Stick	---	79	--	---	404	Metronome2	---	404	Metronome2	---
33	A1	56	RollSnare2	7	56	RollSnare2	7	48	AmbiSnare2	---	48	AmbiSnare2	---
34	A#1	55	RollSnare1	7	55	RollSnare1	7	51	PowerSnare	---	40	FullRoomSD	---
35	B1	0	Fat Kick	---	14	ProcesKick	---	1	Rock Kick	---	2	Ambi.Kick	---
36	C2	2	Ambi.Kick	---	0	Fat Kick	---	2	Ambi.Kick	---	12	Gated Kick	---
37	C#2	78	Side Stick	---	78	Side Stick	---	78	Side Stick	---	78	Side Stick	---
38	D2	43	DrySnare 1	---	43	DrySnare 1	---	50	GatedSnare	---	51	PowerSnare	---
39	D#2	269	Syn Claps	---	269	Syn Claps	---	269	Syn Claps	---	268	Hand Claps	---
40	E2	40	FullRoomSD	---	49	Rock Snare	---	39	LightSnare	---	50	GatedSnare	---
41	F2	123	Tom 2 Lo	---	123	Tom 2 Lo	---	120	Tom 1 Lo	---	128	ProcessTom	---
42	F#2	93	Close HH	1	93	Close HH	1	93	Close HH	1	93	Close HH	1
43	G2	123	Tom 2 Lo	---	123	Tom 2 Lo	---	120	Tom 1 Lo	---	128	ProcessTom	---
44	G#2	97	Pedal HH 1	1	97	Pedal HH 1	1	97	Pedal HH 1	1	97	Pedal HH 1	1
45	A2	123	Tom 2 Lo	---	123	Tom 2 Lo	---	120	Tom 1 Lo	---	128	ProcessTom	---
46	A#2	94	Open HH 1	1	94	Open HH 1	1	94	Open HH 1	1	94	Open HH 1	1
47	B2	123	Tom 2 Lo	---	121	Tom 2 Hi	---	120	Tom 1 Lo	---	128	ProcessTom	---
48	C3	121	Tom 2 Hi	---	121	Tom 2 Hi	---	120	Tom 1 Lo	---	128	ProcessTom	---
49	C#3	81	Crash Cym	---	81	Crash Cym	---	81	Crash Cym	---	81	Crash Cym	---
50	D3	121	Tom 2 Hi	---	121	Tom 2 Hi	---	120	Tom 1 Lo	---	128	ProcessTom	---
51	D#3	117	Ride Cym 2	---	117	Ride Cym 2	---	117	Ride Cym 2	---	117	Ride Cym 2	---
52	E3	83	China Cym	---	83	China Cym	---	83	China Cym	---	83	China Cym	---
53	F3	115	Ride Cup	---	115	Ride Cup	---	115	Ride Cup	---	115	Ride Cup	---
54	F#3	206	Tambourine	---	206	Tambourine	---	206	Tambourine	---	206	Tambourine	---
55	G3	85	Splash Cym	---	85	Splash Cym	---	85	Splash Cym	---	85	Splash Cym	---
56	G#3	235	Cowbell 1	---	235	Cowbell 1	---	235	Cowbell 1	---	235	Cowbell 1	---
57	A3	81	Crash Cym	---	81	Crash Cym	---	81	Crash Cym	---	81	Crash Cym	---
58	A#3	263	Viblaslap	---	263	Viblaslap	---	263	Viblaslap	---	263	Viblaslap	---
59	B3	117	Ride Cym 2	---	114	Ride Edge	---	117	Ride Cym 2	---	117	Ride Cym 2	---
60	C4	147	Hi Bongo	---	147	Hi Bongo	---	147	Hi Bongo	---	147	Hi Bongo	---
61	C#4	146	Lo Bongo	---	146	Lo Bongo	---	146	Lo Bongo	---	146	Lo Bongo	---
62	D4	161	Slap Conga	---	161	Slap Conga	---	161	Slap Conga	---	161	Slap Conga	---
63	D#4	160	Open Conga	---	160	Open Conga	---	160	Open Conga	---	160	Open Conga	---
64	E4	160	Open Conga	---	160	Open Conga	---	160	Open Conga	---	160	Open Conga	---
65	F4	239	Timbal1HiO	---	239	Timbal1HiO	---	239	Timbal1HiO	---	239	Timbal1HiO	---
66	F#4	240	Timbal1LoO	---	240	Timbal1LoO	---	240	Timbal1LoO	---	240	Timbal1LoO	---
67	G4	227	Agogo 1	---	227	Agogo 1	---	227	Agogo 1	---	227	Agogo 1	---
68	G#4	227	Agogo 1	---	227	Agogo 1	---	227	Agogo 1	---	227	Agogo 1	---
69	A4	190	Cabasa	---	190	Cabasa	---	190	Cabasa	---	190	Cabasa	---
70	A#4	196	SynMaracas	---	196	SynMaracas	---	196	SynMaracas	---	196	SynMaracas	---
71	B4	266	Whistle S	2	266	Whistle S	2	266	Whistle S	2	266	Whistle S	2
72	C5	267	Whistle L	2	267	Whistle L	2	267	Whistle L	2	267	Whistle L	2
73	C#5	264	Guiro S	4	264	Guiro S	4	264	Guiro S	4	264	Guiro S	4
74	D5	265	Guiro L	4	265	Guiro L	4	265	Guiro L	4	265	Guiro L	4
75	D#5	255	Claves	---	255	Claves	---	255	Claves	---	255	Claves	---

Key	Inst	Excl	Inst	Excl	Inst	Excl	Inst	Excl	Inst	Excl			
76	E5	253	WoodBlockM	---	253	WoodBlockM	---	253	WoodBlockM	---	253	WoodBlockM	---
77	F5	253	WoodBlockM	---	253	WoodBlockM	---	253	WoodBlockM	---	253	WoodBlockM	---
78	F#5	185	Mute Cuica	3	185	Mute Cuica	3	185	Mute Cuica	3	185	Mute Cuica	3
79	G5	186	Open Cuica	3	186	Open Cuica	3	186	Open Cuica	3	186	Open Cuica	3
80	G#5	224	MuteTriang	5	224	MuteTriang	5	224	MuteTriang	5	224	MuteTriang	5
81	A5	225	OpenTriang	5	225	OpenTriang	5	225	OpenTriang	5	225	OpenTriang	5
82	A#5	190	Cabasa	---	190	Cabasa	---	190	Cabasa	---	190	Cabasa	---
83	B5	221	JingleBell	---	221	JingleBell	---	221	JingleBell	---	221	JingleBell	---
84	C6	222	MarcTree 1	---	222	MarcTree 1	---	222	MarcTree 1	---	222	MarcTree 1	---
85	C#6	258	Castanet1V	---	258	Castanet1V	---	258	Castanet1V	---	258	Castanet1V	---
86	D6	169	Baya 1	6	169	Baya 1	6	169	Baya 1	6	169	Baya 1	6
87	D#6	122	Tom 2 Hi V	6	122	Tom 2 Hi V	6	122	Tom 2 Hi V	6	122	Tom 2 Hi V	6

Key	Inst	Excl	Inst	Excl	Inst	Excl	Inst	Excl					
#	Note	Dr15 - Electronic Kit		Dr16 - Analog Kit		Dr17 - Dance Kit		Dr18 - Jazz Kit					
21	A0	16	Dance Kick	---	401	Explosion	---	33	Snare 1	---	18	Syn Kick 1	---
22	A#0	58	SynSnare 2	---	47	AmbiSnare1	---	33	Snare 1	---	57	SynSnare 1	---
23	B0	20	Syn Kick 3	---	10	Real Kick	---	20	Syn Kick 3	---	20	Syn Kick 3	---
24	C1	57	SynSnare 1	---	50	GatedSnare	---	57	SynSnare 1	---	57	SynSnare 1	---
25	C#1	49	Rock Snare	---	37	PicloSnare	---	33	Snare 1	---	39	LightSnare	---
26	D1	130	OilDrum	---	49	Rock Snare	---	48	AmbiSnare2	---	48	AmbiSnare2	---
27	D#1	18	Syn Kick 1	---	0	Fat Kick	---	2	Ambi.Kick	---	2	Ambi.Kick	---
28	E1	12	Gated Kick	---	16	Dance Kick	---	49	Rock Snare	---	5	PillowKick	---
29	F1	51	PowerSnare	---	48	AmbiSnare2	---	358	WhiteNoise	---	40	FullRoomSD	---
30	F#1	104	ClosSynHH1	1	93	Close HH	1	299	Zap 2	1	94	Open HH 1	1
31	G1	0	Fat Kick	---	2	Ambi.Kick	---	7	Dry Kick 1	---	7	Dry Kick 1	---
32	G#1	298	Zap 1	---	298	Zap 1	---	298	Zap 1	---	404	Metronome2	---
33	A1	50	GatedSnare	---	40	FullRoomSD	---	397	Gun Shot 1	---	43	DrySnare 1	---
34	A#1	51	PowerSnare	---	33	Snare 1	---	134	SolidHit	---	40	FullRoomSD	---
35	B1	2	Ambi.Kick	---	18	Syn Kick 1	---	18	Syn Kick 1	---	2	Ambi.Kick	---
36	C2	21	Syn Kick 4	---	20	Syn Kick 3	---	16	Dance Kick	---	8	Dry Kick 2	---
37	C#2	80	Syn Rim	---	80	Syn Rim	---	404	Metronome2	---	78	Side Stick	---
38	D2	58	SynSnare 2	---	57	SynSnare 1	---	40	FullRoomSD	---	39	LightSnare	---
39	D#2	269	Syn Claps	---	269	Syn Claps	---	269	Syn Claps	---	268	Hand Claps	---
40	E2	47	AmbiSnare1	---	58	SynSnare 2	---	47	AmbiSnare1	---	34	Snare 2	---
41	F2	131	Syn Tom 1	---	132	SynTom2 Hi	---	128	ProcessTom	---	120	Tom 1 Lo	---
42	F#2	93	Close HH	1	104	ClosSynHH1	1	93	Close HH	1	93	Close HH	1
43	G2	131	Syn Tom 1	---	132	SynTom2 Hi	---	128	ProcessTom	---	120	Tom 1 Lo	---
44	G#2	97	Pedal HH 1	1	104	ClosSynHH1	1	104	ClosSynHH1	1	97	Pedal HH 1	1
45	A2	131	Syn Tom 1	---	132	SynTom2 Hi	---	128	ProcessTom	---	120	Tom 1 Lo	---
46	A#2	94	Open HH 1	1	106	OpenSynHH1	1	106	OpenSynHH1	1	94	Open HH 1	1
47	B2	131	Syn Tom 1	---	132	SynTom2 Hi	---	128	ProcessTom	---	120	Tom 1 Lo	---
48	C3	131	Syn Tom 1	---	132	SynTom2 Hi	---	128	ProcessTom	---	119	Tom 1 Hi	---
49	C#3	81	Crash Cym	---	106	OpenSynHH1	---	81	Crash Cym	---	81	Crash Cym	---
50	D3	131	Syn Tom 1	---	132	SynTom2 Hi	---	128	ProcessTom	---	119	Tom 1 Hi	---
51	D#3	117	Ride Cym 2	---	117	Ride Cym 2	---	117	Ride Cym 2	---	117	Ride Cym 2	---
52	E3	313	Rev.Cymbal	---	83	China Cym	---	313	Rev.Cymbal	---	83	China Cym	---
53	F3	115	Ride Cup	---	115	Ride Cup	---	115	Ride Cup	---	115	Ride Cup	---
54	F#3	206	Tambourine	---	206	Tambourine	---	206	Tambourine	---	206	Tambourine	---
55	G3	85	Splash Cym	---	85	Splash Cym	---	85	Splash Cym	---	85	Splash Cym	---
56	G#3	235	Cowbell 1	---	237	SynCowbell	---	237	SynCowbell	---	235	Cowbell 1	---
57	A3	81	Crash Cym	---	81	Crash Cym	---	81	Crash Cym	---	81	Crash Cym	---
58	A#3	263	Viblaslap	---	263	Viblaslap	---	263	Viblaslap	---	263	Viblaslap	---
59	B3	117	Ride Cym 2	---	117	Ride Cym 2	---	117	Ride Cym 2	---	117	Ride Cym 2	---
60	C4	147	Hi Bongo	---	147	Hi Bongo	---	147	Hi Bongo	---	147	Hi Bongo	---
61	C#4	146	Lo Bongo	---	146	Lo Bongo	---	146	Lo Bongo	---	146	Lo Bongo	---

Key	Inst	Excl	Inst	Excl	Inst	Excl	Inst	Excl	Inst	Excl			
62	D4	161	Slap Conga	---	132	SynTom2 Hi	---	162	Palm Conga	---	161	Slap Conga	---
63	D#4	160	Open Conga	---	132	SynTom2 Hi	---	160	Open Conga	---	160	Open Conga	---
64	E4	160	Open Conga	---	133	SynTom2 Lo	---	160	Open Conga	---	160	Open Conga	---
65	F4	239	Timbal1HiO	---	239	Timbal1HiO	---	239	Timbal1HiO	---	239	Timbal1HiO	---
66	F#4	240	Timbal1LoO	---	240	Timbal1LoO	---	240	Timbal1LoO	---	240	Timbal1LoO	---
67	G4	227	Agogo 1	---	227	Agogo 1	---	227	Agogo 1	---	227	Agogo 1	---
68	G#4	227	Agogo 1	---	227	Agogo 1	---	227	Agogo 1	---	227	Agogo 1	---
69	A4	190	Cabasa	---	190	Cabasa	---	190	Cabasa	---	190	Cabasa	---
70	A#4	196	SynMaracas	---	196	SynMaracas	---	196	SynMaracas	---	196	SynMaracas	---
71	B4	266	Whistle S	2	266	Whistle S	2	266	Whistle S	2	266	Whistle S	2
72	C5	267	Whistle L	2	267	Whistle L	2	267	Whistle L	2	267	Whistle L	2
73	C#5	264	Guiro S	4	264	Guiro S	4	264	Guiro S	4	264	Guiro S	4
74	D5	265	Guiro L	4	265	Guiro L	4	265	Guiro L	4	265	Guiro L	4
75	D#5	255	Claves	---	256	Syn Claves	---	256	Syn Claves	---	255	Claves	---
76	E5	253	WoodBlockM	---	253	WoodBlockM	---	253	WoodBlockM	---	253	WoodBlockM	---
77	F5	253	WoodBlockM	---	253	WoodBlockM	---	253	WoodBlockM	---	253	WoodBlockM	---
78	F#5	185	Mute Cuica	3	185	Mute Cuica	3	185	Mute Cuica	3	185	Mute Cuica	3
79	G5	186	Open Cuica	3	186	Open Cuica	3	186	Open Cuica	3	186	Open Cuica	3
80	G#5	224	MuteTriang	5	224	MuteTriang	5	224	MuteTriang	5	224	MuteTriang	5
81	A5	225	OpenTriang	5	225	OpenTriang	5	225	OpenTriang	5	225	OpenTriang	5
82	A#5	190	Cabasa	---	190	Cabasa	---	190	Cabasa	---	190	Cabasa	---
83	B5	221	JingleBell	---	221	JingleBell	---	221	JingleBell	---	221	JingleBell	---
84	C6	222	MarcTree 1	---	222	MarcTree 1	---	222	MarcTree 1	---	222	MarcTree 1	---
85	C#6	258	Castanet1V	---	258	Castanet1V	---	258	Castanet1V	---	258	Castanet1V	---
86	D6	169	Baya 1	6	169	Baya 1	6	169	Baya 1	6	169	Baya 1	6
87	D#6	122	Tom 2 Hi V	6	122	Tom 2 Hi V	6	122	Tom 2 Hi V	6	122	Tom 2 Hi V	6

Key	Inst	Excl	Inst	Excl	Inst	Excl	Inst	Excl	Inst	Excl			
#	Note	Dr21 - Brush Kit		Dr22 - Orchestra Kit			Dr23 - Percussion Kit			Dr24 - Lati Perc. Kit			
21	A0	120	Tom 1 Lo	---	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF		
22	A#0	120	Tom 1 Lo	---	OFF	OFF	OFF	OFF	224	MuteTriang	7		
23	B0	120	Tom 1 Lo	---	OFF	OFF	OFF	OFF	225	OpenTriang	7		
24	C1	120	Tom 1 Lo	---	56	RollSnare2	7	226	Flexatone	---	226	Flexatone	---
25	C#1	119	Tom 1 Hi	---	55	RollSnare1	7	344	FingCymbal	---	344	FingCymbal	---
26	D1	43	DrySnare 1	---	260	FingrSnap1	---	154	Tsuzumi	---	237	SynCowbell	---
27	D#1	32	Orch B.Drm	---	93	Close HH	1	146	Lo Bongo	---	257	Castanet 1	6
28	E1	4	Punch Kick	---	98	--	1	147	Hi Bongo	---	258	Castanet1V	---
29	F1	260	FingrSnap1	---	94	Open HH 1	1	146	Lo Bongo	---	260	FingrSnap1	---
30	F#1	94	Open HH 1	1	114	Ride Edge	---	206	Tambourine	---	262	Snap	---
31	G1	7	Dry Kick 1	---	77	Stick Hit	---	227	Agogo 1	---	278	MetalHitHi	---
32	G#1	78	Side Stick	---	262	Snap	---	366	Wind	---	279	MetalHitLo	---
33	A1	74	Brush Tap	---	403	Metronome1	---	227	Agogo 1	---	154	Tsuzumi	---
34	A#1	74	Brush Tap	---	347	Tubular 3	---	148	Slap Bongo	---	154	Tsuzumi	---
35	B1	5	PillowKick	---	10	Real Kick	---	254	WoodBlockL	---	154	Tsuzumi	---
36	C2	8	Dry Kick 2	---	32	Orch B.Drm	---	255	Claves	---	32	Orch B.Drm	1
37	C#2	78	Side Stick	---	78	Side Stick	---	253	WoodBlockM	---	32	Orch B.Drm	1
38	D2	357	BrushNoise	---	43	DrySnare 1	---	233	BongBellOp	---	227	Agogo 1	---
39	D#2	73	Brush Slap	---	258	Castanet1V	---	252	WoodBlockH	---	227	Agogo 1	---
40	E2	75	BrushSwish	---	43	DrySnare 1	---	257	Castanet 1	---	160	Open Conga	---
41	F2	135	Brush Tom	---	137	Timpani	---	170	Baya 2	---	163	Mute Conga	---
42	F#2	93	Close HH	1	137	Timpani	---	187	Shaker 1	---	162	Palm Conga	---
43	G2	135	Brush Tom	---	137	Timpani	---	169	Baya 1	---	161	Slap Conga	---
44	G#2	97	Pedal HH 1	1	137	Timpani	---	191	Maracas 1	---	196	SynMaracas	---
45	A2	135	Brush Tom	---	137	Timpani	---	170	Baya 2	---	160	Open Conga	---
46	A#2	94	Open HH 1	1	137	Timpani	---	190	Cabasa	---	224	MuteTriang	2
47	B2	135	Brush Tom	---	137	Timpani	---	173	Tabla 3	1	225	OpenTriang	2

Key	Inst	Excl	Inst	Excl	Inst	Excl	Inst	Excl	Inst	Excl			
48	C3	135	Brush Tom	---	137	Timpani	---	172	Tabla 2	1	163	Mute Conga	---
49	C#3	81	Crash Cym	---	137	Timpani	---	263	Viblaslap	---	162	Palm Conga	---
50	D3	135	Brush Tom	---	137	Timpani	---	171	Tabla 1	1	161	Slap Conga	---
51	D#3	117	Ride Cym 2	---	137	Timpani	---	224	MuteTriang	3	206	Tambourine	---
52	E3	83	China Cym	---	137	Timpani	---	32	Orch B.Drm	---	160	Open Conga	---
53	F3	114	Ride Edge	---	137	Timpani	---	225	OpenTriang	3	146	Lo Bongo	---
54	F#3	206	Tambourine	---	206	Tambourine	---	264	Guiro S	2	146	Lo Bongo	---
55	G3	85	Splash Cym	---	85	Splash Cym	---	221	JingleBell	---	147	Hi Bongo	---
56	G#3	235	Cowbell 1	---	235	Cowbell 1	---	265	Guiro L	2	240	Timbal1LoO	---
57	A3	81	Crash Cym	---	81	Crash Cym	---	222	MarcTree 1	---	148	Slap Bongo	---
58	A#3	263	Viblaslap	---	263	Viblaslap	---	223	MarcTree 2	---	240	Timbal1LoO	---
59	B3	116	Ride Cym 1	---	87	Orch Cym	---	191	Maracas 1	---	206	Tambourine	---
60	C4	147	Hi Bongo	---	147	Hi Bongo	---	268	Hand Claps	---	241	Timbal1Pil	---
61	C#4	146	Lo Bongo	---	146	Lo Bongo	---	269	Syn Claps	---	239	Timbal1HiO	---
62	D4	161	Slap Conga	---	161	Slap Conga	---	301	Scratch Lo	---	241	Timbal1Pil	---
63	D#4	160	Open Conga	---	160	Open Conga	---	300	Scratch Hi	---	239	Timbal1HiO	---
64	E4	160	Open Conga	---	160	Open Conga	---	302	ScratchDbl	---	238	Timbal1HiR	---
65	F4	239	Timbal1HiO	---	239	Timbal1HiO	---	266	Whistle S	4	238	Timbal1HiR	---
66	F#4	240	Timbal1LoO	---	240	Timbal1LoO	---	267	Whistle L	4	212	Rek Dom 2	---
67	G4	227	Agogo 1	---	227	Agogo 1	---	161	Slap Conga	---	212	Rek Dom 2	---
68	G#4	227	Agogo 1	---	227	Agogo 1	---	163	Mute Conga	---	212	Rek Dom 2	---
69	A4	190	Cabasa	---	190	Cabasa	---	160	Open Conga	---	214	Rek Slap	---
70	A#4	196	SynMaracas	---	196	SynMaracas	---	160	Open Conga	---	233	BongBellOp	---
71	B4	266	Whistle S	2	266	Whistle S	2	185	Mute Cuica	---	254	WoodBlockL	---
72	C5	267	Whistle L	2	267	Whistle L	2	186	Open Cuica	---	253	WoodBlockM	---
73	C#5	264	Guiro S	4	264	Guiro S	4	241	Timbal1Pil	---	234	BongBellMt	---
74	D5	265	Guiro L	4	265	Guiro L	4	238	Timbal1HiR	---	191	Maracas 1	---
75	D#5	255	Claves	---	255	Claves	---	239	Timbal1HiO	---	232	Manbo Bell	---
76	E5	253	WoodBlockM	---	253	WoodBlockM	---	240	Timbal1LoO	---	190	Cabasa	---
77	F5	253	WoodBlockM	---	253	WoodBlockM	---	256	Syn Claves	---	189	Shaker 3	---
78	F#5	185	Mute Cuica	3	185	Mute Cuica	3	237	SynCowbell	---	235	Cowbell 1	---
79	G5	186	Open Cuica	3	186	Open Cuica	3	260	FingrSnap1	---	187	Shaker 1	---
80	G#5	224	MuteTriang	5	224	MuteTriang	5	138	Taiko Hi	---	187	Shaker 1	---
81	A5	225	OpenTriang	5	225	OpenTriang	5	139	Taiko Lo	---	188	Shaker 2	---
82	A#5	190	Cabasa	---	190	Cabasa	---	299	Zap 2	---	251	Tambourim3	---
83	B5	221	JingleBell	---	221	JingleBell	---	55	RollSnare1	5	249	Tambourim1	---
84	C6	222	MarcTree 1	---	222	MarcTree 1	---	56	RollSnare2	5	250	Tambourim2	---
85	C#6	258	Castanet1V	---	258	Castanet1V	---	87	Orch Cym	6	250	Tambourim2	---
86	D6	169	Baya 1	6	169	Baya 1	6	87	Orch Cym	6	249	Tambourim1	---
87	D#6	122	Tom 2 Hi V	6	122	Tom 2 Hi V	6	179	Udu	---	179	Udu	---
88	E6	OFF	OFF		383	Applause 1	1	288	Orch Hit	---	180	DjembeOpen	---
89	F6	OFF	OFF		OFF	OFF		288	Orch Hit	---	191	Maracas 1	---
90	F#6	OFF	OFF		OFF	OFF		288	Orch Hit	---	191	Maracas 1	---
91	G6	OFF	OFF		OFF	OFF		288	Orch Hit	---	185	Mute Cuica	---
92	G#6	OFF	OFF		OFF	OFF		288	Orch Hit	---	265	Guiro L	3
93	A6	OFF	OFF		OFF	OFF		288	Orch Hit	---	264	Guiro S	3
94	A#6	OFF	OFF		OFF	OFF		288	Orch Hit	---	264	Guiro S	3
95	B6	OFF	OFF		OFF	OFF		288	Orch Hit	---	186	Open Cuica	---
96	C7	OFF	OFF		OFF	OFF		288	Orch Hit	---	255	Claves	---
97	C#7	OFF	OFF		OFF	OFF		288	Orch Hit	---	266	Whistle S	4
98	D7	OFF	OFF		OFF	OFF		288	Orch Hit	---	267	Whistle L	4
99	D#7	OFF	OFF		OFF	OFF		288	Orch Hit	---	203	Sagat Open	5
100	E7	OFF	OFF		OFF	OFF		288	Orch Hit	---	204	Sagat HfOp	5
101	F7	OFF	OFF		OFF	OFF		288	Orch Hit	---	205	SagatClose	5
102	F#7	OFF	OFF		OFF	OFF		288	Orch Hit	---	221	JingleBell	---
103	G7	OFF	OFF		OFF	OFF		288	Orch Hit	---	222	MarcTree 1	---
104	G#7	OFF	OFF		OFF	OFF		288	Orch Hit	---	223	MarcTree 2	---
105	A7	OFF	OFF		OFF	OFF		288	Orch Hit	---	360	Tri Roll	2

7. 付録

Key		Inst		Excl	Inst		Excl	Inst		Excl	Inst		Excl
106	A#7	OFF	OFF		OFF	OFF		288	Orch Hit	---	361	Cast Roll	6
107	G8	OFF	OFF		OFF	OFF		288	Orch Hit	---	403	Metronome1	---

Key		Inst		Excl	Inst		Excl	Inst		Excl	Inst		Excl
#	Note	Dr25 - Arabian Kit			Dr26 - SFX Kit			Dr27 - User 1			Dr28 - User 2		
21	A0	404	Metronome2	---	OFF	OFF							
22	A#0	347	Tubular 3	---	OFF	OFF							
23	B0	235	Cowbell 1	---	OFF	OFF							
24	C1	235	Cowbell 1	---	OFF	OFF							
25	C#1	55	RollSnare1	---	OFF	OFF							
26	D1	260	FingrSnap1	---	OFF	OFF							
27	D#1	299	Zap 2	---	OFF	OFF							
28	E1	91	Tite HH 1	---	OFF	OFF							
29	F1	280	Gt Scratch	---	OFF	OFF							
30	F#1	280	Gt Scratch	---	OFF	OFF							
31	G1	77	Stick Hit	---	304	Scratch b	1						
32	G#1	162	Palm Conga	---	305	Scratch c	1						
33	A1	404	Metronome2	---	282	GtCutNois1	---						
34	A#1	403	Metronome1	---	283	GtCutNois2	---						
35	B1	2	Ambi.Kick	---	285	Chic 2	---						
36	C2	10	Real Kick	---	284	Chic 1	---						
37	C#2	78	Side Stick	---	286	Bass Slide	---						
38	D2	33	Snare 1	---	280	Gt Scratch	---						
39	D#2	268	Hand Claps	---	298	Zap 1	---						
40	E2	33	Snare 1	---	358	WhiteNoise	---						
41	F2	120	Tom 1 Lo	---	300	Scratch Hi	2						
42	F#2	91	Tite HH 1	1	301	Scratch Lo	2						
43	G2	120	Tom 1 Lo	---	77	Stick Hit	---						
44	G#2	91	Tite HH 1	1	382	Footstep 2	---						
45	A2	120	Tom 1 Lo	---	404	Metronome2	---						
46	A#2	94	Open HH 1	1	403	Metronome1	---						
47	B2	119	Tom 1 Hi	---	281	Gtr Slide	---						
48	C3	119	Tom 1 Hi	---	282	GtCutNois1	---						
49	C#3	81	Crash Cym	2	282	GtCutNois1	---						
50	D3	119	Tom 1 Hi	---	287	StringSlap	---						
51	D#3	117	Ride Cym 2	3	287	StringSlap	---						
52	E3	182	Darabuka O	---	377	Laughing V	---						
53	F3	184	Darabuka M	---	378	Scream	---						
54	F#3	206	Tambourine	---	379	Punch	---						
55	G3	183	Darabuka R	---	380	Hart Beat	---						
56	G#3	235	Cowbell 1	---	381	Footstep 1	---						
57	A3	183	Darabuka R	---	381	Footstep 1	---						
58	A#3	190	Cabasa	---	383	Applause 1	---						
59	B3	142	Douf Dom	---	387	Door Creak	---						
60	C4	145	Douf Tak 2	---	388	Door Slam	---						
61	C#4	146	Lo Bongo	---	303	Scratch a	---						
62	D4	144	Douf Tak 1	---	223	MarcTree 2	---						
63	D#4	147	Hi Bongo	---	389	Car Engine	---						
64	E4	143	Douf Rim	---	390	Car Stop	---						
65	F4	174	Tabla Dom	---	391	Car Pass	---						
66	F#4	178	Tabla Roll	4	392	Car Crash	---						
67	G4	175	Tabla Tak	4	394	Siren	---						
68	G#4	176	Tabla Flam	---	395	Train	---						
69	A4	177	Tabla Rim	---	359	Jetstar	---						
70	A#4	148	Slap Bongo	---	396	Helicopter	---						
71	B4	172	Tabla 2	---	400	Laser Gun	---						

Key		Inst		Excl	Inst		Excl	Inst		Excl	Inst		Excl
72	C5	212	Rek Dom 2	---	398	Gun Shot 2	---						
73	C#5	213	Rek Tak	---	399	MachineGun	---						
74	D5	211	Rek Dom 1	---	400	Laser Gun	---						
75	D#5	215	Rek Rim	---	401	Explosion	---						
76	E5	215	Rek Rim	---	374	Dog	---						
77	F5	214	Rek Slap	---	376	Gallop	---						
78	F#5	206	Tambourine	---	371	Bird 1	3						
79	G5	212	Rek Dom 2	---	364	Rain	---						
80	G#5	206	Tambourine	2	365	Thunder	---						
81	A5	213	Rek Tak	2	366	Wind	---						
82	A#5	215	Rek Rim	---	367	Seashore	---						
83	B5	214	Rek Slap	---	369	Stream	---						
84	C6	203	Sagat Open	5	370	Bubble	---						
85	C#6	204	Sagat HfOp	5	373	Kitty	---						
86	D6	205	SagatClose	5	372	Bird 2	---						
87	D#6	221	JingleBell	---	375	Growl 2	---						
88	E6	180	DjembeOpen	6	356	Stadium	---						
89	F6	180	DjembeOpen	6	385	Telephone1	---						
90	F#6	182	Darabuka O	6	386	Telephone2	---						
91	G6	203	Sagat Open	7	OFF	OFF							
92	G#6	204	Sagat HfOp	7	OFF	OFF							
93	A6	205	SagatClose	7	OFF	OFF							
94	A#6	221	JingleBell	---	OFF	OFF							
95	B6	10	Real Kick	---	OFF	OFF							
96	C7	361	Cast Roll	---	OFF	OFF							
97	C#7	OFF	OFF		OFF	OFF							
98	D7	OFF	OFF		OFF	OFF							
99	D#7	OFF	OFF		OFF	OFF							
100	E7	OFF	OFF		OFF	OFF							
101	F7	OFF	OFF		OFF	OFF							
102	F#7	OFF	OFF		OFF	OFF							
103	G7	OFF	OFF		OFF	OFF							
104	G#7	OFF	OFF		OFF	OFF							
105	A7	OFF	OFF		OFF	OFF							
106	A#7	OFF	OFF		OFF	OFF							
107	G8	OFF	OFF		OFF	OFF							

Drumsamples

#	Instr	#	Instr	#	Instr	#	Instr	#	Instr	#	Instr	#	Instr	#	Instr
1	Fat Kick	52	PoweSnare	103	--	154	--	205	Sagat HfOp	256	Claves	307	Growl 1	358	BrushNoise
2	Rock Kick	53	--	104	--	155	Tsuzumi	206	SagatClose	257	Syn Claves	308	Monkey 2	359	WhiteNoise
3	Ambi.Kick	54	--	105	ClsSynHH1	156	--	207	Tambourine	258	Castanet 1	309	Rev.Kick	360	Jetstar
4	Crisp Kick	55	--	106	--	157	--	208	--	259	Castanet1V	310	Rev.ConBD	361	Tri Roll
5	Punch Kick	56	RollSnare1	107	OpSynHH1	158	--	209	--	260	--	311	Rev.Snare1	362	Cast Roll
6	PillowKick	57	RollSnare2	108	--	159	--	210	--	261	FingrSnap1	312	Rev.Snare2	363	Lore
7	--	58	SynSnare 1	109	--	160	--	211	--	262	--	313	Rev.Snare3	364	MalletLoop
8	Dry Kick 1	59	SynSnare 2	110	--	161	OpnConga	212	Rek Dom 1	263	Snap	314	RevCymbal	365	Rain
9	Dry Kick 2	60	--	111	--	162	Slap Conga	213	Rek Dom 2	264	Viblaslap	315	Rev.Tom 1	366	Thunder
10	--	61	--	112	--	163	PalmConga	214	Rek Tak	265	Guiro S	316	Rev.Tom 2	367	Wind
11	Real Kick	62	--	113	--	164	MuteConga	215	Rek Slap	266	Guiro L	317	Kalimba 1	368	Seashore
12	--	63	--	114	--	165	--	216	Rek Rim	267	Whistle S	318	Kalimba 2	369	Seashore V
13	Gated Kick	64	--	115	Ride Edge	166	--	217	--	268	Whistle L	319	MusicBox 1	370	Stream
14	--	65	--	116	Ride Cup	167	--	218	--	269	Hand Claps	320	MusicBox 2	371	Bubble
15	ProcesKick	66	--	117	Ride Cym 1	168	--	219	--	270	Syn Claps	321	Log Drum 1	372	Bird 1
16	Metal Kick	67	--	118	Ride Cym 2	169	--	220	--	271	--	322	Log Drum 2	373	Bird 2
17	Dance Kick	68	--	119	--	170	Baya 1	221	--	272	--	323	Log Drum 3	374	Kitty
18	--	69	--	120	Tom 1 Hi	171	Baya 2	222	JingleBell	273	--	324	Log Drum 4	375	Dog
19	Syn Kick 1	70	--	121	Tom 1 Lo	172	Tabla 1	223	MarcTree 1	274	--	325	Log Drum 5	376	Growl 2
20	Syn Kick 2	71	--	122	Tom 2 Hi	173	Tabla 2	224	MarcTree 2	275	--	326	Marimba 1	377	Gallop
21	Syn Kick 3	72	--	123	Tom 2 Hi V	174	Tabla 3	225	MuteTriang	276	--	327	Marimba 2	378	Laughing V
22	Syn Kick 4	73	--	124	Tom 2 Lo	175	Tabla Dom	226	OpenTriang	277	--	328	Marimba 3	379	Scream
23	--	74	Brush Slap	125	Tom 2 Lo V	176	Tabla Tak	227	Flexatone	278	--	329	Marimba 4	380	Punch
24	--	75	Brush Tap	126	--	177	Tabla Flam	228	Agogo 1	279	MetalHitHi	330	Xylofon 1	381	Hart Beat
25	--	76	BrshSwish	127	--	178	Tabla Rim	229	--	280	MetalHitLo	331	Xylofon 2	382	Footstep 1
26	--	77	BrushSwirl	128	--	179	Tabla Roll	230	--	281	Gt Scratch	332	Xylofon 3	383	Footstep 2
27	--	78	Stick Hit	129	ProcesTom	180	Udu	231	--	282	Gtr Slide	333	Vibe 1	384	Applause 1
28	--	79	Side Stick	130	--	181	DjembeOp	232	--	283	GtCutNois1	334	Vibe 2	385	Applause 2
29	--	80	--	131	OilDrum	182	--	233	Manbo Bell	284	GtCutNois2	335	Vibe 3	386	Telephone1
30	--	81	Syn Rim	132	Syn Tom 1	183	DarabukaO	234	BongBellO	285	Chic 1	336	Vibe 4	387	Telephone2
31	--	82	Crash Cym	133	SynTom2Hi	184	Darabuka R	235	BongBellMt	286	Chic 2	337	Celeste	388	Door Creak
32	--	83	Crash LP	134	SynTom2L	185	DarabukaM	236	Cowbell 1	287	Bass Slide	338	Glocken 1	389	Door Slam
33	Orch B.Drm	84	China Cym	135	SolidHit	186	Mute Cuica	237	--	288	StringSlap	339	Glocken 2	390	Car Engine
34	Snare 1	85	China LP	136	Brush Tom	187	Open Cuica	238	SynCowbell	289	Orch Hit	340	Glocken 3	391	Car Stop
35	Snare 2	86	SplashCym	137	BrshTom V	188	Shaker 1	239	Timbal1HiR	290	ImpactHitL	341	BrightBell	392	Car Pass
36	Snare 3	87	Splash LP	138	Timpani	189	Shaker 2	240	Timbal1HiO	291	ImpactHitR	342	Metal Bell	393	Car Crash
37	Snare 4	88	Orch Cym	139	Taiko Hi	190	Shaker 3	241	Timbal1LO	292	Rave Hit L	343	Gamelan 1	394	GlassBreak
38	PicloSnare	89	OrchCmLP	140	Taiko Lo	191	Cabasa	242	Timbal1Pil	293	Rave Hit R	344	Gamelan 2	395	Siren
39	Soft Snare	90	--	141	--	192	Maracas 1	243	--	294	Philly Hit	345	FingCym	396	Train
40	LightSnare	91	--	142	--	193	--	244	--	295	BrassFall1	346	Tubular 1	397	Helicopter
41	FullRmSD	92	Tite HH 1	143	Douf Dom	194	--	245	--	296	BrassFall2	347	Tubular 2	398	Gun Shot 1
42	--	93	--	144	Douf Rim	195	--	246	--	297	BrassFall3	348	Tubular 3	399	Gun Shot 2
43	--	94	Close HH	145	Douf Tak 1	196	--	247	--	298	BrassFall4	349	ChurchBell	400	MachinGun
44	DrySnare 1	95	Open HH 1	146	Douf Tak 2	197	SynMaracs	248	--	299	Zap 1	350	Gong Hi	401	Laser Gun
45	--	96	--	147	Lo Bongo	198	--	249	--	300	Zap 2	351	Gong Lo	402	Explosion
46	--	97	--	148	Hi Bongo	199	--	250	Tambrim1	301	Scratch Hi	352	MouthHrp1	403	HandDrill
47	TightSnare	98	Pedal HH 1	149	Slap Bongo	200	--	251	Tambrim2	302	Scratch Lo	353	MthHrp1A	404	Metron1
48	AmbSnar1	99	--	150	--	201	--	252	Tambrim3	303	ScratchDbl	354	MouthHrp2	405	Metron2
49	AmbSnar2	100	--	151	--	202	--	253	WoodBlkH	304	Scratch a	355	MthHrp2A	406	testwave
50	Rock Snare	101	--	152	--	203	--	254	WoodBlkM	305	Scratch b	356	Spectrum 1		
51	GatdSnare	102	--	153	--	204	SagatOpen	255	WoodBlkL	306	Scratch c	357	Stadium		

Programs

外部の MIDI 機器で iS40/iS50 のプログラムを選択するときは、まずバンクセレクト MSB (常に 00)、LSB を送信し、次にプログラムチェンジ・メッセージを送信します。そのときは、設定した MIDI チャンネルが使用されます。

BS: バンクセレクト、PC: プログラム・チェンジ

BS	PC	#		BS	PC	#		BS	PC	#		BS	PC	#	
Piano				Chromatic percussion				Organ				Guitar			
000	000	A11	Piano 1	000	008	A21	Celesta	000	016	A31	Organ 1	000	024	A41	Nylon gtr
	001	A12	Piano 2		009	A22	Glockenspiel		017	A32	Organ 2		025	A42	Steel Gtr.
	002	A13	Piano 3		010	A23	Music Box		018	A33	Organ 3		026	A43	Jazz Gtr.
	003	A14	Honky-tonk		011	A24	Vibraphone		019	A34	ChurchOrgan		027	A44	Clean Gtr.
	004	A15	E. Piano 1		012	A25	Marimba		020	A35	Reed Organ		028	A45	Muted Gtr.
	005	A16	E. Piano 2		013	A26	Xylophone		021	A36	Musette		029	A46	Overdrive
	006	A17	Harpsichord		014	A27	Tubular Bell		022	A37	Harmonica		030	A47	Dist. Gtr.
	007	A18	Clavinet		015	A28	Santur		023	A38	Bandoneon		031	A48	GT.Harm.
Bass				Strings				Esemble				Brass			
000	032	A51	Acoustic Bs.	000	040	A61	Violin	000	048	A71	Strings	000	056	A81	Trumpet
	033	A52	Fingered Bs.		041	A62	Viola		049	A72	Slow Strings		057	A82	Trombone
	034	A53	Picked Bs.1		042	A63	Cello		050	A73	SynStrings 1		058	A83	Tuba
	035	A54	Fretless Bs.		043	A64	Contrabass		051	A74	SynStrings 2		059	A84	MuteTrumpet
	036	A55	Slap Bass 1		044	A65	Tremolo Str.		052	A75	Choir Aahs		060	A85	French Horns
	037	A56	Slap Bass 2		045	A66	PizzicatoStr.		053	A76	Voice Oohs		061	A86	Brass
	038	A57	SynthBass 1		046	A67	Harp		054	A77	SynVox		062	A87	Syn.Brass1
	039	A58	SynthBass 2		047	A68	Timpani		055	A78	OrchestraHit		063	A88	Syn.Brass2
Reed				Pipe				Synth lead				Synth pad			
000	064	B11	Soprano Sax	000	072	B21	Piccolo	000	080	B31	SquareWave	000	088	B41	Fantasia
	065	B12	Alto Sax		073	B22	Flute		081	B32	Saw Wave		089	B42	Warm Pad
	066	B13	Tenor Sax		074	B23	Recorder		082	B33	Syn.Calliope		090	B43	PolySynth
	067	B14	Baritone Sax		075	B24	Pan Flute		083	B34	Chiffer Lead		091	B44	Space Voice
	068	B15	Oboe 1		076	B25	Bottle Blow		084	B35	Charang		092	B45	BowedGlass
	069	B16	English Horn		077	B26	Shaku 1		085	B36	Solo Vox		093	B46	Metal Pad
	070	B17	Bassoon		078	B27	Whistle 1		086	B37	5Th Wave		094	B47	Halo Pad
	071	B18	Clarinet		079	B28	Ocarina 1		087	B38	Bass & Lead		095	B48	Sweep Pad

BS	PC	#		BS	PC	#		BS	PC	#		BS	PC	#	
Synth SFX				Ethnic				Percussion				Effects			
000	096	B51	Ice Rain	000	104	B61	Sitar	000	112	B71	Tinkle Bell	000	120	B81	Gt.FretNoise
	097	B52	Soundtrack		105	B62	Banjo		113	B72	Agogo		121	B82	Breath Noise
	098	B53	Crystal		106	B63	Shamisen		114	B73	Steel Drums		122	B83	Seashore
	099	B54	Atmosphere		107	B64	Koto		115	B74	Woodblock		123	B84	Bird
	100	B55	Brightness		108	B65	Kalimba		116	B75	Taiko		124	B85	Telephone 1
	101	B56	Goblin		109	B66	Bagpipe		117	B76	Melo. Tom		125	B86	Helicopter
	102	B57	Echo Drops		110	B67	Fiddle		118	B77	Synth Drum		126	B87	Applause
	103	B58	Star Theme		111	B68	Shanai		119	B78	ReverseCym.		127	B88	Gun Shot
Piano				Chromatic percussion				Organ				Guitar			
001	000	C11	90's Piano	001	008	C21	SynCelesta	001	016	C31	Gospel Org.	001	024	C41	L&R Ac.Gtr.
	001	C12	Rock Piano		009	C22	Sistro		017	C32	ClickOrgan		025	C42	12 Strings
	002	C13	New Piano		010	C23	Orgel		018	C33	Rotary Org.		026	C43	PedalSteel
	003	C14	M1 Piano		011	C24	SynVibes		019	C34	EuroPipe		027	C44	L&R El. Gtr.
	004	C15	Whirly		012	C25	Balaphone		020	C35	SmallPipe		028	C45	Clean Funk
	005	C16	DW-8000 EP		013	C26	Gamelan		021	C36	Fr.Musette		029	C46	DistoMutes
	006	C17	HarpsiFunk		014	C27	ChurchBell		022	C37	Akordeon		030	C47	Solo Dist.
	007	C18	Clavmation		015	C28	Celtic Plug		023	C38	Cassotto		031	C48	PowerChord
Bass				Strings				Esemble				Brass			
001	032	C51	Upright	001	040	C61	The Strings	001	048	C71	Marcato	001	056	C81	FlugelHorn
	033	C52	Bass/ Harm.		041	C62	ChambViola		049	C72	Exp. Str.		057	C82	Dynabone
	034	C53	Picked Bs.2		042	C63	Cello Ens.		050	C73	AnalogPad		058	C83	OB. Tuba
	035	C54	Fat Fretty		043	C64	ChamDBass		051	C74	AnaStrings		059	C84	Mute Ens.
	036	C55	SuperRound		044	C65	Octave Str.		052	C75	Doolally		060	C85	Horns Ens.
	037	C56	DynaSlap		045	C66	OctavePizz.		053	C76	AirVoxDbl		061	C86	Brass Band
	038	C57	Dance Bass		046	C67	My dream		054	C77	Glassglide		062	C87	Syn.Brass3
Reed				Pipe				Synth lead				Synth pad			
001	000	D11	AltoBreath	001	008	D21	Synth Fife	001	016	D31	Soft Solo	001	024	D41	Thick Pad
	001	D12	Folk Sax		009	D22	BreathFlute		017	D32	Big Lead		025	D42	Soft Pad
	002	D13	SoftTenor		010	D23	Traverso		018	D33	PurePanLd.		026	D43	Farluce
	003	D14	PerkySaxes		011	D24	Kawala		019	D34	Rubby		027	D44	Heaven
	004	D15	Oboe 2		012	D25	BottleBlow		020	D35	Dist.Lead		028	D45	Glass Pad
	005	D16	Woodwinds		013	D26	Shaku 2		021	D36	Vox Lead		029	D46	Panner Pad
	006	D17	Small^Orch		014	D27	Whistle 2		022	D37	Big Fives		030	D47	Polar Pad
	007	D18	Clarn. Ens.		015	D28	Ocarina 2		023	D38	Big & Raw		031	D48	Celestial

BS	PC	#		BS	PC	#		BS	PC	#		BS	PC	#	
Synth SFX				Ethnic				Percussion				Effects			
001	032	D51	Caribbean	001	040	D61	Tambra	001	048	D71	WindChimes	001	056	D81	Heart Beat
	033	D52	Rave		041	D62	Bouzouki		049	D72	Cowbell		057	D82	Laughing
	034	D53	BellPad		042	D63	Oud		050	D73	Claves		058	D83	Wind
	035	D54	AmbientPad		043	D64	Kanoon		051	D74	Castanets		059	D84	Gallop
	036	D55	ElastikPad		044	D65	Ukulele		052	D75	Tsuzumi		060	D85	Telephone 2
	037	D56	Bell Choir		045	D66	Jaw Harp		053	D76	Oil Drum		061	D86	Train
	038	D57	Big Panner		046	D67	MandoTrem.		054	D77	Rev. Tom		062	D87	Stadium!!
	039	D58	Odyssey		047	D68	Hichiriki		055	D78	Rev Snare		063	D88	Explosion
1				2				3				4			
002	000	E11	Piano&Strgs	002	008	E21	Tone Wheel	002	016	E31	R&R Guitar	002	024	E41	FingerDark
	001	E12	PianoPad		009	E22	70' Organ		017	E32	Dobro		025	E42	Dyno Bass
	002	E13	Midi Piano		010	E23	Theatre Org.		018	E33	ElectricAc.		026	E43	Bass/Mute
	003	E14	Fresh Air		011	E24	Jimmy Org.		019	E34	Mr.Clean		027	E44	Stick Bass
	004	E15	Mark II bis		012	E25	DblBrass		020	E35	Hackbrett		028	E45	Deep House
	005	E16	Hard Tines		013	E26	SlowSunset		021	E36	Gtr.Strings		029	E46	Dr.Octave
	006	E17	FunkyRoads		014	E27	Ultra Rez		022	E37	StereoDist.		030	E47	Rap Bass
	007	E18	PianoVibes		015	E28	DanceReMix		023	E38	Gtr/Bass		031	E48	Zap bass
5				6				7				8			
002	032	E51	Velo Flute	002	040	E61	i3 Strings	002	048	E71	LiteVoices	002	056	E81	Jet Star
	033	E52	Flute/Muted		041	E62	N-Strings		049	E72	DigitalAir		057	E82	Space Wing
	034	E53	Trump Ens.		042	E63	Ravel Pad		050	E73	Air Vox		058	E83	Ambience
	035	E54	Lyle Stack		043	E64	Dark Pad		051	E74	Ambi.Voice		059	E84	Glide Fx
	036	E55	Folk Clar.		044	E65	Yoshi Pad		052	E75	Airways		060	E85	SteamCloud
	037	E56	SectWinds		045	E66	Swell Pad		053	E76	Stab Pad		061	E86	WhiteNoise
	038	E57	FallAngels		046	E67	Light Pizz		054	E77	Poppin'Pad		062	E87	Fragments
	039	E58	Lylesircs		047	E68	DblStrings		055	E78	MonoLead		063	E88	Brass Fall
User 1				User 2				User 3				User 4			
003	000	F11		003	008	F21		003	016	F31		003	024	F41	
	001	F12			009	F22			017	F32			025	F42	
	002	F13			010	F23			018	F33			026	F43	
	003	F14			011	F24			019	F34			027	F44	
	004	F15			012	F25			020	F35			028	F45	
	005	F16			013	F26			021	F36			029	F46	
	006	F17			014	F27			022	F37			030	F47	
	007	F18			015	F28			023	F38			031	F48	

BS	PC	#		BS	PC	#		BS	PC	#		BS	PC	#	
User 5				User 6				User 7				User 8			
003	032	F51		003	040	F61		003	048	F71		003	056	F81	
	033	F52			041	F62			049	F72			057	F82	
	034	F53			042	F63			050	F73			058	F83	
	035	F54			043	F64			051	F74			059	F84	
	036	F55			044	F65			052	F75			060	F85	
	037	F56			045	F66			053	F76			061	F86	
	038	F57			046	F67			054	F77			062	F87	
	039	F58			047	F68			055	F78			063	F88	

BS	PC	#		BS	PC	#	
Drum 1				Drum 2			
004	000,002-007, 075-115, 117-127	Dr11	GM Kit 1	004	040-047	Dr21	Brush Kit
	001	Dr12	GM Kit 2		048-055	Dr22	Orchestra Kit
	008-015	Dr13	Room Kit		064, 067-071	Dr23	Percussion Kit
	016-023	Dr14	Power Kit		065	Dr24	Latin Perc. Kit
	024, 027-031	Dr15	Electronic Kit		116	Dr25	Arabian Kit
	025	Dr16	Analog Kit		056-063	Dr26	SFX Kit
	026	Dr17	Dance Kit		072	Dr27	(User 1)
	032-039	Dr18	Jazz Kit		073	Dr28	(User 2)

Multisamples

#	Multisample	#	Multisample	#	Multisample	#	Multisample	#	Multisample	#	Multisample
0	A.Piano 1	88	Mute Gtr 1	87	E.Guitar 3	261	Viola	348	VS 58	435	MuteTriang
1	A.Piano 1w	89	FunkyGtr1	175	House Bass	262	Cello	349	VS 71	436	OpenTriang
2	A.Piano1LP	90	Mute Guitar1	176	House Bass	263	Cello LP	350	VS 72	437	Agogo
3	A.Piano 2	91	FunkyGtr 1	177	Bass Slide	264	CBs.&Cello	351	VS 88	438	Cow Bell
4	A.Piano 2w	92	FunkyGtr1V	178	StringSlap	265	Pizzicato	352	VS 89	439	Timbale
5	A.Piano 3 *	93	FunkyGtr1V	179	Kalimba	266	Voice	353	13-35	440	WoodBlock1
6	A.Piano 3w *	94	E.Gtr Harm	180	Music Box	267	Choir	354	DWGSOrg1	441	WoodBlock2
7	M1 Piano	95	E.GtrHramV	181	MusicBoxLP	268	Soft Choir	355	DWGSOrg2	442	WoodBlock3
8	M1 Piano w	96	Dist.Gtr 1	182	Log Drum	269	Air Vox	356	DWGS E.P.1	443	Claves
9	Grand EP	97	DistGtr1LP	183	Marimba	270	Doo Voice	357	ClarinetLP	444	Syn Claves
10	E.Piano 1	98	Dist.Gtr1V	184	Marimba w	271	DooVoiceLP	358	DWGSOrg1	445	Castanet
11	E.Piano 1w	99	Dist.Gtr 2	185	Xylophone	272	DooVoiceLP	359	Saw	446	CastanetNT
12	E.Piano1LP	100	Over Drive	186	Vibe	273	Choir	360	Square	447	Castanet V
13	E.Piano 2	101	OverDrv LP	187	Vibe w	274	MouthHarp1	361	Ramp	448	FingerSnap
14	E.Piano 2w	102	OverDrv F4	188	Celesta	275	Syn Vox	362	Pulse 25%	449	FingSnapNT
15	E.Piano2LP	103	MtDistGtr1	189	Glocken 1	276	Syn Vox LP	363	Pulse 8%	450	Snap
16	DWGS E.P. 1	104	MtDstGtr1V	190	Glocken 2	277	White Pad	364	Pulse 4%	451	Snap NT
17	Soft EP LP	105	Dist.Gtr 2	191	BrightBell	278	Ether Bell	365	Syn Sine	452	Vibraslap
18	Hard EP	106	DstGtrHarm	192	B.Bell LP	279	E.Bell LP	366	Sine	453	Guiro
19	Hard EP w	107	PowerChrd1	193	Metal Bell	280	Ghostly	367	Orch Hit	454	Guiro LP
20	Hard EP LP	108	PowerChd1V	194	M.Bell LP	281	Mega Pad	368	ImpactHitL	455	Hand Clap
21	Stage EP 1	109	OverDvChrd	195	Gamelan	282	Synth Pad	369	ImpactHitR	456	HandClapNT
22	StageEP 1w	110	Power Gtr	196	Tubular	283	Synth PadA	370	Rave Hit L	457	Gun Shot 1
23	Hard EP	111	PowerGtr V	197	ChurchBell	284	Spectrum 1	371	Rave Hit R	458	GlassBreak
24	Stage EP 1	112	PowerChrd1	198	FingCymbal	285	WaveSweep	372	Philly Hit	459	Metal Hit
25	Hard EP	113	Gt Scratch	199	FingCymbNT	286	WavSweepA	373	PowerSnare	460	HandDrill
26	Hard EP	114	Gtr Slide	200	Gong	287	WavSweepB	374	Syn Snare	461	HandDrillNT
27	PianoPad 2	115	GtCutNois1	201	Gong LP	288	MouthHarp1	375	SnareRI/Ht	462	Zap 1
28	Clav	116	GtCutNois2	202	Split Drum	289	MouthHrp1A	376	Stick Hit	463	Zap 2
29	Clav w	117	Chic 1	203	Split Bell	290	MouthHarp2	377	Side Stick	464	Fret Zap 1
30	Clav LP	118	Chic 2	204	Flute	291	MouthHrp2A	378	SideStikNT	465	Fret Zap 2
31	Harpsicord	119	Sitar 1	205	Tin Flute	292	MouthHarps	379	TimbleSide	466	Scratch Hi
32	Harpsicd w	120	Sitar 2	206	TinFluteLP	293	ChromRes	380	TimblSidNT	467	ScratchHiNT
33	HarpsicdLP	121	Sitar 2 LP	207	Pan Flute	294	Applause	381	Indust	468	Scratch Lo
34	PercOrgan1	122	Tambura	208	PanFluteLP	295	Stadium	382	Taiko Hit	469	ScratchLoNT
35	PercOrg1LP	123	Tambura LP	209	White Pad	296	BrushNoise	383	Syn Rim	470	ScratchDbi

#	Multisample	#	Multisample	#	Multisample	#	Multisample	#	Multisample	#	Multisample
36	PercOrgan2	124	Santur	210	Shakuhachi	297	BruNoiseNT	384	Syn Rim NT	471	ScratDbINT
37	PercOrg2LP	125	Bouzouki	211	ShakhachiV	298	WhiteNoise	385	Click	472	Scratch a
38	Organ 1	126	BouzoukiLP	212	ShakhachLP	299	WhiteNoiNT	386	Crash Cym	473	Scratches
39	Organ 1 LP	127	Kanoun	213	Bottle	300	Jetstar	387	CrashCymLP	474	Rev.Kick
40	Organ 2	128	Mandolin	214	Recorder	301	Jetstar LP	388	CrashLP NT	475	Rev.ConBD
41	Organ 2 LP	129	Banjo	215	Ocarina	302	JetstrLPNT	389	China Cym	476	Rev Snare1
42	Organ 3	130	Shamisen	216	Oboe	303	BrushSwirl	390	ChinaCymLP	477	Rev.Snare2
43	Organ 4	131	Koto	217	EnglishHrn	304	MarcTree 1	391	Splash Cym	478	Rev.Snare3
44	Organ 6	132	Uood	218	Eng.HornLP	305	MrcTree1NT	392	Orch Crash	479	Rev.Cymbal
45	Organ 6 LP	133	Harp	219	BasoonOboe	306	MarcTree1V	393	Orch Perc	480	Rev.Tom 1
46	VoxOrgan 1	134	Ukulele	220	BsnOboeLP	307	MrcTre1VNT	394	Tite HH	481	Rev.Tom 2
47	VoxOrgan 2	135	MandlinTrm	221	Clarinet	308	MarcTree 2	395	Tite HH NT	482	Growl 1
48	VoxOrgan 3	136	A.Bass 1	222	ClarinetLP	309	MrcTree2NT	396	Open HH	483	Growl 1 NT
49	RotaryOrg1	137	A.Bass1 LP	223	Bari.Sax	310	MarcTree2V	397	CloseSynHH	484	Rain
50	Rotary1 LP	138	A.Bass 2	224	Bari.SaxLP	311	MrcTre2VNT	398	OpenSyn HH	485	Thunder
51	RotaryOrg2	139	A.Bass2 LP	225	Tenor Sax	312	Tri Roll	399	Bell Ride	486	Wind
52	Super BX-3	140	E.Bass 1	226	T.Sax LP	313	TriRoll NT	400	Ping Ride	487	Seashore
53	SuperBX3LP	141	E.Bass1 LP	227	Alto Sax	314	Tri Roll V	401	Orch B.Drm	488	Seashore V
54	Dist.Organ	142	E.Bass 2	228	A.Sax LP	315	TriRollVNT	402	Tom 1	489	Stream
55	Dist.OrgLP	143	E.Bass2 LP	229	SopranoSax	316	Cast Roll	403	Tom 2 Hi	490	Bubble
56	PipeOrgan2	144	E.Bass 1	230	S.Sax LP	317	CastRollINT	404	Tom 2 Lo	491	Bird 1
57	PipeOrg2LP	145	PickBass 1	231	Bag Pipe	318	Lore	405	ProccesTom	492	Bird 2
58	PipeOrgan3	146	PicBass1LP	232	Tuba	319	Lore NT	406	OilDrum	493	Kitty
59	PipeOrg3LP	147	PickBass 2	233	Tuba LP	320	Crickets 2	407	Syn Tom 1	494	Dog
60	Cheese Org	148	PickBass 3	234	Horn	321	Crickts2NT	408	Syn Tom 2	495	Growl 2
61	Musette	149	Fretless	235	FlugelHorn	322	MalletLoop	409	SolidHit	496	Gallop
62	Musette V	150	FretlessLP	236	Trombone 1	323	MalletLpNT	410	Steel Drum	497	Laughing V
63	Bandneon	151	SlapBass 1	237	Trombone 2	324	Sporing	411	SteelDrmLP	498	Scream
64	BandneonLP	152	SlapBass 2	238	Trombone 1	325	Rattle	412	Timapni	499	Punch
65	Accordion	153	SipBass2LP	239	Trumpet	326	Kava	413	Timpani LP	500	Hart Beat
66	AcordionLP	154	SlapBass 3	240	Trumpet LP	327	Fever 1	414	Taiko	501	Footstep 1
67	Harmonica1	155	SlapBass 1	241	Mute TP 1	328	Fever 2	415	Tsuzumi	502	Footstep 2
68	Harmonica1	156	SlapBass 1	242	MuteTP1 LP	329	Scratchar	416	Low Bongo	503	Telephone1
69	G.Guitar 1	157	SlapBass 1	243	Mute TP 1	330	Zappers 1	417	Slap Bongo	504	Telephone2
70	G.Gtr 1 LP	158	SynthBass1	244	Brass 1	331	Zappers 2	418	Open Conga	505	Door Creak
71	G.Guitar 2	159	SynBass1LP	245	Brass 1 LP	332	Bugs	419	Slap Conga	506	Door Slam
72	F.Guitar 1	160	SynthBass2	246	Brass 2	333	Surfy	420	Palm Conga	507	Car Engine
73	F.Gtr 1 LP	161	SynBass2LP	247	Brass 2 LP	334	SleighBell	421	Mute Conga	508	CarEnginLP

#	Multisample	#	Multisample	#	Multisample	#	Multisample	#	Multisample	#	Multisample
74	F.Guitar1V	162	SynthBass3	248	Brass 2	335	Sagatty	422	Baya	509	Car Stop
75	F.Guitar 2	163	RezBass 1	249	Brass 2 LP	336	Sagatty NT	423	Tabla 1	510	Car Pass
76	F.Guitar 2	164	RezBass 2	250	Brass Fall	337	Idling	424	Tabla 2	511	Car Crash
77	ResoGuitar	165	RezBass 3	251	StringEns.	338	EthnicBeat	425	Djembe	512	Siren
78	A.Gtr Harm	166	RezBass3LP	252	StrEns. V1	339	Tap-A	426	Maracas	513	Train
79	E.Guitar 1	167	MiniBass	253	StrEns. V2	340	Tap-B	427	SynMaracas	514	Helicopter
80	E.Guitar1V	168	Mini 1a	254	StrEns. V3	341	Tap-C	428	SynMarcsNT	515	Gun Shot 2
81	E.Guitar 2	169	SynthBass3	255	AnaStrings	342	Mini 1 a	429	Cabasa	516	MachineGun
82	E.Guitar 3	170	Saw	256	AnaStr. V1	343	vs88	430	Cabasa NT	517	Laser Gun
83	E.Guitar 4	171	MiniBass	257	AnaStr. V2	344	Mini 1a	431	Sagat	518	Explosion
84	E.Guitar 4	172	House Bass	258	AnaStr. V3	345	VS 102	432	Sagat NT	519	Multi Sax
85	E.Guitar 2	173	FM Bass 1	259	PWM	346	VS 48	433	Tambourine	520	Tb & Tp 1
86	E.Guitar 3	174	FMBass1 LP	260	Violin	347	VS 52	434	JingleBell	521	Tb & Tp 2

*iS40のみ。iS40では他のマルチサンプルに置き換わります。



iS40/iS50 MIDIインプリメンテーション・チャート

ファンクション・・・	送信	受信	備考
ベーシック チャンネル：電源ON時 設定可能	1~16 1~16	1~16 1~16	記憶される
モード：電源ON時 メッセージ 代用	×	3 ×	*****
ノート・ ナンバー：音域	25~107 *****	0~127 0~127	Seq. Data の送信時は 0~127
ベロシティ：ノート・オン ノート・オフ	○9n, V=1~127 ×	○9n, V=1~127 ×	Seq. Data の送信時は 2~126
アフタータッチ：キー別 チャンネル別	iS40:○ iS50:×	○ ○	Seq. Dataのみ *A *A
ピッチ・ベンダー	○	○	*C
コントロール チェンジ：0, 32 1, 2 4, 64 6, 38 7, 11 10, 91, 93 12, 13 72, 73, 74 92, 94 96, 97 100, 101 120, 121 0~101	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	バンク・セレクト (MSB, LSB) *P モジュレーション (ピッチ, カットオフ) *C ペダル (スケール, ダンパー) *C データエントリー (MSB, LSB) *E ボリューム, エクスプレッション *C A,Bパンポット, センドC, D *C エフェクト・コントローラ1, 2 *C EGタイム (リリース, アタック), ブライトネス *C エフェクト1, 2 オン, オフ *C データ・インクリメント, デクリメント *E RPN (LSB, MSB) *2 オールサウンド オフ, リセットオールコントローラ (シーケンス・データ)
プログラム チェンジ：設定可能範囲	○0~127 *****	○0~127 0~127	*P
エクスクルーシブ	○	○	*3*E
コモン：ソング・ポジション ソング・セレクト チューン	○ ○0 ×	○ ○0 ×	*1 *1
リアルタイム：クロック コマンド	○ ○	○ ○	*1 *1
その他：ローカル・オン/オフ オール・ノート・オフ アクティブセンシング リセット	×	○ ○ ○ ×	○123~127 ○ ○ ×

備 考

*C, *P, *A, *E: それぞれグローバルのMIDI Filter (Control, Program, After Touch, Exclusive) がENAのとき送受信する

*1: クロックがインターナルのとき送信し、受信しない。エクスターナルのときはその逆

*2: LSB,MSB =00,00:ピッチバンドレンジ, =01,00:ファインチューン, =02,00:コースチューン

*3: KORGエクスクルーシブ以外に、インクワイアリーメッセージ、GMシステムオン、マスターバランス、マスターボリュームに対応

仕様とオプション

仕様

音源方式

AI2 Synthesis System

音源部

Arrangement Playモード、Backing Sequenceモード

- KBDパート: 32ボイス32オシレータ(シングル時)
16ボイス32オシレータ(ダブル時)
- ACCパート: 32ボイス32オシレータ(シングル時)
16ボイス32オシレータ(ダブル時)

その他のモード

- 64ボイス64オシレータ(シングル時)
- 32ボイス64オシレータ(ダブル時)

波形メモリ

PCM ROM 14M Byte (iS40)

12M Byte (iS50)

モード

Arrangement Playモード

Backing Sequenceモード

Song Playモード

Song Editモード

Programモード

Disk/Globalモード

エフェクト部

ステレオ・デジタル・マルチエフェクト・システム 47種類

Arrangement Playモード/Backing Sequenceモード

- KBDパートとACCパートに各々2系統

その他のモード

- 2系統

プログラム数

プリセット・プログラム320個(GMプログラムを含む)

ドラム・キット14個

ユーザー・プログラム64個

ユーザー・ドラム・キット2個

アレンジメント数

プリセット・アレンジメント128個

ユーザー・アレンジメント64個

スタイル数

プリセット・スタイル128個

ユーザー・スタイル最大16個

キーボードセット数(iS40)

15

バックアップ・シーケンス数

10曲

ソング数

16曲

バックアップ・シーケンス + ソング容量

最大40,000イベント

鍵盤部

61鍵ベロシティ・センス、アフタータッチ付き(iS40)

61鍵ベロシティ・センス(iS50)

ディスプレイ部

バックライト付きカスタムLCD

フロッピー・ディスク・ドライブ

3.5インチ 2HD/2DD対応

オーディオ入出力端子

INPUT 端子 (L/MONO, R)

ヘッドホン端子

OUTPUT 端子

MIDI端子

IN, OUT, THRU

その他の端子

DAMPER 端子 (iS40)

ASSIGNABLE PDL/SW 端子

EC5 端子 (iS40)

PC TO HOST 端子

コントローラ

ジョイスティック

ダイヤル (iS40)

電源

AC100 V

消費電力

35 W (iS40)

25 W (iS50)

外形寸法(W x D x H)

1,110mm x 386mm x 142mm(譜面立てを除く)

重量

12.9 kg (iS40)

11.5 kg (iS50)

付属品

フロッピー・ディスク1枚

AC電源コード

譜面立て

オプション(別売)

EC5エクスターナル・コントローラ

DS-1Hダンパーペダル

PS-1ペダル・スイッチ

EXP-2フットコントローラ

XVP-10エクスプレッション・ペダル

AG-001B, AG-002B, AG-003B 接続キット

*仕様や外観は予告無く変更することがあります。

アフターサービス

■製品をお買い上げいただいた日より一年間は保証期間です。万一保証期間内に、製造上の不備による故障が生じた場合は無償修理いたしますので、お買い上げの販売店に保証書を提示して修理をご依頼ください。ただし次の場合の修理は有償となります。

1. 消耗部品(電池など)を交換する場合。
2. 輸送および移動時の落下、衝撃などお客様の取扱方法が不適当のため生じた故障。
3. 天災(火災等)によって生じた故障。
4. 故障の原因が本製品以外の他の機種にある場合。
5. コルグ・サービスステーションおよびコルグ指定者以外の手で修理、改造された部分の処理が不適当であった場合。
6. 保証書に販売店名、お客様氏名、ご住所、お買い上げ日等が記入されていない場合。
7. 保証期間が切れている場合。
8. 日本国外で使用される場合。

■当社が修理した部分が再度故障した場合は、保証期間外であっても3ヵ月以内に限り無償修理いたします。また仕様変更に関しては有償になりますのでご了承ください。

■お客様が保証期間中に移転された場合でも、保証書は引き続きお使いいただけます。移転先のコルグ製品取扱店、またはコルグ・インフォメーションまでお問い合わせください。

■保証期間が切れますと修理は有償になりますが、引き続き製品の修理は責任を持ってさせていただきます。修理用性能部品(電子回路など)は通常8年間を基準に保有しております。ただし外装部品(パネルなど)の修理は、類似の代替品を使用することもありますのでご了承ください。

■その他、アフターサービスについてご不明の点は下記へお問い合わせください。

▼▲▼▲▼▲▼ 株式会社コルグ ▼▲▼▲▼▲▼

インフォメーション	〒168-0073 東京都杉並区下高井戸1-15-12	☎ (03)5376-5022
東京営業所	〒168-0073 東京都杉並区下高井戸1-11-17	☎ (03)3323-5241
名古屋営業所	〒466-0825 名古屋市昭和区八事本町100-51	☎ (052)832-1419
大阪営業所	〒531-0072 大阪市北区豊崎3-2-1 淀川5番館7F	☎ (06)6374-0691
福岡営業所	〒810-0012 福岡市中央区白金1-3-25 第2池田ビル1F	☎ (092)531-0166

■修理等のお問い合わせは最寄りの各営業所、または下記までお問い合わせください。

営業技術課	〒143-0001 東京都大田区東海5-4-1 明正大井5号営業所 コルグ物流センター内	☎ (03) 3799-9085
-------	---	------------------

<WARNING!>

This Product is only suitable for sale in Japan. Properly qualified service is not available for this product if purchased elsewhere. Any unauthorised modification or removal of original serial number will disqualify this product from warranty protection.

(この英文は日本国内で購入された外国人のお客様のための注意事項です。)